

事業報告書

2022（令和4）年度

社会福祉法人 愛 光

「法人の進化と地域の回復」

○社会福祉法人の経営環境が厳しさを増す中、新型コロナウイルス感染症の流行、ウクライナ侵攻、物価高騰などの社会・経済環境が悪化している。また、地域共生社会を実現していくために社会福祉の充実も課題となっている。社会福祉法人の経営基盤の強化、福祉施設の機能充実と健全な施設運営は必須となっている。社会福祉制度は、利用者主体の制度への転換が図られたことで、社会福祉法人の経営環境も大きく変化している。介護保険制度の導入に代表されるように、措置制度から契約制度への移行が図られ、利用者自身が主体的にサービスを選択する時代になった。また、福祉サービスへの多様な供給主体の参入により事業者間での競争も激化している。このような中で、社会福祉法人がその福祉性を発揮し、福祉サービスの中核的な担い手たり得るか、あらためて社会福祉法人の存在意義が問われていると思う。

○社会福祉法人には、これからの社会福祉法人の経営原則として、経営の自己責任やサービスの質の向上、その透明性の確保などがうたわれている。つまり、今後の社会福祉法人には、質の高い、特色のあるサービスの創出とともに、地域福祉への積極的な取り組みが求められていると言える。

○第Ⅳ期中期経営計画にある組織体制強化、地域福祉の視点は、社会福祉法人として存在意義や経営基盤の強化を図るうえでも必要な要素として設定した。目標達成のために設置したプロジェクトの達成度は概ね順調であったが、内部統制プロジェクトについてはコロナ禍の影響で会計事務所との協働が制限されたため、現状把握から整備評価までに至らず、全拠点の完成を第Ⅴ期中期経営計画まで持ち越すこととなる。

○事業部体制の強化については、毎月の実績会議が経営からサービスまで実践を意識した会議となり、今後の事業戦略を考えるうえで有効であった。しかし、経営計画の進捗に応じての計画の変更が一部事業所に止まっていたので、積極的に実施することが望ましいと思う。

○財務プロジェクトについては、予算と実績の管理を徹底したことで、光熱水費、修繕費以外の経費については、予算根拠が明確になった。修繕については、15ヶ年の修繕計画を基に単年計画に反映させているため、例年になく計画的な支出となっていたが、予期せぬ修繕もあり今後の建物管理支出のあり方を見直していきたい。また、資金運用についても、資金運用規程を改定し、当年度から運用実施となった。

○災害対策マニュアル・感染症対応マニュアルが完成し、プロジェクトの目標は達成となった。次年度は委員会に移行する予定である。

・コロナ禍においては、感染予防や感染拡大防止が最優先され、福祉サービスにおいてもさまざまな場面で制約を余儀なくされた。地域活動やボランティア受入れに自粛による地域とのつながりの希薄化、外出や家族等との面会の機会が激減したことによる利用者のADLやQOLの低下、従事者にとっても外部研修等の参加機会が激減し、ケアスキルの向上・更新がしづらい状況であった。感染症対応マニュアルを全事業所を対象に作成し当年度完成したが、コロナ類型が5類に移行するが、いまだその脅威は継続している。コロナ以外の感染症の対応も含め利用者の安全と職員の勤務の継続を考えた実証を次年度から実施する。

・都道府県における「災害福祉支援ネットワーク」を構築しているのは46都道府県。災害派遣福祉チーム(DWAT)を組成しているのは44都道府県。DWAT登録者総数は8,074名。2022年7月、厚生労働省から全国社会福祉協議会に「災害福祉支援ネットワーク中央センタ

一事業」が委託され、本格的にDWA T養成と全国ネットワーク連携支援体制の強化がはじまった。当法人からは、千葉県DWA T研修に5名参加し登録している。

B C Pの実行性を高めるためには、訓練を通じたシミュレーションの実施が重要かつ効果的であり、単に訓練を行うのではなく、自ら訓練に興味をもって、活動のアイデアを発信できるような人材を育てていくことが大切である。当年度完成した災害対応マニュアルを実地訓練から随時改定できる土壌づくりが大切である。また、携帯用「初期行動マニュアル」も作成したので、平時から携帯する意識付けも重要である。

○2003年度の法人経営改革の一つであった能力成果型の人事評価制度も時の流れとともに運用について再考する時期となった。福祉人材の確保が声高に叫ばれているが、いかに福祉の専門職集団を育てていくか、同時にバーンアウトすることのない職場環境を作ることができるか、最終的には法人の全員経営を目指すことを目的に人材の育成を考えることとした。中期経営計画の重点項目として人材育成プロジェクトを発足して2ヶ年目となるが、育成とは何かをじっくりと検討した。その結果、テーマを「人を想い合える温かい職場づくり」とし、指針を「個々が役割を全うできるように、自己の成長と課題を振り返り、上司と部下が成長に向けて向き合う機会を設ける」「個々の役割を全うできるような階層別の研修の場を設け意志と能力が開花することを応援する」「経営層からの方針を共有し、意思の疎通を大事にする」。また、総称を『コ・ヒューマンデベロップメント(コ・人材開発)』として、新たに階層別の行動評価作成とデジタル化を実施し、20年振りに評価表を刷新した。育成のシステムについては、新任職員をフォローするメンター部門と制度に応じた研修やテクニックを習得するテクニカル研修部門、階層別のマネジメント力やリーダーとしての要素を養成するリーダー開発部門を設置しぶらさがる形として次世代リーダー育成のコ・ヒューマントレーニングと行動評価を基にレビューを通じた人材育成研修グループを形成した。育成体制の形はできあがったので、次年度からは内容を精査しながら実施となる。

○2018年度に法人の地域における公益活動を「ともいき」と名付けた。中期経営計画のスローガンに「地域の回復」をうたい、コロナ後の活動に備えてきたが、残念ながら当年度も以前の活動の再開には至らなかった。そのなかで新たな福祉課題や地域住民の心境の変化、ニーズの確認を目的に昨年度、山王地区を対象に住民アンケート調査を実施した。当年度は、順天堂大学の学生や自治会関係者等を交え分析にあたるなかで、「山王みらいプロジェクト」が発足し、地域住民を主体とする活動組織ができあがることとなった。地域の活性化や人との繋がりをこのコロナ禍だからこそ真剣に考え、対話することで生まれた貴重な取り組みとなったと思う。当年度は、地域のイベントがなくなってしまったことから「ゼロ円バザー」を開催した。地域との距離がまた一歩近づいた時間でもあった。ちなみに、アンケート調査のなかで、地域活動のためのボランティア希望者が予想以上の人数であったことは、驚きと喜びを感じ当年度の大きな成果物になったと思う。2019年度に地域の高齢者や子どもを対象に「地域食堂ともいき」をはちす苑千田ホールでスタートしたが、コロナ禍により当年度もお弁当の配布を実施した。佐倉市内では、子ども食堂をはじめ地域向けの食堂が増えて現在16ヶ所となり「さくらあったか食堂ネットワーク」が組織化された。必要な食材を管理する「あったかパントリー事業」がワークショップかぶらぎと市社協が共同企画となったが、その契機となったのが昨年度出向した職員が発案し、実施となった事業である。圏域の地域福祉活動と法人をより近い距離で価値あるものにするという出向の目的が実現した成功事例となった。

(2023年5月 理事長:西原弘明)

2022（令和4）年度 事業報告

目 次

I. 法人本部	
I－1 法人本部	1
II. 健康管理部	
II－1 健康管理部	15
III. 障害者支援事業部	
III－1 ルミエール	27
(障害者支援施設)	
III－2 めいわ	35
(障害者支援施設)	
III－3 リホープ	49
(障害者支援施設)	
III－4 山王の家	59
(共同生活援助)	
IV. 佐倉圏域事業部	
IV－1 佐倉市よもぎの園	65
(就労継続支援B型)	
IV－2 ワークショップかぶらぎ	73
(就労継続支援B型/自立訓練)	
IV－3 ジョーの家	81
(共同生活援助)	
V. 高齢者福祉事業部	
V－1 はちす苑	87

VI. 地域福祉事業部

VI-1	南部児童センター／学童保育所	101
VI-2	総合相談センター	109
	(佐倉市南部地域包括支援センター/アシスト)	
VI-3	南部地域福祉センター	119

I . 法 人 本 部

本部

中期経営経営計画2年目、業務執行会議で進捗の確認を行う。

今年度も、新型コロナウイルス感染症に対する感染予防、感染拡大を防ぐことが、大きな課題であった。また、新型コロナウイルス感染症により、運営、経営に大きな影響を受けるとともに、あわせて、電気代、物価高騰の影響も受ける。そのような中、各事業部の実績会議で、毎月の運営、経営状況を把握して、事業をすすめることができた。

○地域との連携・協働

コロナ禍で実行できていなかった福祉学習が再開。根郷中学校(10/27)、山王小学校2回(①12/7、②1/25)に実施。ともに視覚障害者体験とガイドヘルプを行う。山王小に関しては、リホープ利用者も同行し、児童との交流も行った。ともいきプロジェクトを通して、地域食堂ともいきによる地域支援、さくら山王自治会と共同で山王みらいプロジェクト設立し、12/3 にゼロ円バザーを千葉敬愛短期大学の敷地を借りて実施した。まちづくり協議会の会議も再開。コロナ禍でなかなかできなかった活動が、徐々に動き出し、愛光も連携・協働を再開した。

○採算性の検証

各事業部の実績会議の日程にあわせて試算表を作成し、試算表をもとに、実績会議で検討が行われた。

○業務効率化推進

会計業務アウトソーシングについて、障害者福祉事業部、佐倉圏域事業部で開始、介護請求業務については来期中に業務マニュアルを完成させる。

○ICT活用による業務省力化促進

昨年度、グループウェア、購買システムの導入を本部より始め、今年度、各事業所に進めていった。グループウェアソフトの導入は課長クラス以上へ導入し、スケジュール管理や内部メール、回覧などの情報発信・共有は進んでいる。今後は、共有アカウントを作成し、稟議書などのワークフローを進めていく予定である。購買システムに関しては各事業所での活用が定着してきてはいるが、まだ活用に至っていない事業所もある。本部としては介護用品の単価交渉を行い、今後の経費削減につなげていけるよう動いている。

○広報活動体制強化

ホームページのリニューアルから、約2年が経過した。ブログ機能の活用等進めているが、活用事業所に偏りがある為、広報委員と連携してブログ更新を促しているところである。ツイッターに関しては、1日1ツイートを目標に日々ツイートした。イベント等が少ない中、継続することができているが、内容の充実をはかりたい。

○人材確保・人材育成

新卒採用は13名。うち法人での実習経験者6名、インターンシップ経験者12名。実習実施にあたり、コロナ禍もあり法人内で受け入れ先の事業所を変更する等の調整を行いながら対応した。インターンシップ体験参加者は例年より多く、現場の協力のもと採用につながるケースも多かった。また、本年度から再開した学校への挨拶まわりにより、学校からの後押しも得ることができたことが採用の母集団形成に大きな影響を及ぼしたと考えられるので今後も継続していきたい。

2022年度（2022.4月～2023年3月）	
実習受け入れ	99名
インターンシップ体験	35名
説明会参加者	12名

○働きやすい職場環境づくり

各事業部の実績会議で、残業、有休の報告をし、状況把握のもと、事業所で改善に努めた。コロナのクラスターの発生、年度途中の退職者や休職者がでて、有休の取得が難しい事業所もあった。

○ファシリティマネジメント

大規模修繕計画をもとに、計画的に修繕を実施した。急に必要となった修繕についても、計画を修正し、対応した。

（本部長 池田 浩一）

1 2022（令和4）年度実績

（1）財務（単位：百万円）

	令和4年度	前年	増減	法人本部	障害者支援事業部	佐倉圏域事業	高齢者福祉事業	地域福祉事業	視覚障害者無償貸与
サービス活動収益	2,048	2,014	34	1	1,155	147	468	280	0
経常増減差額	△28	△25	△3	△92	74	6	△18	12	△11
経常増減差額比率（%）	△1.4	△1.3	△0.1		6.4	4.3	△3.9	4.4	

※内部取引相殺および、単位未満の端数を四捨五入して表示しているため、表中の総額と内訳の合計及び比率が一致しない場合がある。

（2）個別運営実績

経営改革	<ul style="list-style-type: none"> ・第Ⅳ期中期経営計画の推進 ・大規模修繕計画の実行
新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉市立第二寺崎学童保育所指定管理受託
事業運営	<ul style="list-style-type: none"> ・内部統制構築推進（本部・各事業所 巡回指導監査実施）
地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> 《まちづくりへの協力》 ・地域環境美化（「愛の灯台花壇」の設置） ・地域福祉活動への参加（地区社協・まちづくり協議会） 《小中学生に対する福祉教育》 ・地域の小中学校での福祉教育 《その他の地域貢献・交流活動》 ・地域食堂ともいき ・佐倉市南部地域福祉センター愛光たすけあい移送サービス ・城の辺地区社協買い物支援協力 ・小学生書き初め展 ・ボランティアの育成 ・地域防災～「福祉避難所」
設備管理	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉事業所 スロープ入口、駐車場照明工事 ・本館 1階トイレ改修工事 ・めいわ 1階、2階トイレ改修工事 ・支援センター トイレ改修工事
後援会	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリーあいこう ・地域お祭りへの支援 ・子ども食堂の支援 ・小学生サッカー大会支援（根郷ガーデンカップサッカー大会） ・バリアフリー映画上映会 ・Aikoh フォーラム助成支援 ・愛光・千視協ボランティア保険料への助成

(3) プロジェクト

プロジェクト名称	活動内容	活動実績
内部統制構築PT	巡回指導監査検証	巡回指導監査実施(本部・各事業所) 検証継続 各拠点の業務フロー作成
ともいきPT	山王自治会との共同プロジェクト 「山王みらいプロジェクト」発足	地域食堂の継続 12/3 ゼロ円バザー 愛光におけるボランティア活動についてのアンケート調査
災害対策PT	事業継続計画(風水害)の見直し 災害時備蓄品の整備	災害対応マニュアル(案)完成 災害時備蓄品の整備
感染症対策PT	事業継続計画の策定	感染症対応マニュアル完成
人材育成PT	人事制度課題整理 評価制度見直し	人事評価制度改定 評価ソフト導入
財務PT	法人内財務分析 各事業健全経営の提案 資金運用計画策定	月次試算表早期化実施 購買非現金化システム構築 資金運用実施
はちす苑経営改善PT	事業検証	機能別採算制度導入2期目 残業時間減・収支状況改善

2 事業の現況 (2023年3月31日現在)

(1) 佐倉事業所(所在地/千葉県佐倉市山王2-37-9)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ルミエール	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 60名 【認可】 2007(平成19)年11月1日	大里英巳
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業(短期入所) 【定員】 併設型3名 【認可】 2006(平成18)年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】 2006(平成18)年10月1日	
めいわ	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護80名(めいわ56名・根郷通所24名) 施設入所支援56名(めいわ) 【認可】 2008(平成20)年8月1日	片野明美
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業(短期入所) 【定員】 併設型4名(+空床利用) 【認可】 2006(平成18)年10月1日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業(日中一時支援事業) 【認可】 2006(平成18)年10月1日	

リホープ	第一種事業	【種別】 障害者支援施設 【定員】 生活介護・施設入所支援 50 名 【認可】 2008（平成 20）年 4 月 1 日	中川光男
	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（短期入所） 【定員】 併設型 2 名（＋空床利用） 【認可】 2006（平成 18）年 10 月 1 日	
	公益事業	【種別】 地域生活支援事業（日中一時支援事業） 【認可】 2006（平成 18）年 10 月 1 日	

(2) 佐倉太田事業所（所在地／千葉県佐倉市太田 1145-1）

施設等の名称	事業区分	事業内容	管理者
はちす苑	第一種事業	【種別】 特別養護老人ホーム 【定員】 54 名 【認可】 1999（平成 11）年 10 月 1 日	麻生知明
ショートステイ はちす苑	第二種事業	【種別】 老人短期入所事業 【定員】 併設型 20 名（及び空床型） 【認可】 2000（平成 12）年 1 月 1 日	
		【種別】 共生型短期入所事業 【定員】 6 名 ※老人短期入所事業定員に含む 【認可】 2018（平成 30）年 9 月 1 日	
デイサービス はちす苑		【種別】 老人デイサービス事業 【定員】 35 名 【認可】 1999（平成 11）年 10 月 1 日	
ホームヘルプサービス はちす苑		【種別】 共生型生活介護事業 【定員】 35 名 ※老人デイサービス事業定員に含む 【認可】 2018（平成 30）年 7 月 1 日	
		【種別】 老人居宅介護等事業 【認可】 2000（平成 12）年 4 月 1 日	
ケアプラン はちす苑	【種別】 居宅介護支援事業 【認可】 2000（平成 12）年 4 月 1 日	麻生知明	

(3) 佐倉宮前事業所（所在地／千葉県佐倉市宮前 2-13-1）

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
佐倉市 よもぎの園	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型） 【定員】 40 名 【認可】 2008（平成 20）年 4 月 1 日	戸室輝大

(4) 佐倉鎗木町事業所（所在地／千葉県佐倉市鎗木町 352-2）

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ワークショップ かぶらぎ	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型） 【定員】 18 名 【認可】 2015（平成 27）年 6 月 1 日	近藤美貴
		【種別】 障害福祉サービス事業（自立訓練〈生活訓練〉） 【定員】 6 名 【認可】 2015（平成 27）年 6 月 1 日	

(5) 佐倉城事業所 (所在地/千葉県佐倉市城 399-3)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
ジョーの家	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】 4名 【認可】 2009 (平成 21) 年 4 月 1 日	安部一義

(6) 佐倉大篠塚事業所 (所在地/千葉県佐倉市大篠塚 1587 南部保健福祉センター内)

※佐倉市指定管理事業

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者	
佐倉市立南部 児童センター	第二種事業	【種別】 児童センター 【受託】 2014 (平成 26) 年 4 月 1 日	長岡陽子	
佐倉市立 根郷学童保育所 第二根郷学童保育所 山王学童保育所 大崎台学童保育所 寺崎学童保育所 弥富学童保育所 和田学童保育所	第二種事業	【種別】 学童保育所 【受託】 2014 (平成 26) 年 4 月 1 日		
佐倉市南部 地域福祉センター	公益事業	【種別】 地域福祉センター 【受託】 2016 (平成 28) 年 4 月 1 日	横川民夫	
総合相談 センター	佐倉市南部 地域包括支援センター	公益事業	【種別】 地域包括支援センター (業務委託) 【認可】 2009 (平成 21) 年 4 月 1 日	森由美子
	佐倉市障害者 生活支援センター アシスト	第二種事業	【種別】 障害者相談支援事業 (一般・特 定相談) (業務委託) 【受託】 2002 (平成 14) 年 4 月 1 日	

(7) 佐倉山王・太田事業所 (所在地/千葉県佐倉市太田 1879-1)

事業所の名称	事業区分	事業内容	管理者
山王の家	第二種事業	【種別】 障害福祉サービス事業 (介護サービス包括型指定共同生活援助) 【定員】 10名 【認可】 2017 (平成 29) 年 11 月 1 日	高梨和憲

3 理事会・評議員会

(1) 理事会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (308回)	6月11日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事8名 監事1名	2名	業務報告 2021(令和3)年度事業報告について 2021(令和3)年度決算報告について 監事監査報告 社会福祉充実計画の変更について 理事会議決事項契約について 管理職員人事について 2022年度第1回(通算第71回)評議員会招集について
第2回 (309回)	9月24日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事8名 監事2名	1名	業務報告 諸規程の改正
第3回 (310回)	11月26日 (土)	愛光本館 第一会議室	理事8名 監事1名	2名	業務報告 事業部報告 2022(令和4)年度第1次補正予算(案)について 法人本部積立資産の資金運用について 2022(令和4)年度第2回(通算第72回)評議員会招集について
第4回 (311回)	1月21日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事7名 監事2名	2名	業務報告 事業部報告 2023(令和5)年度理事会議決事項契約について 諸規定の改正について
第5回 (312回)	3月18日 (土)	愛光本館 第1会議室	理事9名 監事1名	1名	業務報告 事業部報告 2022(令和4)年度第2次補正予算案について 2023(令和5)年度事業計画案、予算案について 諸規程の改正について 法人本部積立資産の資金運用について 2022(令和4)年度第3回(通算第73回)評議員会招集について

※()内は通算回数

(2) 評議員会の開催状況

	開催日	場所	出席	欠席	主な議題
第1回 (71回)	6月26日 (日)	愛光本館 第1会議室	12名	0名	2021(令和3)年度事業報告について 2021(令和3)年度決算報告について
第2回 (72回)	12月10日 (土)	愛光本館 第1会議室	11名	1名	2022(令和4)年度第1次補正予算について
第3回 (73回)	3月26日 (日)	愛光本館 第1会議室	11名	1名	2022(令和4)年度第2次補正予算案について 2023(令和5)年度事業計画案、予算案について

※()内は通算回数

(3) 理事・監事・顧問

任期/2021年6月20日~2023年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
理事長	西原 弘明	総括施設長	法人職員
副理事長	河野 尋幸	元行政関係者	地域の福祉関係者
業務執行理事	池田 浩一	愛光 本部長	法人職員
〃	中川 光男	愛光 障害者支援事業部長	法人職員
〃	安部 一義	愛光 高齢者福祉事業部長	法人職員
〃	横川 民夫	愛光 地域福祉事業部長	法人職員
理事	酒井綱一郎	元会社取締役	地域の福祉関係者
〃	吉野 智	弁護士事務所 所長	法律家
〃	松山 毅	大学 前任准教授	社会福祉事業の学識経験者
監事	滑川 里美	一般社団法人理事	社会福祉有識者
	井上 郷	税理士事務所 所長	財務有識者
会長	法澤 奉典	愛光 元理事長	
顧問	荒木 直躬	社会福祉法人 理事長	
	岡田 正平	愛光後援会 元会長	
	島本 賢一	元愛光家族協議会 会長	
	長谷川匡俊	学校法人 理事長	
	望月 清義	元市議会議員	
	田邊 正雄	元社会福祉協議会 理事	

(4) 評議員

任期/2021年6月20日~2025年6月定時評議員会終結時

役職名	氏名	現職等	選任領域区分
評議員	青木 隆一	行政関係者	行政経験者
〃	足立 元秀	元地区社会福祉協議会会長	地域の福祉関係者
〃	石毛 滋之	会社役員(利用者家族)	利用者の家族の代表
〃	小川 雅夫	千葉県教育相談員	社会福祉事業の学識経験者
〃	長田 研自	会社役員	地域の後援者
〃	黒田 聡	福祉関係団体役員	地域の福祉関係者
〃	今野 正隆	福祉関係団体職員	地域の福祉関係者
〃	内藤 寛子	根郷地区社会福祉協議会会長	地域の福祉関係者
〃	中澤 昌子	元特別支援学校 PTA 会長	地域の福祉関係者
〃	布施 千草	元短期大学学科長	社会福祉事業の学識経験者
〃	星 初枝	薬物乱用防止対策協議会事務局長	地域の福祉関係者
〃	山崎 昭造	福祉関係団体役員	地域の福祉関係者

(5) 評議員選任・解任委員

任期/2021. 6. 20~2025. 6

職名	氏名	任期	備考
監事	滑川 里美	2021. 6. 20~2025. 6	一般社団法人 理事
監事	井上 郷	2021. 6. 20~2025. 6	税理士事務所 所長
外部委員	稲村 多恵子	2021. 6. 20~2025. 6	元地区社会福祉協議会 会長
外部委員	小林 眞智子	2021. 6. 20~2025. 6	地区民生委員児童委員協議会長
事務局	宮本 典昭	2021. 6. 20~2025. 6	愛光職員

4 職員の状況

(1) 採用・退職・異動 (2022年4月1日～2023年3月31日)

事業所名	2022. 4. 1 現員数	2022. 4. 1～2023. 3. 31				2023. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
法人本部	17 (5)			1 ()	1	15 (5)
健康管理部	19 (9)	4 (3)	2	3 (2)	2 (1)	22 (11)
ルミエール	41 (5)	1	1		4	39 (5)
めいわ	41 (6)	3 (2)	4 (2)	5 (2)	3	40 (8)
根郷通所センター	19 (9)		3	2		19 (9)
リホープ	31 (6)	5 (2)	4	3	6 (3)	30 (5)
山王の家	7 (6)					7 (6)
よもぎの園	14 (9)	4 (4)	1 (1)		5 (5)	14 (9)
ワークショップかぶらぎ	7 (1)	3 (3)	2 (1)		1	11 (5)
ジョーの家	2 (2)					2 (2)
はちす苑	84 (44)	11 (8)		6 (3)	9 (7)	89 (49)
佐倉市南部児童センター 学童保育所	53 (41)	16 (15)	4	5 (4)	16 (13)	60 (46)
アシスト	6 (1)	1	2	1 (1)	2	5 (1)
佐倉市南部地域包括 支援センター	10		1	2		9
佐倉市南部地域福祉 センター	10 (7)	2 (2)			3 (2)	10 (7)
総 数	361 (151)	50 (39)	24 (4)	28 (12)	52 (31)	372 (168)

★育休・休職は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動退職者は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★事業所内での異動はカウントしない

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示

(2) 採用形態別 (2022年4月1日現在)

事業所名	総 数			正 職 員			サポ-ト職員			パート職員		
	総数	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女
総 数	361	117	244	175	88	87	35	9	26	151	20	131
法人本部	17	9	8	8	6	2	4		4	5	3	2
健康管理部	19	1	18	7		7	3	1	2	9		9
ルミエール	41	20	21	36	20	16				5		5
めいわ	41	17	24	34	17	17	1		1	6		6
根郷通所センター	19	6	13	9	5	4	1	1		9		9
リホ-プ	31	15	16	23	13	10	2	2		6		6
山王の家	7	1	6	1	1					6		6
よもぎの園	14	5	9	4	3	1	1		1	9	2	7
ワークショップかぶらぎ	7	5	2	6	5	1				1		1
ジョ-の家	2		2							2		2
はちす苑	84	23	61	29	14	15	11	2	9	44	7	37
佐倉市南部児童センター・学童保育所	53	6	47	5	0	5	7	2	5	41	4	37
アシスト	6	2	4	5	2	3				1		1
佐倉市南部地域包括支援センター	10	2	8	7	2	5	3		3			
佐倉市南部地域福祉センター	10	5	5	1		1	2	1	1	7	4	3

★常勤嘱託はサポ-ト職員に含む

(3) 役割等級別 (2022年4月1日現在)

事業所名	等級 総数	正 職 員					契約職員				パート職員	
		2	3	4	5	6	サポ-ト職	嘱託技能・管理職			1	2
	289	133	29	8	5		23	2	2	1	77	9
法人本部	14	3	1	1	3		3				3	
健康管理部	18	4	3					2			3	6
ルミエール	41	32	3	1							5	
めいわ	40	28	4	1	1						6	
根郷通所センター	18	7	1	1							8	1
リホ-プ	31	19	3	1			1			1	6	
山王の家	7		1								6	
よもぎの園	14	2	1	1			1				9	
ワークショップかぶらぎ	7	3	2	1								1
ジョ-の家	2										2	
はちす苑	69	23	4	1	1		10		1		28	1
佐倉市南部児童センター・学童保育所	10	1	4				5					
アシスト	6	5									1	
佐倉市南部地域包括支援センター	9	6	1				2					
佐倉市南部地域福祉センター	3		1				1		1			

★嘱託サポ-ト、特別雇用、管理宿直、配食サービス、児童センター・学童保育所、地域福祉センターパート、登録ヘルパーは役割等級なし

(4) 年齢構成 (2022年4月1日現在)

総数	年齢	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
	361	1	61	59	70	81	89
法人本部	17			3	4	6	4
健康管理部	19		1	3	3	7	5
ルミエール	41		16	10	6	7	2
めいわ	41		12	14	6	6	3
根郷通所センター	19		4	2	3	3	7
リホープ	31		10	6	5	7	3
山王の家	7			1	1	1	4
よもぎの園	14			4	3	5	2
ワークショップかぶらぎ	7				5	1	1
ジョーの家	2						2
はちす苑	84		11	13	17	19	24
佐倉市南部児童センター・学童保育所	53	1	6	1	9	15	21
アシスト	6				4	1	1
佐倉市南部地域包括支援センター	10		1	2	4	2	1
佐倉市南部地域福祉センター	10					1	9

(5) 免許・資格 (2022年4月1日現在)

総数	資格所持 延べ人数	社会 福祉士	精神 保健 福祉士	介護支援 専門員	介護 福祉士	社会福祉 主事	歩行 訓練士	保育士	幼稚園 教諭	小中高 教員
	368	34	14	29	127	107	3	24	12	18
法人本部	13	1		2	3	7				
健康管理部	1			1						
ルミエール	58	2		3	25	20		6	2	
めいわ	62	8	3		25	16	1	6	3	
根郷通所センター	19				5	11		1	1	1
リホープ	41	6	4	3	7	19	1	1		
山王の家	1					1				
よもぎの園	11	1			5	5				
ワークショップかぶらぎ	15	3	1	1	4	6				
ジョーの家	1									1
はちす苑	78	2	1	12	48	14				1
佐倉市南部児童センター・学童保育所	35				2	3		9	6	15
アシスト	11	4	3	2		2				
佐倉市南部地域包括支援センター	19	7	2	5	2	1	1	1		
佐倉市南部地域福祉センター	3				1	2				

5 諸規程整備状況

改正日	施行日	規程	区分	整備内容
2022. 9. 24	2022. 10. 1	給与規程・サポート職員給与規程・パート職員給与規程・特別雇用職員給与規程・嘱託職員給与規程・育児・介護休業等に関する規定	改正	<ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金改正に伴う変更 ・福祉・介護職員処遇改善臨時交付金の終了および福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算の開始に伴う変更 ・育児・介護休業法の改正に伴う変更
2023. 3. 18	2023. 4. 1	定款細則・組織管理規程・文書取扱規程・給与規程・サポート職員給与規程・パート職員給与規程・特別雇用職員給与規程・嘱託職員給与規程・	改正	<ul style="list-style-type: none"> ・第二寺崎学童保育所の指定管理事業受託のための変更 ・新型コロナウイルス感染症対応特別手当の終了に伴う変更 ・人事評価の見直しに伴う変更

6 リスクマネジメント（福祉サービスにかかる事故と苦情の状況）

（1）事故の状況

	総数	本部	ルミール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	MSかぶらぎ・シヨール	根郷通所・山王の家	アシスト・包括	児童・学童	地域福祉センター
(総数)	365	2	34	86	16	98	8	3	42	6	69	1
死亡に至った事例	1					1						
骨折等重症に至った事例	14		1	5	3	4					1	
感染症発生事例 (新型コロナ)	317	2	26	76	12	84	7	3	41	5	60	1
裂傷・打撲等通院治療事例	25		6	3	1	6			1		8	
無届外出	3			1		2						
車輛事故（物損）	2						1			1		
誤投薬	2		1	1								
その他（放置）	1					1						

(2) 苦情

	総数	本部	ルミエール	めいわ	リホープ	はちす苑	よもぎの園	かぶらぎ・ジョー	根郷・山王の家	アシスト・包括	児童・学童	地域福祉センター
(総数)	9			1	1	3			2	2		
食事等サービス内容に関すること												
職員の対応、行動に関すること	8			1	1	3			1	2		
介護、支援方針に関すること	1								1			
設備、職員配置に関すること												
他の利用者に関すること												
その他												

(3) 第三者委員の活動状況

施設	担当委員	日付	活動内容
リホープ	四方田委員	2022. 12. 25	利用者と個別面談
佐倉市よもぎの園	加藤委員	2023. 2. 1	家族と懇談方式
ワークショップかぶらぎ	四方田委員	2023. 2. 3	家族と懇談方式
ジョーの家	四方田委員	2023. 2. 3	利用者と個別面談
めいわ	葛西委員	2023. 2. 24	利用者と個別面談
南部地域福祉センター	葛西委員	2023. 3. 4	定期利用団体と懇談方式

7 事業経過 (本部関係/2022. 4. 1~2023. 3. 31)

月	行事(会議 研修会 行事等)	業務執行会議
4月	辞令交付式・新任職員研修・地域食堂ともいき(弁当販売)	5日・19日
5月	管理者評価面接・採用後1年面接・監事監査・地域食堂ともいき(弁当販売)・第10回実践発表会	2日・10日 31日
6月	理事会・評議員会・地域食堂ともいき(弁当販売)・「ケアニン」映画上映会	7日・17日
7月	辞令交付式・メンター交流会・地域食堂ともいき(弁当販売)・介護マイスター研修・法人メンター研修	5日・22日
8月	地域食堂ともいき(弁当販売)・メンター情報交換会・法人面談研修	2日

9月	理事会・地域食堂ともいきお弁当販売・根郷福祉まつり・城西国際大学説明会	6日・15日
10月	法人接遇研修・メンター情報交換会・障害者作品展「ふれあいギャラリー」	4日
11月	理事会・地域食堂ともいき（弁当販売）・評議員会・法人権利擁護研修・根郷中学校福祉学習	1日・8日 16日
12月	メンター交流会・地域食堂ともいきお弁当販売・法人メンター研修	6日
1月	新入職員懇親会・理事会・地域食堂ともいき（弁当販売）メンター情報交換会・法人面談研修	4日・10日
2月	地域食堂ともいき（弁当販売）・淑徳大学合同説明会	7日・27日 28日
3月	理事会・地域食堂ともいき（弁当販売）・山王小学校福祉学習・評議員会	3日・7日

8 ボランティアの育成と受け入れ

8-1 ボランティア受け入れ状況（障害支援事業部）（0件/0人）

活 動 内 容	件数	延べ 人数	活 動 内 容	件数	延べ 人数
理髪	0	0	作業補助	0	0
歩行介助	0	0	行事協力	0	0
外出介助	0	0	ダンス・舞踊	0	0
伴走	15	15	傾聴・朗読等	10	10
清掃	0	0	音楽	5	27
施設・備品整備	0	0	茶道・花道	0	0
裁縫	0	0	公演	0	0
洗濯・たたみ	0	0	手工芸	0	0
生活介助	0	0	その他	0	0

8-2 ボランティア登録状況（障害支援事業部）（0団体 0名・個人2名）

団 体 名	会 員 数	所 在 地 域	団 体 名	会 員 数	所 在 地 域
・登録者 個人2名（伴走、散歩）					

8-3 ボランティア育成事業（全事業所）

月 日	内容
中止	ボランティア交流会 ※新型コロナウイルス感染症のため中止
9月29日（木） 2月14日（火）	ボランティア講座「初めてのボランティア」（南部地域福祉センター） ボランティア講座「ボランティア活動から学ぼう」（南部地域福祉センター）
愛光にボランティア登録している方の活動状況や今後の活動について明らかにすることを目的に、9～10月、152名にアンケート調査を実施。118通の回答（回収率：77%）。ボランティア活動を行っている方は66人（56%）、今後愛光でのボランティア活動を希望している方は67人（56%）であった。	

9 福祉教育

9-1 福祉教育

月 日	機関名	対象者	学習内容
9月15日	根郷中学校	1年生	福祉講和
10月27日	根郷中学校	2年生	アイマスク体験・ガイドヘルプ講座
12月7日	山王小学校	4年生	アイマスク体験・ガイドヘルプ講座
1月25日	山王小学校	4年生	愛光利用者交流体験

10 地域食堂「ともいき」

10-1 地域食堂「ともいき」開催状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域食堂ともいきの開催はお弁当販売として毎月第三水曜日に実施。法人職員とボランティアの方々と一緒に作成したお弁当を100円で販売する。新たな取り組みとして、一部カフェコーナーも設置し、参加者同士の交流の場として集える工夫をした。お弁当申し込み予約にLINEを導入することで、子育て世代が手軽に申し込みの出来る工夫も行った。12月より飲食希望者には、購入したお弁当を飲食できるよう準備をし、毎月1～2組ほどが利用する。

開催日	メニュー	地域住民	学生	ボランティア	延人数	弁当数
4月20日	ハンバーグ弁当	71	0	6	77	77
5月18日	春巻きと炊き込みご飯弁当	78	0	10	88	88
6月15日	餃子弁当	77	0	9	86	86
7月20日	鶏肉のガーリック炒め弁当	77	1	8	86	85
8月17日	チキンカツ弁当	77	9	8	94	85
9月21日	ルーローハン弁当	93	4	8	105	101
10月19日	サケの包み焼き弁当	98	6	7	111	105
11月16日	豚肉のネギ塩弁当	96	3	8	107	104
12月21日	クリスマス弁当	105	0	8	113	113
1月18日	カレーライス弁当	105	0	6	111	111
2月15日	餃子スープ弁当	105	7	9	121	114
3月15日	チキンカツ弁当	115	7	5	127	120

○開催場所：山王集会所

○開催日：第三水曜日 16:30～

○お弁当代：100円

II. 健康管理部

健康管理室

概況

当年度のスローガンは、「すべての利用者、職員に健康と福祉を」であった。新型コロナウイルス感染症の影響でご利用者、職員ともに感染者が多く発生したが、嘱託医のご協力と職員の努力もあり、幸い重篤になる方はいなかった。

○利用者の健康管理

・入院数の減少（高齢者福祉事業部・健康管理室）

今年度入院件数は703件。昨年度と比較し増加して目標の420件を上回ってしまった。

原因疾病としては誤嚥性肺炎、尿路感染症や新型コロナ感染症関係で入院となった方が多かった。入院先の病院で新型コロナの感染症が流行った関係で、はちす苑に帰って来られなくなった例や退院先が見つからず社会的入院となった例があった。

・健康問題軽減（障害者支援事業部・健康管理センター）

利用者の通院に携わることや個別支援会議への参加は、看護師の体制が整わず思うように参加できなかったが、年度末になって看護師が充足しつつあるため改善してきた。また、看護師が各施設に入り込むことができるようになるためより多職種連携が進み、更にご利用者の健康管理に貢献できることを目指したい。

○職員の健康管理

・メンタル不調職員の相談を受けた。

・健康診断に於いて重篤な健康障害とみられる職員に対しては、産業医と連携して強い改善指導を行った。当該職員からは、少し数値が安定したとの報告があった。

○利用者・職員の健康管理

・今年度より、高齢者福祉事業部（はちす苑）以外でも、はちす苑が委託している「日本健康倶楽部」で利用者・職員の定期健康診断を行った。前委託先より安価で、対応が難しい利用者に対しても採血を行っていただいた。

・健康管理部通信は年4回発行した。健康堂の宣伝、食事の楽しみや栄養について、健康に関するアドバイスを掲載した。

○法人内で感染症クラスターゼロ

・当年度は新型コロナウイルス感染症のクラスターが各事業所で発生した。

はちす苑デイサービスが7月、12月、1月。はちす苑特養・S.Sが8月、12月。ルミエールが7月。めいわが10月。根郷通所センターが2月であった。

はちす苑の8月感染でご利用者1名が入院した。また個別で職員1名が入院した。それ以外でご利用者、職員は重篤で入院となった方は確認できていない。

日ごろの感染対策は各事業所に於いて行われていたはずであるが、クラスターが発生したことであるので、感染症対応認定看護師の指導のもとしっかりとした対策を再確認した。

「新型コロナウイルス感染症の情報交換会」を12月9日、に障害者事業部の3施設と高齢者事業部等が参加して行った。各施設のコロナウイルスクラスター時の状況、ゾーン分け等について報告があった。

○給食の安定的提供について

・現給食委託業者の富士産業株との2年契約が終了となるので、現業者を含めて3社見積もりを行った。結果、富士産業株の委託費が一番安価であった。また、諸物価高騰に於ける対応も提案していただいたので、次年度以降も富士産業株との契約続行となった。

・クックチル導入については、厨房の広さが足りず機械が入りきれないということで断念した。

○愛光健康堂の顧客拡大

・新型コロナウイルス感染症の影響で閉鎖している期間が多かった。開所してからは、数件であるが新人マッサージ師が外部のお客様の施術を行った。また、愛光健康堂を担ってきたベテラン職員が退職し1名体制となる。

○その他

・4回目と5回目の新型コロナウイルスワクチン接種を嘱託医の協力のもと希望者に行うことができた。

・「新型コロナウイルス情報」や「新型コロナウイルス対応ガイドライン（愛光オリジナル）」を発行した。

健康管理部 部長 安部 一義

1 障害者支援事業部（健康管理センター）

1-1 保健関係行事の実施状況

月	保 健 関 係 行 事
4月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人新任研修
5月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断（職員・利用者）、医務内会議、健康管理部会議
6月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議
7月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、内科健診（利用者）、医務内会議、薬についての研修
8月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、コロナワクチン接種、医務内会議
9月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、コロナワクチン接種、医務内会議
10月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、法人健康診断（職員・利用者）
11月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、インフルエンザワクチン接種、医務内会議、法人健康診断（利用者）
12月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、健康管理部会議、コロナワクチン接種
1月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議、コロナワクチン接種
2月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、健康管理部会議、医務内会議
3月	衛生・感染症対策委員会、ルミエール血圧・体重測定、医務内会議

1-2 施設内診療

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
【内科】 診療日数 97	延人数	1398	510	457	431
【歯科】 診療日数 54	延人数	417	195	163	59
【医務室】 処置日数 365	延人数	7649	2683	479	4487
【精神科】 診療日数 24	延人数	612	310	244	58
【泌尿器科】 診療日数 13	延人数	362	53	244	65
【他科】 診療日数 0	延人数	0	0	0	0

1-3 施設外医療機関での受診状況

診療科		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
内科	延人数	206	65	41	100
歯科	延人数	15	7	1	7
眼科	延人数	41	7	20	14
外科	延人数	30	11	2	17
精神科	延人数	238	155	32	51
その他	延人数	316	66	72	178

1-4 入院の状況

入院		総数	ルミエール	めいわ	リホープ
件数		19	4	4	11
総日数		381	43	44	294
実人数		16	4	3	9
内訳	男	9	1	1	7
	女	7	3	2	2
医療機関別 延人数	成田富里徳洲会病院	2			2
	聖隷佐倉市民病院	5			5
	東邦大学医療C佐倉病院	3		2	1
	東京女子医大八千代台医療C	1	1		
	成田赤十字病院	2	2		
	佐倉中央病院	4	1	1	2
	千葉脳神経外科病院	1			1
	佐倉整形外科病院	1		1	

1-5 疾患別入院理由

(延人数・重複発症含む) 疾患別入院理由	S状結腸穿孔	1	脱水	1
	敗血症性ショック	1	癒着性腸閉塞	1
	発熱精査	1	腎機能経過観察	1
	乳がん切除手術	1	うっ血性心不全	1
	過量内服	1	低ナトリウム血症	1
	発熱、炎症反応の精査	1	肺炎	2
	尿路感染症	1	肺膿瘍	1
	癌性イレウス	1	脳出血	1
	右大腿骨頸部骨折	3		

1-6 救急搬送の状況

搬送件数	総数	ルミエール	めいわ	リホープ
	12	7	1	4
(内訳)	男:5 女:7	男:3 女:4	男:0 女:1	男:2 女:2

2 高齢者福祉事業部（健康管理室）

2-1 健康診断・施設内診療の実施状況

月	健康診断の実施状況		施設内診療日数				
	入居者	職員	内	泌	眼	皮	歯
4月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
5月	血圧測定・体重測定・血検・検尿 健康診断・胸部レントゲン・骨密度	健康診断(胸部レントゲン・血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察) 腰椎問診・診察	4	2	0	0	4
6月	血圧測定・体重測定・内科健診		4	2	0	0	4
7月	血圧測定・体重測定 コウウイルスワクチン予防接種4回目		4	2	0	0	4
8月	血圧測定		5	0	0	0	0
9月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
10月	血圧測定・体重測定・血検・検尿 内科健診 インフルエンザ 予防接種	夜勤者健康診断(血検・検尿・心電図・身長・体重・聴力・視力・腹囲・診察) 腰椎問診・診察 インフルエンザ 予防接種	4	1	0	0	4
11月	血圧測定・体重測定	インフルエンザ 予防接種・	5	2	0	0	4
12月	血圧測定・体重測定 コウウイルスワクチン予防接種5回目		4	2	0	0	4
1月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	2
2月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4
3月	血圧測定・体重測定		4	2	0	0	4

2-2 施設(内)診療月別内 ※「実人数」は受診した個人単位の人数

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	832	78	76	68	68	76	62	68	72	74	50	71	69
	実人数	463	44	34	41	45	42	37	36	33	43	29	39	40
眼科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	延人数	957	109	111	108	108	0	95	93	84	37	36	86	90
	実人数	349	34	33	35	33	0	32	33	31	25	28	31	34
泌尿器科	延人数	149	13	14	14	14	0	14	8	16	13	14	13	16
	実人数	80	7	7	7	7	0	7	8	8	7	7	7	8

2-3 施設(外) 医療機関受診状況

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	延人数	128	21	6	10	6	53	8	2	2	4	8	4	4
	実人数	68	9	5	4	3	17	6	2	2	4	8	4	4
外科	延人数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	実人数	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
整形外科	延人数	15	2	2	2	0	1	1	1	1	0	3	1	1
	実人数	16	2	2	2	0	1	1	1	1	0	4	1	1
泌尿器科	延人数	13	2	1	1	0	1	1	0	1	1	2	1	2
	実人数	26	3	2	1	0	1	1	0	1	2	6	5	4
眼科	延人数	12	2	1	2	0	0	1	1	0	3	0	1	1
	実人数	12	2	1	2	0	0	1	1	0	3	0	1	1
脳外科	延人数	13	3	1	1	0	1	1	0	1	1	3	0	1
	実人数	15	5	1	1	0	1	1	0	1	1	3	0	1
精神科	延人数	15	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	2
	実人数	15	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	2
循環器科	延人数	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
	実人数	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
菌科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	実人数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
内分泌科	延人数	31	4	2	3	2	2	3	3	3	2	3	2	2
	実人数	31	4	2	3	2	2	3	3	3	2	3	2	2
乳腺科	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
救急外来	延人数	31	2	1	3	4	1	1	4	1	5	4	3	2
	実人数	32	2	1	3	4	1	1	4	1	5	5	3	2
^ -スメーカー	延人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	実人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
消化器科	延人数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経内科	延人数	21	2	2	2	3	1	3	1	1	1	1	2	2
	実人数	21	2	2	2	3	1	3	1	1	1	1	2	2
呼吸器外科	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	延人数	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	実人数	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
腎臓内科	延人数	3	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	実人数	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

2-4 入院の状況（特養在所契約期間中）

件数	入院 総日数	平均 入院日数	実人数	性別		年齢別内訳			
				男	女	50～	70～	80～	90～
24	740	30.83	16	2	14	0	3	7	6

2-5 入院理由

肺炎	2	食道静脈瘤破裂	1
急性肺炎	1	食欲低下	2
細菌性肺炎	1	精神不穏	1
誤嚥性肺炎	6	器質性気分障害	1
脳出血	2	持続性人格障害	1
脳梗塞	1	腸捻転	1
右大腿骨頸部骨折	1	食道裂孔ヘルニア・食道出血	1
腸閉塞	3	尿路感染症	3
上部消化管出血	1	脱水	1
慢性心不全	1		

2-6 機能回復訓練（指圧）の実施状況

	特別養護老人ホーム			ショートステイ			デイサービス		
	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数	日数	延人数	実人数
合計	365	5475	15	365	2920	8	292	4380	15

3 障害者支援事業部（栄養管理室）

3-1 標準献立

	朝食 8:00～	昼食 12:00～	夕食 18:00～
献立名	ごはん 納豆 かぶの煮物 青梗菜のおひたし みそ汁（白菜、厚揚げ）	ごはん あじの菜種焼き ごぼうと牛肉の煮物 ほうれん草の和え物 けんちん汁	ごはん 八宝菜 もやしのわさび和え ザーサイ漬 はんぺんのスープ

3-2 食種構成表

	常食	特別食		
		刻み	粥	ミサー・ペースト食
総数	148	38	2	4
ルミエール	40	15	2	1
めいわ	40	13	0	3
通所	32	2	0	0
リホープ	36	7	6	0
	療養食			
	減塩食	脂質コントロール食	糖尿病食	貧血食
総数	0	17	12	0
ルミエール	0	6	2	0
めいわ	0	7	4	0
通所	0	0	0	0
リホープ	0	4	6	0

3-3 基準摂取栄養量

エネルギー	1900kcal	たんぱく質	74g	脂質	50g
糖質	285g	カルシウム	550mg	鉄分	10.0mg
ビタミンA	770μg	ビタミンB1	1.15mg	ビタミンB2	1.27mg
ビタミンC	100mg	食塩相当量	9.0g		

3-4 栄養改善委員会開催状況（隔月開催）

委員の構成・施設職員4名、利用者代表1名、施設栄養士3名、健康管理部長1名、委託給食会社社員1名、委託給食会社（責任者）1名

月 日	内 容（例）
12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士から連絡（もち禁止の対応、検食簿の書き方） ・給食委託業者から ・検食簿からの意見 ・施設からの意見

3-5 行事食献立

月・日	区分	行事名	献立
4月8日	昼	花まつり	桜ちらし寿司、ふきの信田煮、そうめん汁、桜もち風和菓子
5月5日	昼	端午の節句	五目ちらし、ごぼうと牛肉の炒め煮、すまし汁（はんぺん）、柏もち
7月7日	昼	七夕	枝豆ごはん、鯖の塩こうじ焼き、里芋のそぼろ煮、おくらのすまし汁、梅ゼリー
7月23日	昼	土用丑の日	穴子ちらし寿司、切り干し大根のオイスターソース炒め、バンサンスー、おくらのすまし汁
8月4日	昼	土用丑の日 (二の丑)	ちらし寿司、厚揚げと茄子の煮物、すまし汁（はんぺん、水菜）、フルーツ（梨）
9月19日	昼	敬老の日	赤飯、ぶりの塩焼き、炊き合わせ、すまし汁（大根、小松菜）、水ようかん
9月23日	昼	秋分の日	ごはん、かき揚げ、高野豆腐の煮物、みぞれ汁、おはぎ
10月8日	昼	十三夜	栗ごはん、さわらの塩こうじ焼き、切り干し大根のサラダ、けんちん汁、みたらし団子
12月22日	昼	冬至	ちらし寿司、南瓜の煮物、すまし汁（はんぺん、みつば）、抹茶ようかん
12月24日	昼	クリスマス	ごはん、フライドチキン、スパゲティーサラダ、ミネストローネ、チョコレートケーキ
12月31日	昼	大みそか	年越しそば、えびとそら豆のかき揚げ、いなり寿司、ほうれん草と油揚げの和え物、水ようかん
1月1日	昼	お正月	赤飯、お雑煮、紅白なます、紅白かまぼこ、ローストポーク、黒豆、ゆずゼリー
1月7日	昼	七草	七草粥、鶏肉の塩こうじ焼き、白菜の甘酢和え、のっぺい汁、抹茶ようかん
1月11日	昼	鏡開き	ごはん、太刀魚の塩焼き、玉ねぎのドレッシング和え、雷汁、おしるこ
2月3日	昼	節分	ちらし寿司、切り干し大根の煮物、ささみともやしのごま和え、すまし汁（はんぺん、みつば）、水ようかん
3月3日	昼	ひな祭り	ちらし寿司、蒸し鶏とキャベツの和え物、かぶのそぼろ煮、紅白そうめん汁、桜もち
3月18日	昼	創立記念日	赤飯、鶏肉のハーブ焼き、ねぎとろ、六角里芋と木の葉南瓜の煮物、すまし汁（菜の花）
3月21日	昼	春分の日	ごはん、ローストポーク、えびと玉ねぎの酢の物、沢煮椀、ぼたもち

4 高齢者福祉事業部（栄養管理室）

4-1 標準献立（平均所要量エネルギー1502kcal//蛋白 69.0g//脂質 35.4g/炭水化物 247g）

	朝食 (8:00～)	昼食 (12:00～)	夕食 (18:00～)
献立名	ごはん もめん豆腐の煮物 ほうれんそう胡麻和え 金時豆 たまねぎのみそ汁 牛乳	ごはん さわらのゆうあん焼き もやしとねぎの和え物 お漬物 里芋とわかめの味噌汁 ぶどうゼリー	ごはん 鶏肉のクリーム煮 オクラの和え物 お漬物 インゲンのみそ汁

4-2 食種構成表

総数	主食				副食					胃ろう
	白米	軟飯	粥	粥ミキサー	常菜	一口	きざみ	極きざみ	ソフト	
55 (入院0)	17	15	15	8	12	14	19	1	9	0

4-3 行事食献立

月	行事名	献立名
4月	新年度	たけのこごはん
5月	八十八夜 端午の節句 リクエスト献立	デザートにお茶まんじゅうを提供 えびのちらし寿司、肉団子煮、沢煮椀、季節の和菓子 スパゲティナポリタン
6月	芒種 入梅 千葉県民の日 麦とろの日 夏至	五穀ごはん、かれいの磯部揚げ、大根炒め煮、漬物、みそ汁、オレンジ ごはん、豚肉と茄子のおかか炒め、豆腐オクラがけ、ぬか漬け、みそ汁、 パインゼリー ごはん、白身魚のピザがだれ、白菜の柑橘あえ、みそ汁、フルーツ 麦ごはん、豚肉とアスパラの炒め、とろろ芋、けんちん汁、豆乳寒天小豆がけ ごはん、チキンジェノベーゼソース、冬瓜煮、漬物、さつま芋のみそ汁、 トマトゼリー
7月	七夕 はちすフェスティ バル 土用うしの日	五目そうめん、えびと野菜の天ぷら、大根おろし、なめらかあんみつ にぎり寿司（まぐろ、サーモン、ねぎとろ、納豆、ほたて貝柱等） 茶碗蒸し、マンゴー、けんちん汁 やわらかうな丼、ゆで野菜のピザ和え、奈良漬け、すまし汁、赤ぶどうゼ リー
8月	山の日 お楽しみ	オムライス、えびしんじょ煮、すまし汁、パインの缶詰 いなり寿司、はんぺん明太焼き、甘酢生姜、豚汁、ラムネゼリー
9月	重陽の節句 十五夜 敬老会 敬老の日	小豆ご飯、鶏肉のしおこうじ焼き、ほうれん草の菊花和え、浅漬け、えび しんじょのすまし汁、白桃缶 ごはん、あじフライ、チンゲン菜和え物、漬物、スープ、みたらしおもち ムース 花形赤飯、ぬか漬け、マグロとサーモン盛合わせ、炊き合わせ、茶わん蒸 し、三つ葉のすまし汁、梨、巨峰→松花堂弁当での提供 ごはん、天ぷら盛り合わせ（鶏肉、ピーマン、南瓜）、ほうれん草お浸し、 佃煮、うしお汁、和菓子

	秋分の日	ちらし寿司、信田の煮物、甘酢生姜、しめじのすまし汁、ココナツミルクゼリー
10月	はちす苑開設記念日	赤飯、豚肉とごぼうの煮物、小松菜と蒸し鶏の辛子和え、すまし汁、マロンババロア
	十三夜	きのこごはん、ぎせい豆腐、ほうれん草柚香和え、漬物、かきたま汁、みたらしおもちムース
	ハロウィン	南瓜プリン
11月	勤労感謝の日	雑穀ごはん、かれいのから揚げ、かぶのかにかまあんかけ、漬物、すまし汁、さつま芋プリン
	寿司パーティー	寿司職人が来苑し、マグロ、サーモン、ほたて等握りたてを味わった。
12月	大雪	ごはん、ぶりの照り焼き、わかめの煮びたし、漬物、蓮根すりおろし汁、みかん
	忘年会	にぎり寿司とおでんを味わった。
	冬至	ごはん、すり身と豆腐のかば焼き、南瓜の煮物、ぬか漬け、うしお汁、ゆず寒天
	クリスマス	ごはん、ミートローフ、サラダ、蓮根すりおろし汁、季節のねりきり
	大みそか	年越しそば、海老と茄子のてんぷら、いなり寿司、甘酒
1月	お正月	元旦の昼：うしお汁のお雑煮、赤飯、お刺身盛り合わせ、六角里芋炊き合わせ、かまぼこ、にしんの昆布巻き、栗きんとん、和菓子 →松花堂弁当での提供 2日の昼：みそ仕立てのお雑煮、かにちらし寿司、茶わん蒸し、豆腐のそばろ包み焼き、プリン
	七草	七草粥、鮭のしお焼き、白菜と厚揚げの煮浸し、漬物、みそ汁、白水ようかん
	鏡開き	ごはん、鶏肉のレモン焼き、春菊のお浸し、漬物、豆腐のスープ、おしるこ
2月	節分	卵の太巻きすしといなりすし、えびしんじょ煮、すまし汁、プルーン紅茶煮
	バレンタインデー	ごはん、鶏肉の照り焼オレンジ風味、サラダ、漬物、ワッパスープ、チョコの和菓子
	お楽しみ	ミートソースドリア、キャベツのサラダ、にら卵スープ、みかん缶
3月	ひなまつり	菜の花のちらし寿司、じゃが芋の明太子炒め、どさんこ汁、きなこヨーグルト
	ホワイトデー	ごはん、マッシュポテトの重ね焼き、サラダ、漬物、みそ汁、ココナツミルクゼリー
	愛光創立記念日	赤飯、マグロの山かけ、炊き合わせ、かきたま汁、おしるこ
	春分の日	ごはん、コロケ、白和え、浅漬け、はんぺんすまし汁、マンゴー

5. 新型コロナウイルス感染症

5-1 新型コロナウイルス感染状況 (2022年4月1日~2023年3月31日)

事業所名		月												
		総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総数		317	3	1	5	54	72	7	68	6	21	44	31	5
本部		2									1	1		
アシスト 地域包括支援センター		5				1	2			1				1
南部地域福祉センター 児童センター・学童	児	52	2		5	18	11					16		
	職	9				2	1					6		
ルミエール	利	14				14								
	職	12				6	1	1		1	2	1		
めいわ	利	54							54					
	職	22	1			1	2	1	11	1	3	1		1
根郷通所センター 山王の家	利	25				1	1		1				22	
	職	16				1	2			1	2	2	8	
リホープ	利	4				1			2				1	
	職	8		1		3	1	1				1		1
よもぎの園	利	3				1	2							
	職	4					2			1				1
WCかぶらぎ ジョーの家	利	1										1		
	職	2								1	1			
高齢者福祉事業部	利	43					28	3			4	8		
	職	41				5	19	1			8	7		1

Ⅲ. 障害者支援事業部

2022（令和4）年度 事業報告
障害者支援事業部
ルミエール

概況

「利用者、職員ともに笑顔で支え合う」をスローガンとし、チームワークと支え合いをテーマに行ったが、新型コロナウイルス感染症対策と並行し運営することの難しさ、特に7月に職員6名、利用者14名のクラスターが発生してしまった。その後も陽性者は出てはいるが複数人同時感染はない。退所2名により、現員は58名となっている。空床2床は短期入所利用者のトライアルを続けており、近日中の入所を目指している。短期入所については、コロナの関係もあり稼働率が低下しているため、新規利用者の獲得が急務である。

○数値目標

施設入所（稼働率）：目標 98% ⇒ 実績 98.5%
生活介護（稼働率）：目標 97% ⇒ 実績 95.7%
短期入所（稼働率）：目標 70% ⇒ 実績 66.6%

○次世代リーダーの人材育成

次世代を担う人材の選定についてはフロアリーダーを新たに選出しリスクマネジメント中心に主任のフォローアップができるまでを目指し毎月、フロアリーダー会議を立ち上げた。リーダーシップを発揮できる環境作りとして主な係、委員会の担当を任命制にして行った。

・入退所調整制度の確立

施設入所に関して事前の面談を始め、短期入所利用によるトライアルを実施し、よりスムーズな施設入所が行えるように体系作りを行った。

○新規利用者の確保及び収入の確保

・入退所調整制度の確立

施設入所に関して事前の面談を始め、短期入所利用によるトライアルを実施し、よりスムーズな施設入所が行えるように体系作りを行った。

・社会全体でコロナ対策緩和の動きもあるが、佐倉市周辺施設ではクラスター発生が続きコロナ前の状態に戻っていない。その中でも常連の短期利用者は再開できつつあり安定した利用を目指すことができてきた。また、新規利用者獲得のため希望者への訪問を続けている。

○質の高いサービスの提供

・年齢層に対応する日中活動体制の構築

コロナによる慢性的な職員不足により、日中活動体制の構築に苦慮した。

・高齢化・重度化および重度障害に対応する知識・技術の習得

オンライン研修を積極的に取り入れ、短時間でも受講できるようになっている

・医療的ケア・ニーズへの対応

最高齢の利用者の終末期支援を実施し看取りとはいかなかったが想定していたケアを実施できた。

・虐待防止の徹底

身体拘束モニタリング年4回実施し適正化に力を入れ取り組んだ。

○生命・身体機能につながる重大な事故の防止

生命、身体機能に重大な影響の出る大きな事故はないが、転倒や接触等による怪我は多数ある。特に同じ利用者の転倒が多くあり身辺環境から住環境まで見直しを進めているが転倒や怪我は続いている。

○人材確保

今年度は合間がない程の実習の受け入れを行っている。

2022年度実習生受け入れ合計人数合計16人

○ICT導入による業務の効率化

法人委員会にて、記録ソフトの有効活用を検討・実施。

（施設長 大里英巳）

1 施設利用状況 (2022. 4. 1～2023. 3. 31)

1-1 利用状況

【定員 60 名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	60	21584	21571	59.1	98.5	329	256	37	36	1	2

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	1			1				
退所者数と退所事由	2				1		1	

1-3 短期入所 (ショートステイ) 利用状況 【定員 3 名】

	利用者			
	延定員数	延総数	1日平均	稼働率
年間	1095	729	2.0	66.6%

1-4 地域生活支援事業 (日中一時支援事業) 利用状況

	利用者	
	総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
佐倉市	1	2	中央区	0	2	足立区	1	0
船橋市	1	0	美浜区	1	0	板橋区	2	0
印西市	1	0	若葉区	0	1	江戸川区	3	1
大網白里市	0	1	稲毛区	1	0	大田区	2	0
君津市	3	0	花見川区	0	1	葛飾区	2	0
松戸市	1	2	計	2	4	港区	1	0
習志野市	1	0	合計	6		江東区	2	0
成田市	0	3	【埼玉県】			渋谷区	0	1
館山市	1	0	春日部市	0	1	品川区	2	0
市川市	1	0	草加市	2	0	世田谷区	2	0
八千代市	0	1	計	2	1	千代田区	1	0
銚子市	1	0	合計	3		練馬区	1	0
南房総市	1	0	【神奈川県】			目黒区	1	0
九十九里町	1	0	横浜市	0	1	昭島市	1	0
鎌ヶ谷市	1	1	相模原市	1	0	町田市	1	0
計	15	10	計	2	1	計	22	2
合計	24		藤沢市	1	0	合計	24	
			計	2	1			
			合計	3				

※佐倉市住所所持者 27名

2 利用者の状況（2022年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は2022.4.1現在）

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	60	0	13	2	19	16	10	46.0	93	20
%		0%	21.6							
男	43	0	9	2	13	12	7	43.9	71	20
女	17	0	4	0	6	4	3	52.3	93	26

2-2 障害区分

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	60	0	0	0	0	3	57	6
%		0	0	0	0	5.0	95.0	10.0
男	42	0	0	0	0	0	42	4
女	18	0	0	0	0	3	15	2

2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	60	49	2	0	0	1	0	8
%	100	81.7	3.3	0	0	1.7	0	13.3
男	42	38	1	0	0	1	0	2
女	18	11	1	0	0	0	0	6

2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	60	23	23	0	0	14
%	100	38.3	38.3	0	0	23.4
男	42	12	22	0	0	8
女	18	11	1	0	0	6

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	60	49	4	53	7
%	100	81.6	6.7	88.3	11.7
男	42	37	3	40	2
女	18	12	1	13	5

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	60	42	17	0	0	60	1
%	100	70.0	28.3	0	0	98.3	1.7
男	42	30	12	0	0	42	0
女	18	12	5	0	0	17	1

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	60	53	23	4	39	1	59	1	45
%	100	88.3	38.3	6.6	65.0	1.6	98.3	1.6	75.0
男	42	40	17	2	28	1	42	0	34
女	18	13	6	2	11	0	17	1	11

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッドメイキング	移動（内）	移動（外）
常時全面で介助	22	14	33	18	60	31	60
%	36.6	23.3	55.0	30.0	100	51.7	100
常時多面で介助	18	22	23	20	0	9	0
%	30.0	36.6	38.3	33.3		15.0	0
時々部分的に介助	19	14	4	15	0	10	0
%	31.6	23.3	6.6	25.0	0	16.6	0
点検・配慮程度	1	10	0	7	0	4	0
%	1.6	16.6	0	11.7		6.6	0
自立	0	0	0	0	0	6	0
%	0	0	0	0	0	13.3	0

3-5 コミュニケーションの状況

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字
不可	37	6	59	60
%	61.6	10.0	98.3	100
一部で可能	20	49	1	0
%	33.3	81.6	1.6	0
だいたい可能	3	5	0	0
%	5.0	8.3	0	0
支障なし	0	0	0	0
%	0	0	0	0

4 援助サービス

4-1 援助サービスの実施状況

項目	援助サービスの実施状況
【住居】	<p>援助サービスの実施にあたっては、居住ブロック単位で、日常生活の基本となるケアを中心としたサービスを行っている。</p> <p>居住スペースにおいては、情緒の安定・プライバシーに配慮している。</p> <p>当年度はコロナ禍にあり、特に感染症対策として衛生保持・感染症予防のためプラズマクラスター機能付き空気清浄機を各共用スペースに設置し、日常の管理として多目的除菌洗剤、電解次亜水（100ppm）を使用し居室や食堂、トイレのほか、手すりやドアノブ等手に触れる場所の除菌・消毒を1日2回以上行っている。また年間を通し手指のアルコール消毒および換気による空気の入替えを実施するなど感染症対策を徹底した。</p> <p>環境整備として、経年劣化による浴室給湯配管改修工事と並行し現状に即したシャワー設備への改修と、不具合のあった各所照明設備更新工事を実施した。当年度実施予定だった共用部の床改修については緊急事態宣言等の関係で次年度に実施方向となった。</p> <p>不定期であるが環境美化デイ、営繕活動デイを設定し、日頃手の回らない箇所の清掃や環境改善のための修繕等を行い、環境美化向上に努めた。</p>
【食事】	<p>ブロック単位での食事の提供を行っている。食事時に人が集中することによる騒がしさの緩和、嚥下機能低下に伴う誤嚥予防等に配慮し、食事支援を行った。</p> <p>また、体調不良等身体状況の変化、栄養管理や摂食状況に配慮した食事形態や提供の工夫を行った。本年度も全利用者に対し栄養ケア計画を実施し定期的にモニタリングすることにより利用者の個別の栄養管理を実施した。</p>
【排泄】	<p>全介助の方が多く、支援においては排泄傾向の把握と本人に対応した定時排泄に努めている。特に排便に関しては、便秘傾向の方も多く、主治医への相談と内服、便秘改善目的で補助食品を提供している。健康管理面で、排尿量と摂取水分量（IN・OUT）の把握が必要な方数名については、身体状況に変化がないか計量を行い内服等もすすめている。</p>
【入浴】	<p>サマータイム（6～9月）は週3回、それ以外は週2回の入浴を基本として実施。その他、活動状況、皮膚疾患等個々の方の状況に応じて適宜シャワー浴を行っている。利用者の高齢化・重介護化に伴い、特殊浴槽（座位型入浴装置、ミスト浴）と普通浴槽（大・小浴）を活用し、高齢者はもとより、さまざまな身体状況の方へ安全に配慮し入浴サービスを提供した。</p>
【ホーム活動】	<p>ホーム活動は従来どおりの居住ブロック単位で、午前の余暇活動は居住ブロックに関係なく当日の担当職員が実施している。</p> <p>全体的な傾向として、高齢化・重度化に伴い集団での活動よりも、個々の嗜好・ペースにあわせた個別活動に重点をおいた活動が主体となっている。</p> <p>各ホーム活動においては、誕生会等ミニイベントを実施するほか、朝の会、造形、外出等行った。</p> <p>《朝の会》 1日の予定、勤務スタッフの紹介、食事メニューの紹介、連絡、ラジオ体操等。利用者への情報提供を行う。また、当番職員とご利用者により、誕生会や献立、一日の流れ等、毎日放送を行った。</p> <p>《音楽》 CDや有線放送のラジオなどで音楽を流し音楽鑑賞等を通じ、音楽に親しむとともに、情緒の安定を図った。</p> <p>《造形》 季節の行事で掲示・使用する作品等を中心に、活動した。書初め等季節にそった工夫も見られた。</p> <p>《食事会》 デリバリー等注文し、個々の嗜好に合わせたメニューを提供。季節感や流行も取り入れ、食を楽しむ機会を提供した。当年度はコロナの影響にてテイクアウトの選択肢が増え、バラエティに富んだメニューからの選択、地域の店舗とのささやかな交流の機会が増えた。</p>

【余暇活動】	<p>《クラブ活動／行事》 例年はなのはな広場に集まりにぎやかに開催してきたが、当年度は感染症対策に留意し実施。「タイムラグをとりながら数名ずつ広場に集まり各々食事のテイクアウトやゲームへの参加」、という会もあれば、「ホーム毎に会場設定し放送機器を使いながら何とか一体感を保ち進行」という会もあり、各担当職員による創意工夫が感じられた1年だった。殊にクラブ活動については、夏季には暑中見舞いを作成し離れて暮らすご家族等への送付、秋にはルミエール秋まつりと称してケータリング風の食事や数種のレクリエーション企画を用意するなど、趣向を凝らした内容で大いに楽しんでいただく機会の提供が行われた。</p> <p>《歩行・散歩》歩行能力と体力維持をはかり、楽しく歩くことを目的に、敷地内遊歩道の歩行、近隣公園への散歩を行った。十分な時間とはいえませんが、高齢化による利用者の体力・筋力低下が見られる中、天候のよい時など日光浴も行った。</p> <p>《外出》グループ外出、ニーズ別旅行は中止。緊急事態宣言下ではもとより、コロナ禍でマスク着用が一般的な約束事になり、なかなか着用の難しい方々については外出の機会は激減した。法人警戒レベルに応じ外出可能な時期についても、数名でのドライブを行うにとどまった。天候の良い日には近隣の公園で、地域の方との距離をはかりつつ散策やお花見を楽しんだ。</p>
【とつぜん音楽会】	<p>任意の参加…という形で開催。流れる音楽から季節や年代を感じ、アクティブに、かつ心穏やかになるよう活動を提供した。</p> <p>◎ ボランティア交流は当年度中止。ニーズ別旅行についても、集団でのバス移動にともなう感染リスクの観点から中止。</p>

5 運営管理

5-1 職員状況

	2022.4.1 現員数	2022.4.1～2023.3.31				2023.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	41 (5)	1	1		4	39(5)
施設長	1					1
支援課長	1					1
主任	3					3
生活支援員	36(4)	1	1		4	34(4)
クリーンスタッフ	1(1)					1(1)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★産休・育休・介護休・休職中職員も現員のままとする。

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

★網掛けについては、総数に表示していない。

5-2 職員研修の状況

施設内						
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数	
4/1~4/5	新任職員研修	1	11/8	新人フォローアップ研修	1	
4/15	新任職員研修(リスク 排泄)	2	11/14	権利擁護研修	3	
4/24	新任職員研修(入浴 コンプライアンス)	2	11/17	口腔ケア研修	8	
5/18	B C P研修	8	11/20	コンプライアンス内部研修	8	
8/24	ブログ担当研修	1	12/8	接遇マナー研修	2	
8/30	面談研修	3				
施設外						
6/5	地域食堂研修	1	11/11	相談支援者研修	1	
7/13	感染症対策研修	4	11/30	県身協インバースケット研修	2	
9/14	サービス管理責任者更新研修	1	2/14	相談支援従事者専門コース別研修	1	
10/16	意思決定支援研修	1	3/11	強度行動障害事例発表会	4	
10/29	報酬体系研修	1				
11/9	サービス管理責任者更新研修	1				
複数研修						
研修内容	月 日					参加人数
強度行動障害16人研修	5/18 5/26 6/2 6/9 6/16 6/23 6/30 7/8 7/13 7/14 7/15 8/16 9/1 9/9 9/15 9/22 9/29 10/12 10/13 10/27 11/10 11/15 11/22 12/10 12/15 12/19 12/22 1/26 2/2 3/11					1
防火管理者研修	6/23~6/24					1
強度行動障害支援者基礎研修	8/19 8/23					2
強度行動障害支援者実践研修	10/25~10/26					2
次世代リーダー研修	11/7 12/12					2
相談支援研修	11/11 12/12 12/20					1
DWA T研修	11/22 2/7					1
強度行動障害支援者基礎研修	12/2 12/7					2
社会福祉士実習指導者研修	2/21 2/22					1

5-3 実習受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
5/20~6/3	東京福祉専門学校	保育士	1
8/8~9/16	成田国際福祉専門学校	介護福祉士	2
9/5~9/23	淑徳大学	社会福祉士	2
10/3~11/4	城西国際大学	社会福祉士	1
11/7~11/29	大原医療保育福祉専門学校千葉校	介護福祉士	2
2/6~3/17	目白大学	保育士	2
2/7~2/22	千葉敬愛短期大学	保育士	1
2/13~3/15	大原医療保育福祉専門学校千葉校	介護福祉士	2
3/15~3/30	専門学校新国際福祉カレッジ	社会福祉主事	3

6 行事実施状況

月	行事内容
4月	歓迎会(26)
5月	とつぜん音楽会(22)
8月	とつぜん音楽会(21)
10月	日中活動食事会(26)
11月	運動会(27)
12月	とつぜん音楽会(4) クリスマス会(25)
1月	新年会(8)
2月	とつぜん音楽会(26)
3月	日中活動食事会(12) 送別会(24)

概況

「利用者の想いを傾聴しサービスの深化につなげよう！」をスローガンとし進めてきた。コロナ禍における運営も3年を迎え、感染症対策と並行し様々な制約のある中、施設内での生活を楽しんでいただけるよう食事会や行事、ミニイベント等企画した。新型コロナウイルス感染症については、10/2に利用者1名の感染が確認され、瞬く間に感染拡大した。最終的には66名（短期入所含む利用者54名、職員12名）が感染し11/5に終息を迎えた。ほぼ全員の感染と1カ月に及ぶ行動自粛で生活リズムや脚力の低下等危惧されたが、幸い重症化された方もなく皆さん無事快復した。他事業所からの応援職員の協力等連携が図られ乗り切ることができた。

○本年度数値目標（稼働率目標⇒実績）

- ・施設入所；98% ⇒99.8% ・生活介護；103% ⇒101.9% ・短期入所；80% ⇒ 60.4%
- ・入所定員56名⇒現員56名（入所1名）

○入退所調整制度の確立

- ・年度当初に入所が満床となり、以後入退所の点においては安定した一年だった。受け入れ可能な医療的ケアの範囲や窓口施設としての機能も踏まえ、企画室相談員と連携。相談・見学対応、特別支援学校での説明会参加等行った。

○地域ニーズに即した利用促進

- ・大規模修繕工事や感染症対応にともない短期入所利用を制限せざるを得ない状況はあったが可能な限りリピーターおよび新規利用の相談・受入れを実施。年度後半、継続的な利用かつ将来的な入所待機を希望される方3名の受け入れにつながった。

○自ら考え、行動できる職員の育成

- ・内部にて視覚障害者支援向上に関する研修(2回)、自閉症スペクトラム障害に関する研修、虐待防止伝達研修実施。外部主催のWEB研修へも積極的に参加した。
- ・繁雑になりがちな物品・環境整備を縦断的に行う新たな係として「MONOHITO」を創設。企画調整から実行へと積極的に進め、大規模修繕時の環境調整、感染対策物品の集中管理、他係と連携しめいわ内の物品整理等行った。結果、在庫管理および業務の効率化にもつながった。

○利用者の喜び・楽しみを増やす

- ・WEB面談；新たな希望は増えず特定のご家族について定期的実施。地域での感染状況、法人ガイドラインに応じ適宜ご家族に案内し、少ない時間ではあるが面会を行っていただいた。行事報告等文書の送付により施設からの情報発信を実施。
- ・食事会・行事等；利用者の希望を伺い月1回食事会実施。その他、活動班やフロアごとにお楽しみ会やミニイベント等様々企画した。11月に実施したおひさま祭では感染対策に留意し各フロア食堂と職員室をPCで中継し、モニター・放送を駆使して実施した。新たな試みだったが皆さん楽しそうに参加された。
- ・日常生活や個別支援計画作成面談、満足度調査等における利用者からの傾聴を実施。また、職員会議でのケース紹介、アセスメントシートの新書式作成等行い、利用者理解を深めよりよいサービスにつながるよう努めた。

○災害時の事業継続

- ・コンサルタントより新業務(事業)継続計画を受け取り説明が行われた(5月)。当年度も施設において防災訓練および災害伝言ダイヤル訓練を実施。情報発信・伝達ツールとしてマチコミアプリを活用。7月には佐倉警察署署員に講師を依頼し防犯対策訓練開催。

○ICT導入による業務の効率化

- ・法人委員会にて、記録ソフトの有効活用を検討・実施。

【その他】○第三者委員による懇談会 2/24 利用者5名との面談

(施設長 片野 明美)

2022（令和4）年度 事業報告書
根郷通所センター

概況

今年度は「利用者の『楽しみ』『やりがい』を尊重し、ハリのある生活となるよう支援する」をスローガンとし、業務に取り組んできた。新型コロナウイルスが蔓延して三年が経った。その間、ボランティアの受入れや行動の制限を余儀なくされたが作業を中心に充実した日々の提供に努めてきた。その成果として根郷通所センターの自主生産品が“酒々井パーキングエリア内の販売”にまで漕ぎつけたことは、今後の根郷通所センターの活動の柱となる大きな取り組みのひとつであった。自主生産品については“一般販売で通用する商品づくり”をポリシーに試行錯誤を重ね商品づくりから納品に至るまで全ての過程で利用者が携わる体制を整えた。振り返れば9月末に店舗をオープンして以来、三百を超える商品が消費者の手に渡り利用者共々活気のある忙しい毎日であった。根郷通所センターでは作業活動の充実と同時に余暇支援にも力を入れてきた。“仕事の忙しさを実感し余暇を楽しむということは人生を豊かにする大切なひと時”となる。“忙しさを労うお楽しみ会”や“ミニ菜園で収穫した調理”などを実施し土曜の開所日には様々な余暇活動を提供している。その状況はLINEにてご家族にも発信し好評の声をいただいている。商品の売行きも好調であるため、次年度は“その稼ぎ”でお楽しみ会を盛大に開催することができれば最高であろう。

○本年度数値目標

- ・生活介護：目標 113% ⇒ 実績 110%

○稼働率の月次報告を実施し現場職員の意識向上を図る

- ・利用者が他事業所への異動・退所したことにより稼働率は大幅に低下している。今後の状況如何によっては新規の利用者確保に努める必要があるため、稼働率の動向を注視すると共に職員の意識を高めておく必要がある。

○満足度調査の再実施と利用者（ご家族）へのフィードバックおよび改善

- ・調査内容は下記の7項目、“職員の基本姿勢”“個別支援計画”“連絡手段”“環境”“コロナ対策”“作業内容”“レクリエーション活動”で実施した。昨年度に比べ回収率は向上し自由記述欄の記入も大幅に増えた。特に自由記述欄については、我々が想像すらしない部分（『忙しくそうで声を掛け難い』『作業の様子（内容）を詳しく知りたい』など）への指摘があり、改めて日頃のサービスについて振り返る良い機会となった。また、現場が主導となって調査項目を設定したこともあり職員の意識は高く、根郷通所センターの在り方について全体で考える良い機会にもなっている。

○個別性の高い支援技術の構築（ロールモデルの確立）

- ・利用者支援が特定の支援員の見立てや一方的なものにならぬよう、データに基づいた体制づくりを行ってきた。しかし基本となる記録取りの確立まで至らず、ロールモデルの確立までには程遠い状況であった。現場においてデータに基づいた支援経験が浅いという側面もあるため支援技術の構築には時間が掛かるものと思われる。

○ウェブ等を活用し様々な状況下でも個別面談を実施できる体制を作り個別支援計画を作成する

- ・無料通信アプリLINEを活用しウェブ面談での体制を整えたが、面談とコロナの規制緩和の時期が重なったこともあり希望者は殆どいない状態であった。それに対し対面での面談を希望するご家族は多く、初めての個別面談となった方もいたようである。今後も、風通しの良い事業運営を心掛けると共に話し易い関係づくりに努めて参りたい。

○災害時の事業継続

- ・新事業継続計画書の受取りには至らず、従来の消防計画に基づき年3回の非常訓練を実施。防災委員を中心に不審者に対する防衛策の検討および対応策の周知を実施。

○ICT導入による業務の効率化

- ・委員会を中心に記録ソフトの有効活用方法の引継ぎを実施。

【その他】

○第三者委員による懇談会

- ・利用者、ご家族ともに参加を募るが集まらず実施せず。

（所長：菊地 暁生）

1 施設利用状況 (2022.4.1~2023.3.31)

1-1 利用状況

①めいわ

【定員56名】

	施設利用者			1日平均		空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	20440	20440	20400	55.9	99.8	40	0	40	0	1	0

②根郷通所センター

【定員24名】

	通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	6456	8989	7111	24.0	110	0	6

1-2 入・退所状況

①めいわ

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	1			1				
退所者数と退所事由	0							

②根郷通所センター

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	0		0					
退所者数と退所事由	6				6		2	

1-3 短期入所(ショートステイ)利用状況

①めいわ

【定員4名】

	利用者			
	定員	総数	1日平均	稼働率
年間	1460	882	2.4	60.4

1-4 地域生活支援事業(日中一時支援事業)利用状況

①めいわ

	利用者	
	総数	1日平均
年間	106	0.3

②根郷通所センター

	利用者	
	総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

① めいわ

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
銚子市	1	1	緑区	1		練馬区		3
市川市	1		若葉区	1	1	台東区		1
松戸市	1					江東区	1	
香取市	1					渋谷区		1
茂原市			計	2	1	世田谷区	1	2
成田市	1	1	合計	3		足立区		1
佐倉市	5	4	【新潟県】			目黒区		1
匝瑳市	1					八王子市	1	
酒々井町			魚沼市		1	小金井市	1	
柏市	3	1				青梅市	1	
君津市		1				狛江市		1
我孫子市	1		計		1	西東京市		2
船橋市	2	1	合計	1				
大多喜町	1							
長生村		1						
八街市	1							
習志野市		1						
四街道市		4	計					
流山市		1	合計					
計	19	16						
合計	35							
						計	5	12
						合計	17	

②根郷通所センター

出身地	男	女	計			
佐倉市	8	4	12			
四街道市	8	10	18			
習志野市	1	0	1			
千葉市	3	1	4	男	女	合計
成田市	0	1	1	20	16	36

2 利用者の状況（R3年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は2022.4.1現在）

① めいわ

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	70～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	56	0	2	1	6	27	15	5	56	87	24
%	100	0	3.6	1.8	10.7	48.2	26.8	8.9			
男	26	0	1	1	5	12	6	1	52	75	27
女	30	0	1	0	1	15	9	4	58	87	24

②根郷通所センター

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	36	1	16	11	7	1	31	50	20
%	100	2.8	44.4	30.6	19.4	2.8			
男	20	0	7	7	6	0	33	49	21
女	16	1	9	4	1	1	30	50	18

2-2 障害区分

① めいわ

	総数	1	2	3	4	5	6	重度障害者 支援加算
総数	59	0	0	0	3	14	42	22
%	100	0	0	0	5.1	23.7	71.2	37.3
男	27	0	0	0	1	7	19	12
女	32	0	0	0	2	7	23	10

② 根郷通所センター

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	36	0	0	2	11	12	11
%	100	0	0	5.6	30.6	33.2	30.6
男	20	0	0	1	8	7	4
女	16	0	0	1	3	5	7

2-3 身体障害者手帳による障害程度

① めいわ

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	56	31	5	1	2	1		16
%	100	55.4	8.9	1.8	3.6	1.8		28.6
男	26	18	3	0	0	0		5
女	30	13	2	1	2	1		12

② 根郷通所センター

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	36	13	0	2	2	0	1	27
%	100	28.9	0	4.4	4.4	0	2.2	60
男	20	5	0	2	1	0	1	15
女	16	8	0	0	1	0	0	12

2-4 療育手帳による障害程度

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	56	7	25	6	6	12
%	100	12.5	44.6	10.7	10.7	21.4
男	26	4	10	1	2	9
女	30	3	15	5	4	3

② 根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	36	20	17	5	2	1
%	100	44.4	37.8	11.1	4.4	2.2
男	20	10	10	3	0	1
女	16	10	7	2	2	0

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

① めいわ

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	56	23	15	38	18
%	100	41.1	26.8	67.9	32.1
男	26	14	7	21	5
女	30	9	8	17	13

② 根郷通所センター

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	36	9	5	14	31
%	100	20	11.1	31.1	68.8
男	20	5	2	7	17
女	16	4	3	7	14

3-2 知的障害

① めいわ

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	56	11	30	8	6	55	1
%	100	19.6	53.6	14.3	10.7	98.3	1.8
男	26	7	14	2	2	25	1
女	30	4	16	6	4	30	0

②根郷通所センター

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	36	20	17	5	2	43	1
%	100	44.4	37.8	11.1	4.4	95.6	2.2
男	20	10	10	3	0	23	1
女	16	10	7	2	2	21	0

3-3 障害の状況（総括）

① めいわ

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	56	38	9	3	1	1	55	1	2
%	100	67.9	16.1	5.4	1.8	1.8	98.2	1.8	3.6
男	26	21	3	0	1	0	25	1	1
女	30	17	6	3	0	1	30	0	1

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

② 根郷通所センター

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	36	14	6	0	0	3	44	5	21
%	100	31.1	13.3	0	0	6.7	97.8	11.1	46.7
男	20	7	3	0	0	2	23	3	11
女	16	7	3	0	0	1	21	2	10

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

めいわ

総数	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メイキング	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助 %	3 5.4	3 5.4	4 7.1	3 5.4	29 51.8	3 5.4	4 7.1
常時多面で介助 %	11 19.6	9 16.1	30 53.6	8 14.3	17 30.4	11 19.6	41 73.2
時々部分的に介助 %	32 57.1	33 58.9	21 37.5	28 50.0	5 8.9	32 57.1	6 10.7
点検・配慮程度 %	10 17.9	11 19.6	1 1.8	17 30.4	5 8.9	9 16.1	4 7.1
自立 %	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 1.8	1 1.8

3-5 コミュニケーションの状況

めいわ

	言語(会話)	意思表示	一般文字	点字	盲人用ワープロ
不可 %	16 28.6	7 12.5	44 78.6	55 98.2	56 100
一部で可能 %	10 17.9	19 33.9	7 12.5	0 0	0 0
だいたい可能 %	30 53.6	30 53.6	5 8.9	1 1.8	0 0
支障なし %	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0

4 援助サービスの実施状況

① めいわ

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	当年度7月より施設ごとに活動を運営することになり、午前・午後共に各作業班に分かれて活動を行なった。利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。
農耕班	生ごみ投入や袋詰めなどの堆肥生産。地域の方と交流するユニバーサル農業での野菜配達を行なった。当年度はおひさま農場をはちす苑裏の敷地に移転した。活動拠点が近くなったことで活動時間を長く確保できるようになったが、水道・電気等の整備のほか、雑草の処理など土地の整備に追われ、年度後半ようやく本格的な堆肥生産を再開した。
手工芸班	さをり織りと洗濯たたみを行った。さをり織りについては新たな販売先としてネット販売を開始した。
創作班	当年度新設班と統合。地域新聞の折込み・ポスティング、アルミ缶等資源回収作業など積極的に地域に出ていく活動を行なった。薪割りへのチャレンジと牛乳パックをリサイクルして、の紙漉き、販売用品を作成。年賀状を作成しご家族に向け送付した。
受注作業班	マグネット組み立て、銀のさらやおしぼりの封入作業。年度後半、新規にフルーツキャップ作成を開始した。
いろどり班	高齢者を対象とし、特浴、運動機能訓練、散歩のほか、レクリエーションとしてカラオケや季節ごとの装飾品の作成、ちょっぴりメイクなど行った。
余暇活動	
音楽	利用者自由参加；カラオケ、のど自慢大会等
太鼓	利用者めいわ 5 名 月1回の太鼓練習（参観は自由）、主にめいわ内行事で演奏。 9月に3年ぶりに地域の行事に参加することができた。
その他	※ 新型コロナウイルス感染防止のため活動は中止。委員会として感謝の手紙を送った。 ・茶道・傾聴・音楽ボランティア等 夏季・年末年始等活動休み期間 ・紅白歌合戦、スポーツレク、獅子舞、映画観賞会、風呂開放（自由入浴）等
あおばの会	利用者自治会活動（1回/月） 総会（役員選出、行事の利用者代表者、朝の放送等の係り決め）

②根郷通所センター

項 目	援助サービスの実施状況
日中活動 (月～金)	午前・午後共に各作業班に分かれて活動を実施。 利用者本人の希望を聞き取り、所属の活動を決定している。
木工班	スウェーデントーチ、一輪挿しの制作を実施。 酒々井パーキングエリアへの出店及び販売を実施。 近隣のキャンプ場と提携し商品の販売を実施。 佐倉市のふるさとの納税の商品として出品。 佐倉市内の間伐材の再生利用を実施。
陶芸班	多肉植物を植える器の作成。 酒々井パーキングエリアへの出店及び販売を実施。
受注作業班	宅配寿司のセット組、パンフレットの封入、地域新聞のポスティング作業を実施。
余暇活動	
ウォーキング	日中活動終了後に外周路を中心にウォーキングを実施。
菜園	事業所前の小さな菜園で作物を育て収穫し調理などを実施。
土曜登所日	調理・ものづくり・音楽などを実施。
各種行事	歓送迎会、お花見、お楽しみ会などを実施。

5 運営管理

5-1 職員状況

① めいわ

	2022.4.1 現員数	2022.4.1～2023.3.31				2023.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	41(6)	3(2)	3(0)	6(0)	3(0)	40(8)
施設長	1		1	1		1
支援課長	1					1
主任	2					2
生活支援員	37(6)	3(2)	4(2)	5(2)	3	36(8)
クリーンスタッフ						
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(兼)					1(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

② 根郷通所センター

	2022.4.1 現員数	2022.4.1～2023.3.31				2023.3.31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	19(9)		3	2		19(9)
施設長	1					1
所長	1					1
生活支援員	15(6)		3	2		15(6)
クリーンスタッフ	3(3)					3(3)
機能訓練指導員	1(兼)					1(兼)
看護師	1(1)(兼)					2(2)(兼)
栄養士	1(兼)					1(兼)

★育休・休暇中職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、休職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び異動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

★網掛は兼務のためカウントしない

5-2 職員研修の状況

① めいわ

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
7/13	感染症対策訓練	2	11/7	次世代リーダー研修	4
7/20	介護マイスター研修	2	11/14	権利擁護研修	4
7/21	メンター研修	2	12/8	接遇研修	3
7/26	佐倉警察による防犯研修		12/12	次世代リーダー研修	4
8/30	面談研修	3	1/11	感染症対策訓練	2
9/16	大規模災害対策研修	3			
施設外					
6/10	東社協研修（新任職員向け研修）（zoom）	2	10/26	東社協学習会「看取りを学び、考える」	2
6/29	東社協研修（精神薬学習会）	2	11/25	全国盲重複障害者福祉施設研究大会	2
7/7	知的協会新任職員研修	1	1/17	メンタルヘルス研修	1
8/3	カスタマーハラスメント研修	1	1/31	権利擁護研修	2
9/2	東社協研修（三年目職員研修）	3	2/10	東社協研修（新任職員向け研修フォローアップ研修）	2
9/7	管理者研修	1	3/11	強度行動障害者研修	2
9/28	障害支援区分認定調査員研修	1			
複数研修					
研修内容		月 日		参加人数	
千葉県 TEACCH プログラムセミナー		9/11, 10/8, 12/4		2	
サービス管理責任者実践研修		6/8, 6/27, 8/5		2	
甲種防火管理新規講習		8/18, 19		2	
千葉県強度行動障害者支援者養成研修 基礎研修		8/19, 23		2	
千葉県強度行動障害者支援者養成研修 実践研修		9/25, 26		1	
千葉県強度行動障害者支援者養成研修 基礎研修		12/2, 7		2	
社会福祉士実習指導者講習会		1/7, 21		1	
障害者支援施設部会全国大会大阪大会		1/26, 27		2	
精神保健福祉士実習指導者講習会		2/2, 3		1	

② 根郷通所センター

施設内		
月 日	研修名	人数
7/20	介護マイスター研修	1
施設外		
7/7	強度行動障害支援研修 (zoom)	4
9/29		
2/17	サービス管理責任者更新研修	1
3/11	強度行動障害のある方の支援者に対する研修実践報告会	2
複数研修		
研修内容	月 日	参加人数
-	-	-

5-3 実習受け入れ状況

①めいわ

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
5/25~7/1	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	2
8/1~8/19	淑徳大学	社会福祉士	2
8/17~9/16	江戸川学園おおたかの森専門学校	社会福祉士	1
11/7~12/6	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	2
1/30~2/8	東京福祉専門学校	介護福祉士	1
2/14~2/28	千葉明德短期大学	保育士	1
2/27~3/17	目白大学	保育士	2
3/15~3/22	専門学校新国際福祉カレッジ	社会福祉士	1
3/23~3/30	専門学校新国際福祉カレッジ	社会福祉士	2

②根郷通所センター

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
6/6~6/9	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
6/13~6/16	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
6/13~6/15	二葉看護学院	看護師	1
6/16~6/20	二葉看護学院	看護師	1
6/20~6/23	中央介護福祉専門学校	保育士	1
6/20~6/24	成田国際福祉専門学校	社会福祉士	1
8/1~8/19	千葉女子専門学校	保育士	1
8/8~8/18	専門学校新国際福祉カレッジ	介護福祉士	2
8/25~9/9	聖徳大学	保育士	2
9/5~9/21	聖徳大学	保育士	1
11/12~11/25	千葉敬愛短期大学	保育士	1
12/5~12/18	千葉敬愛短期大学	保育士	2
2/7~17・3/14~16	千葉敬愛短期大学	介護福祉士	1
2/7~17・3/6~8	千葉敬愛短期大学	保育士	1
2/7~17・3/9~13	千葉敬愛短期大学	保育士	1
1/19~2/2	千葉明德短期大学	保育士	2
3/6~3/22	千葉明德短期大学	保育士	2

6 行事実施状況

① めいわ

月	行事内容
7月	歓迎会(26)
8月	納涼祭(26)
9月	敬老会(19)
11月	おひさま祭(23)
12月	忘年会(28)
1月	新年会(14)
3月	送別会(25)

① 根郷通所センター

月	行事内容
4月	お花見
12月	忘年会
3月	やよい会
随時：お楽しみ会	

2022（令和4）年度 事業報告書

障害者支援施設

リホープ

概況

「他職種共働による支援の向上」をスローガンとして、業務に取り組んできた。前年度に専門職との協力体制に苦慮していたための目標であった。しかし、当年度はリホープでの意識改革のために、専門職の意見を否定するのではなく、受け止めて支援に生かすための話し合いをフロア会議・職員会議等で実施した。そのため嚙下・リハビリ・高齢者対応等での支援の向上に繋がったと思われる。

○本年度数値目標

- ・稼働率 施設入所：98%→95.7% 短期入所：80%→86.0% 生活介護：101%→98.3%
- ・入所満床確保 50床→49床

○入退所・生活介護利用調整制度の確立

- ・入所窓口施設の決定に関しては、今まで通り企画室の相談員を窓口とし、該当施設と思われる施設との話し合いを行い、スピーディーに入所に繋げることにした。また、重度等の把握のためのリスト作成し、医療的ケアの必要な利用者のリスト作成も実施できた。高齢利用者のほちす苑デイサービス利用の実施、入所に繋げることもできた。生活介護の地域利用者の受入に関しても順調に進んでいる。

○収支改善

- ・3月1日に短期入所利用者が1名入所となり満床となったが、3月7日と8日にそれぞれ1名ずつ高齢者施設へ移行したため、入所は2名欠員となっている。生活介護稼働率については入所者の入院、高齢者施設への移行により目標を達成出来なかった。短期入所については目標稼働率を達成し、収支改善に貢献している。ロングショート利用者の確保については、将来的な入所希望の利用者が1月26日から継続的な利用を開始し、3月1日に入所となっている。

○職員のスキルアップ

- ・自立支援プロジェクト・高齢支援プロジェクト会議の場で、生活支援・介護技術向上や利用者の意思決定支援への更なる理解のための話し合いや訓練の実施を定期的に行った。また、介護技術や精神障害に関する研修について、介護技術を11回と精神障害を6回実施した。

○リハビリ・自立訓練可能な体制の構築

- ・自立訓練プログラムが完成し、日中活動の時間にリハビリや自立訓練を計画的に実施している。専門職との連携については、ST（言語聴覚士）の導入による嚙下機能の評価・食形態の見直しを必要に応じて実施している。

○災害時の事業継続

- ・1月27日に新事業継続計画に基づく訓練を実施した。委託した専門業者の立会いの下実施することができ、実施後に評価が行われた。

○ICT導入による業務の効率化

- ・法人委員会にて、記録ソフトの有効活用を検討・実施。

（施設長 中川 光男）

1 施設利用状況（2022.4.1～2023.3.31）

1-1 利用状況

【定員50名】

	延べ年間施設利用者			1日平均		延べ年間空所				異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働数	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
年間	18250	17843	17460	47.8	95.7	788	456	277	55	2	3

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者数と入所前状況	2			2				
退所者数と退所事由	3				3			

1-3 短期入所（ショートステイ）利用状況 【定員2名】

	利用者			
	延べ定員	延べ総数	1日平均	稼働率
年間	730	628	1.8	86.0

1-4 地域生活支援事業（日中一時支援事業）利用状況

	利用者	
	延べ総数	1日平均
年間	0	0

1-5 出身地別利用状況

【千葉県】	男	女	【千葉市】	男	女	【東京都】	男	女
市川市	3		稲毛区		2	板橋区志村		1
市原市	2		中央区	1		板橋区		1
柏市		1	若葉区	2		足立区	1	
香取市	1		美浜区		1	練馬区石神井	1	
鴨川市	1		緑区	1		練馬区大泉	2	
袖ヶ浦市		1	計	4	3	大田区	1	
館山市	1		合計	7		江戸川区	2	
東金市		1	【埼玉県】			葛飾区		1
流山市	1		春日部市	1	1	計	7	3
野田市	1		白岡町	1		合計	10	
旭市	1							
船橋市	2					【茨城県】		
茂原市	1		計	2	1	鹿嶋市	1	
八街市		1	合計	3				
八千代市	1							
佐倉市	2	4	【神奈川県】			計	1	
長南町		1	大和市	1		合計	1	

成田市	1				
四街道	2				
計	20	9		計	1
合計	29			合計	1

2 利用者の状況（2022年度中在所した全利用者）

2-1 年齢構成（年齢は2022.4.1現在）

	総数	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	51	1	4	3	3	11	14	11	4	57.8	89	18
%	100	1.9	7.8	5.9	5.9	21.6	27.5	21.6	7.8			
男	35	1	4	2	2	6	8	8	4	56.3	89	18
女	16			1	1	5	6	3		61.2	78	36

2-2 障害程度区分

	総数	1	2	3	4	5	6
総数	51	0	0	2	18	18	13
%	100	0	0	3.9	35.3	35.3	25.5
男	35	0	0	1	13	11	10
女	16	0	0	1	5	7	3

2-3 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	51	39	6	0	0	0	0	6
%	100	76.4	11.8	0	0	0	0	11.8
男	35	29	4	0	0	0	0	2
女	16	10	2	0	0	0	0	4

2-4 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	51	0	8	3	7	33
%	100	0	15.7	5.9	13.7	64.7
男	35	0	5	2	5	23
女	16	0	3	1	2	10

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	51	14	6	4	23	16	2	2
%	100	27.5	11.8	7.8	45.1	31.4	3.9	3.9
男	35	8	4	3	17	11	1	2
女	16	6	2	1	6	5	1	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	51	21	30
%	100	41.2	58.8
男	35	14	21
女	16	7	9

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	51	30	12	42	9
%	100	58.8	23.5	82.4	17.6
男	35	21	10	31	4
女	16	9	2	11	5

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	51	0	8	3	22	33	18
%	100	0	15.7	5.9	43.1	64.7	35.3
男	35	0	5	2	14	21	14
女	16	0	3	1	8	12	4

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	51	42	8	5	0	2	33	13	10
%	100	82.4	15.7	9.8	0	3.9	64.7	25.5	19.6
男	35	31	5	4	0	1	21	9	7
女	16	11	3	1	0	1	12	4	3

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

3-4 日常生活動作（ADL）介護の状況

	排泄	食事	入浴	着脱衣	ベッド メイク	移動 (内)	移動 (外)
常時全面で介助	13	1	14	0	22	7	35
%	25.5	2.0	27.5	0	43.1	13.7	68.6
常時多面で多介助	6	1	4	4	8	3	8
%	11.8	2.0	7.8	7.8	15.7	5.9	15.7
時々部分的に介助	8	4	10	10	13	6	4
%	15.7	7.8	19.6	19.6	25.5	11.8	7.8
点検・配慮程度	5	38	8	17	5	10	3
%	9.8	74.5	15.7	33.4	9.8	19.6	5.9

自立 %	19 37.2	7 13.7	15 29.4	20 39.2	3 5.9	25 49.0	1 2.0
---------	------------	-----------	------------	------------	----------	------------	----------

3-5 コミュニケーションの状況

	言語（会話）	意思表示	一般文字	点字	盲人用 ワープロ
不可 %	0 0	0 0	40 78.5	33 64.7	43 84.3
一部で可能 %	6 11.8	6 11.8	4 7.8	4 7.8	8 15.7
だいたい可能 %	0 0	0 0	3 5.9	0 0	0 0
支障なし %	45 88.2	45 88.2	4 7.8	14 27.5	0 0

4 援助サービスの実施状況

区 分	援助サービスの実施状況
住居・食事 日用品等の提供	施設内の大きな改修などは行わなかったが、換気扇やトイレなど経年劣化による修繕、買い替えを余儀なくされた。感染症により外出機会が減ってしまったことを受け、施設行事として駅弁を食べたり、外出の代わりに個別にお弁当を頼んだりして食を楽しんだ。
各種専門的訓練 及び 日中活動	<p>【受 注】 おしぼりの袋詰め、マグネット組立、消しゴム袋詰め、サンプル商品の袋詰め、フルーツキャップの折りたたみ、紙スプーンの袋詰め、ピックの箱詰め、点字名刺、紙袋の袋詰めを行った。 (利用者 18名参加)</p> <p>【園 芸】 花苗の栽培と販売を行った。物井駅ロータリー、ヤックス前、南図書館の花壇整備に加え、3月オープンの新しい佐倉図書館の花壇整備も行った。 (利用者 8名参加)</p> <p>【いろいろ】 高齢者や視覚障害者を対象とし、運動機能訓練、歩行訓練、レクリエーション、散歩などを行った。 (利用者 12名参加)</p> <p>【手 工 芸】 さをり織り、さき織り、フェルト人形作りを行っている。 (利用者 8名参加)</p>
ケアマネジメント	個別支援計画を毎月の高齢支援プロジェクト、自立支援プロジェクト、フロア会議で進捗状況や課題を共有し、利用者支援を行った。ケース検討にも力を入れ、利用者の今の困りごとだけに目を向けるのではなく、これまでの生活歴などを振り返り、全体的に捉えながら支援のアイデアを出しあった。脳卒中、転倒などにより車いす生活を余儀なくされたり、腎機能の低下により透析が必要になるなど生活が大きく変化した利用者が数名いた。3名が高齢者施設へ移行している。
保健・医療	癌の摘出手術や脳卒中、転倒による骨折、心不全など入院する利用者が多く、生活の変化も大きかった。高齢期の認知機能の低下もあり、これまで

	一人でできていたことを職員に介助してもらおうということが納得できなかったり、忘れてしまったりするため、コールやセンサーを活用して危険回避の方法を模索した。集団での入浴が難しい利用者が増加し、特浴の時間を設け対応している。10月に利用者2名、2月に利用者1名が新型コロナウイルスに感染した。感染者、濃厚接触者を居室に隔離し、感染が広がることなく対応できた。
余暇活動	定例のバリアフリー映画、余暇行事は継続して行った。ボランティアの受け入れも可能になり、毎週のマラソン練習や毎月の草笛クラブも復活。マラソン大会にも参加できた。エレクトーンクラブはオレンジカフェでの演奏、山王小学校での福祉学習での演奏など久しぶりに外部の方に演奏を聴いてもらう機会を得た。個別外出も可能な限り実施した。
自治会活動	今年度より新会長になり、役員も若い利用者が中心となり活動を行った。生活介護に地域の方を受け入れた為、自治会主催の夏を楽しもう会、もみの木会、弥生会は平日に行った。感染症対策に気を配り、エレクトーンクラブの演奏やクイズなどで盛り上がった。

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2022. 4. 1 現員数	2022. 4. 1～2023. 3. 31				2023. 3. 31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	34 (7)	6 (2)	4	3	7 (4)	33 (6)
施設長	1					1
課長	1					1
主任	2					2
生活支援員	25 (5)	5 (2)	4	3	5 (2)	25 (5)
清掃	1 (1)				1 (1)	1 (1)
機能訓練士	1 (兼)					1 (兼)
看護師	1 (1)	1			1 (1)	1
栄養士	1 (兼)					1 (兼)

★育休・休暇中職員は現員から除く

★雇用形態変更・育休、退職の入出は、異動入・出にてカウントする

★年度末日退職者及び移動出職員は年度末日現員に含む

★年度当初採用者及び異動入職員は年度当初現員に含む

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数()内に表示

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
7/21	新年度メンター研修	2	1/11	感染症等訓練	3
8/30	面談研修	3	11/24	ホスピタリティマナー研修	3

10/28	田中 桂子先生のケース検討会	16	1/18	4年目職員対象交流会	3
11/14	法人権利擁護研修	1	2/15	メンティ交流会	4
施設外					
7/21	介護事例検討会	1	2/3 2/10	盲ろう者福祉ワーカー研修会	1
4/14	事例で学ぶ 個人情報 <small>の落とし穴</small> ①	1	5/31	障がい者との関係構築	1
4/14	事例で学ぶ 個人情報 <small>の落とし穴</small> ②	1	5/31	障がい者の家族との信頼関係構築	1
4/14	個人情報保護法の理解	1	5/31	自閉症スペクトラム障がいの理解①	1
4/21	事例で学ぶ 個人情報 <small>の落とし穴</small> ③	1	5/31	自閉症スペクトラム障がいの理解②	1
4/21	自分でできるストレス解放	1	5/31	自閉症スペクトラム障がいの理解③	1
4/21	セルフマネジメント	1	5/31 6/17	ケース記録の書き方	1
4/25	身体自立へ今すぐ行う取り組み	1	5/31 6/17 7/15	保護者との連絡ノートの書き方	3
5/2	大規模災害時①状況を知る。	1	6/2	陽性症状の支援①認知行動療法	1
5/2	大規模災害時②災害に対応出来る施設に必要な事	1	6/2・ 6/8	からだところの老い	1
5/2	大規模災害時③災害時の障害者支援のデザイン	1	6/3	聞こえの仕組み	1
5/2	大規模災害時④福祉避難所を考える。	1	6/3	知的・発達障がい者の健康に関する状況～予防的支援	1
5/2.8/10	身体的自立の4要素の(水分、栄養編)	1	6/3	リスクマネジメントとは	1
5/2・8/10	身体的自立の4要素の(運動、便通編)	1	6/3	リスクマネジメントの仕組みづくり	1
5/6	親亡き後を見据えた支援	1	6/8	認知症と知的障害高齢者	1
5/6	行動療法的アプローチ	1	6/17	モニタリングの書き方	1
5/30	意思伝達が困難な利用者への自己決定、意思決定へのアセスメント	1	6/17	ヒヤリハットの書き方	1
5/30	知的障害者の健康管理 一次予防、二次予防	1	6/27	支援者のマナー	1
5/30	陽性症状の支援②当事者主体の支援方法	1	7/15	中堅職員の期待と役割	1
5/30 6/10	幻覚、幻聴、妄想に対する基本的対応	1	7/16	相談支援事業とは	1

5/30 6/10	統合失調症とは	1	8/8	福祉施設の風水害対策	1
5/31	精神障害者における支援の 基本ポイント	1	9/20	アセスメントとは	1
5/31	障害者総合支援法と障害者 支援区分	1	9/20	個別支援計画の重要性	1
8/31	個人とそれを取り巻く世界全 体のアセスメント	1	10/12 10/25 11/9 2/17	千葉県サービス管理者及び児 童発達支援管理責任者更新研 修	4
8/31	自己決定、意思決定支援のア セスメント	1	11/20 11/27 12/4 12/11	介護福祉士実習指導者講習会	1
8/31	アセスメントのツボと課題	1	11/25	全国盲重複障害者福祉施設研 究大会	1
8/31	ニーズの把握の困難な利用	1	1/17	事例で学ぶ メンタルヘルス不 調に伴う休職・復職等の労働ト ラブルの実態と対処法	1
9/2	高齢知的障がい者の支援	1	1/24	社会福祉士実習指導者講習会	1
9/2	中堅職員研修「利用者支援の 視点」	1	1/26 1/27	第 10 回障害者支援施設部会全 国近畿地区大阪大会	2
9/13~15	視覚障害リハビリテーショ ン基礎講習会 (23 回)				
複数研修					
研修内容			月 日		参加人数
介護マイスター研修			7/20		5
面談研修			8/30		3

5-3 実習受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実習対象資格等	人 数
5/9~5/14	NHK学園	社会福祉士	1
6/13~6/16	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	2
6/20~6/23	中央介護福祉専門学校	介護福祉士	1
6/27~7/27	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
8/1~8/19	淑徳大学	社会福祉士	1
8/1~8/7 前半	淑徳大学	社会福祉士	1
8/18~31 後半			
8/29~9/30	和洋女子大学	社会福祉士	1
9/5~9/23	淑徳大学	社会福祉士	2

10/3~11/4	城西国際大学	社会福祉士	2
10/4~11/3	城西国際大学	社会福祉士	1
11/21~12/8	成田国際福祉専門学校 成	介護福祉士	1
11/29~12/8	田国際福祉専門学校 成田	介護福祉士	1
2/13~3/7	国際福祉専門学校 東京福	介護福祉士	2
1/30~2/8 前半	祉専門学校	介護福祉士	1
3/20~3/23 後半			
2/6~3/17	東京通信大学	社会福祉士	1
3/15~3/22	専門学校新東京国際カレッジ	介護福祉士	1

6 行事实施状況

月	行 事 内 容
4 月	お花見をしよう (4)
6 月	「店はラジオで調べました。」(12) 故郷の雰囲気と美味しいご飯と買い物を楽しもう。(18) スイカ割りを楽しもう (19) 視覚障害者支援チャリティー講演 2022 (25) 外出
7 月	園芸班じゃがバターを食べよう (1) 映画を観よう (3) 久々の買い物を楽しもう (9) お祭りの写真を渡したいです。(10) ラベンダー畑を見に行こう (11) (12) (14) ユーカリーが丘イオンで買い物 (10) 美味しいものを食べよう (12) 手工芸班食事会 (13) 念願の幕張イオンへお買い物 (17) 散策クラブ夏の会 (17) 美味しい物を食べて気分転換しよう (21) あーあー夏だぜチューブだぜ。(24)
8 月	暑い日が続く中で行なっている作業の労を労う (18) 夏を楽しもう会 2022 (22)
9 月	敬老の日お互い労おう (16) 月見まつり (25)
10 月	第 2 回散策クラブ (16) 行楽の秋 駅弁の秋 (23) (24)
11 月	行楽日和イトーヨーカドーに行こう (5) ららぽーと東京ベイでお買い物 (6) お蕎麦屋さんとトライアル (13) 推しのグッズを購入しよう (13) 受注班食事会 (16) コメダ珈琲の大きなサンドイッチを食べよう。(19) 普段出来ない体験をしよう (20) 千葉盲学校の卒業生が行くニッケルトンプラザ (23) やっと行けるぞアニメイト (23) 昔懐かし駄菓子を食べて童心に返ろう～駄菓子カフェ店開店～ (27) グループホームの見学に行こう (27)
12 月	久々の買い物を楽しもう (3) ～来年も良い 1 年でありますように～ (4) 映画を見に行こう (4) 3 人でハンバーグを食べに行こう (10) 久しぶりの墓参り (11) 「外食・買い物を楽しもう」(11) 久しぶりの外出がいしょくと買い物を楽しもう～アリオ蘇我編 (18) もみの木会 (22)
1 月	お正月を楽しもう (1) (3) カラオケを楽しもう (7) カツカレーを食べに行こう (8) 久しぶりの外出で食事と買い物を楽しもう (8) 「新年の外食・買い物を楽しもう」(8) 祝入所 1 周年思い出の地でお祝いをしよう (9) かつやで食事とお買い物 (10) 久々の個別外出 (9) 食事外出 (13) 実家の近くで食事と買い物 (14) ポップコーン作り (16) 食事外出 (19) 好物のお寿司を食べに行こう (22) 飛行機の音を直接感じよう (22) 開運新年の買い物に出かけよう (29)
2 月	お誕生日おめでとう (14) 佐倉市図書館に新しい花壇を作る為にお弁当を食べて英気を養う。(16) 1 年間お疲れ様来年も頑張ろう会 (16) 食事外出 (18) お寿司が食べたい (18) 美味しい物を食べ、欲しい物を買おう。(19) 外食・買い物を楽しもう。(23) ブランクに負けずに走り切ろう (マラソンクラブ) (26)

3月	マラソンクラブお疲れ様会 (4) エレクトーンクラブ (6) プロ野球オープン戦 (ロッテ VS ヤクルト) (5) たくさんの猫と触れあって癒されよう。(12) 嶋田さんに会いに行こう (19) めん丸四街道インター店 (21) やよい会 (23) 埼玉の老人ホーム見学 (26)
毎月	カラオケクラブ、エレクトーンクラブ

グループホーム
山王の家

概況

「地域の中で、自分らしい生活を」をスローガンとして業務に取り組んできた。感染対策を施したうえで、近隣のコンビニエンスストアで嗜好品を買ったり、スーパーで日用品を購入したりと利用者各自が思い思いに日常生活を送っている。週末は実家へ帰省する利用者も多いが、美容院や床屋へ出かけたり、外食へ出掛ける利用者もいる。また、家族との通院以外に地域の歯医者や皮膚科等の病院を受診したりと、「地域の中で、自分らしい生活を」送ることができている。

引き続きコロナ禍のため、外出の際はマスクの着用を徹底し、毎週末帰省している利用者、就労・通所している利用者については、交通機関の使用があるため、帰宅時の消毒を徹底しておこなってきた。

感染症対策については、平日の午前中に利用者が出掛けた後、世話人が全共有スペースの消毒を最優先におこなっている。

○数値目標（稼働率）

目標 95% ⇒ 実績 94%

○入居待機者の確保

今年度の入所についての問い合わせは2件あった。2件共に即日入居希望であったため、いずれも待機者として該当とならず、入居希望者のリストアップに繋がらなかった。現在、満床により入居募集をおこなっていないため、入居の問い合わせがないと思われる。

○利用者の不満を無くす

365日、職員が交代で常駐し、利用者の希望に沿った楽しみ方を提供し、理美容や買い物、通院等の外出には同行もおこなっており、利用者からの不満の声は上がっていない。また、利用者へ提供している朝食について、冷凍品を温めて提供する形のものから職員が調理して提供する形のものへ変更をおこなった。

○利用者間のトラブル回避

毎月適宜、利用者聞き取りをする時間を設け、お互いにトラブル等がないか確認してきた。利用者間のトラブルは起きておらず、お互いに協力して生活を送っている。

○地域で普通に暮らすことができる

新型コロナウイルス感染症に伴う影響で、山王夏祭り等の地域の行事が昨年度同様に全て中止となったが、特別な支障を来たことなく日常生活を送ることができた。

（管理者 高梨和憲）

1 利用状況（2022. 4. 1～2023. 3. 31）

1-1 利用状況

【定員 10 名】

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	3,650	3,650	3,431	9.4	94.0	0	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	6	1	7
四街道市	1	1	2
柏市		1	1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2022. 4. 1 現在）

	総数	18～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	10	0	1	3	6	41	58	23
%	100	0	10	30	60			
男	7	0	0	1	6	46	58	34
女	3	0	1	2	0	31	38	23

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	10	1	0	0	9
%	100	10	0	0	90
男	7	1	0	0	6
女	3	0	0	0	3

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	10	4	4	1	1	0
%	100	40	40	10	10	0
男	7	4	1	1	1	0
女	3	0	3	0	0	0

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	10	0	0	0	0	0	0	10
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	7	0	0	0	0	0	0	7
女	3	0	0	0	0	0	0	3

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	10	0	0	1	8	0	0	1
%	100	0	0	10	80	0	0	10
男	7	0	0	1	5	0	0	1
女	3	0	0	0	3	0	0	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	10	3	7
%	100	30	70
男	7	3	4
女	3	0	3

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	10	0	0	0	10
%	100	0	0	0	100
男	7	0	0	0	7
女	3	0	0	0	3

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	非該当
総数	10	4	4	1	1	0
%	100	40	40	10	10	0
男	7	4	1	1	1	0
女	3	0	3	0	0	0

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	10	0	0	0	0	0	10	1	0	0
%	100	0	0	0	0	0	100	10	0	0
男	7	0	0	0	0	0	7	1	0	0
女	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

食事提供	業務用献立配達システムを利用し利用者と一緒に調理を行っている。
体調管理	健康状態の把握。薬の管理。突発の際の通院付き添い。

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2022. 4. 1 現員数	2022. 4. 1～2023. 3. 31				2023. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総数	7 (6)			1		7 (6)
管理者	1					1
サービス管理責任者	1 兼					1 兼
生活支援員	16 兼			9 兼		7 兼
世話人	6 (6)					6 (6)

☆数字は総数で表示し、うちパート職員の数は（ ）内に表示。

☆網掛けは、職員数にカウントしない。

☆生活支援員(宿直等)については、バックアップ施設(めいわ通所部)兼務

5-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
施設外					
複数研修					
研修内容			月 日		参加人数

5-3 行事实施状況 (2022. 4. 1~2023. 3. 31)

月	行 事 内 容
6/24	避難訓練
3/30	避難訓練

IV. 佐倉圏域事業部

概況

当年度のスローガンは「仲間の良いところを見つけ 褒め合い 高め合っていこう」であった。

中期経営計画

(1) 数値目標

- ・稼働目標：85% ⇒ 実績 82.4%
- ・工賃目標：平均工賃月額「1万円以上1万5千円未満」の維持 ⇒ 月額 16,350円

(2) 戦略目標

○佐倉圏域における拠点構想イメージの具現化促進

12月に基幹相談であるアシストによる相談会（家族向け）をよもぎの園で実施。5組の家族が参加され、家族の高齢化による今後の不安等に関する相談を中心に受け、ショートステイ利用やグループホーム体験の話題にも繋がった。

圏域でのグループホーム整備について実績会議内で議題として挙げ検討を進めている。アンケートも実施してニーズ調査もおこなった。

○稼働率90%を目指した対象利用者層の拡大

当年度末の登録者数は42名（目標値は40名）だが、介護サービスに移行中の利用者や精神疾患等の影響で利用が止まっている方もおり、1日の利用者数は35名前後に留まっている。

次年度も卒業生1名の新規利用が決まっているため90%に届く体制構築は着実に進んでいる。生活介護寄りの実習生についての受け入れを実施していることが継続した新規利用者獲得に繋がっていると思われる。

○平均工賃月額「月1万5千円以上2万円未満」を目指す。

当年度の平均工賃月額は¥16,350。目標としていた「1万円以上1万5千円未満」のランクを超える結果となった。取引業者は10社にものぼり、仕事の種類も多岐に渡っている。納期の対応や仕事の振り分けなどを円滑におこなってくれた成果である。

○地区社協、町内会の方々と交流を続ける

年度当初から地区社協の福祉委員に加入して活動に参加した。当年度は「研修事業部」に所属し地区歓談会の運営に携わることで地域の皆様との交流の機会を設けた。

また年度途中に発足した防災について協議する会（組織名：あんしん内郷）にも参加をし、広報誌を2回発行した。

○コロナ感染に対する不安の緩和、解消を図る

マスク着用、手洗い、消毒の遂行を継続し、コロナワクチン接種4回目と5回目をよもぎの園で実施した。コロナ不安で通所を控えていた利用者も利用を再開され、コロナ禍が続く中でも1日も閉所することなく開所できたことに家族からも感謝の言葉をいただいている。

○施設内環境の整備

佐倉市への修繕依頼については予算化には至っていない。指定管理で動きの制約はあるが、利用者に実害、不利益が生じることがないように根気強く対応を進めていきたい。

○高齢事業所との連携

高齢事業所を併用利用されていた方は、病気療養を経て介護サービス中心での利用に移行した。他にも高齢の利用者が数名在籍しているため、今後必要になった際にスムーズに円滑に動ける体制作り構築を意識して取り組みたい。

○災害時の事業継続

新しい事業継続計画書を受け取り、全職員対象に内容説明を受け周知をおこなった。

(所長 戸室 輝大)

1 施設利用状況

1-1 利用状況

(2022. 4. 1～2023. 3. 31)

【定員 40 名】

	延べ年間通所利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	10640	11240	8769	33.0	82.4	4	2

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	4		1					3
退所者と退所事由	2	0	0	0	0	0	1	1

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	27	15	42
印西市	1		1

2 利用者の状況

2-1 年齢構成 (2022. 4. 1 現在)

	総数	19～	20～	30～	40～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	42	2	4	8	28	43.4	70	18
%	100	4.7	9.5	19.0	66.6			
男	28	2	3	7	16	41.7	69	18
女	14	0	1	1	12	46.9	70	23

2-2 療育手帳による障害程度

(2022. 4. 1 現在)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	42	8	2	18	6	4
%	100	19.0	4.7	42.8	14.2	9.5
男	28	5	2	10	5	2
女	14	3	0	8	1	2

2-3 身体障害者手帳による障害程度

(2022. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	42	2	1	0	0	0	0	39
%	100	4.7	2.3	0	0	0	0	92.8
男	28	1	0	0	0	0	0	27
女	14	1	1	0	0	0	0	12

2-4 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

(2022. 4. 1 現在)

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	42	1	1	0	40
%	100	2.3	2.3	0	95.2
男	28	0	1	0	27
女	14	1	0	0	13

2-5 就学状況（最終学歴）

(2022. 4. 1 現在)

	総数	普通学 校義務	特別支 援義務	普通高 等学校	特別支援 高等部	千葉盲	その他	不就学
総数	42	6	1	6	24	2	3	0
%	100	14.2	2.3	14.2	57.1	4.7	7.1	0
男	28	3	1	3	18	2	0	0
女	14	3	0	2	6	0	3	0

2-6 就労経験

(2022. 4. 1 現在)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	42	16	26
%	100	38.0	61.9
男	28	10	18
女	14	6	8

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

(2022. 4. 1 現在)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	42	1	1	0	40
%	100	2.3	2.3	0	95.2
男	28	1	1	0	26
女	14	0	0	0	14

3-2 障害の状況（総括）

(2022. 4. 1 現在)

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複
総数	42	2	3	0	0	0	39	4	0
%	100	4.7	7.1	0	0	0	92.8	9.5	0
男	28	2	1	0	0	0	26	2	0
女	14	0	2	0	0	0	13	2	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

<p style="text-align: center;">作 業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○タオル縫製 （汚れ拭き上げ用品） <ul style="list-style-type: none"> ・使用済みのバスタオルを二枚の拭き上げ用タオルに作り替える作業 ○ウエス作製 <ul style="list-style-type: none"> ・洋服やシーツなどを指定された大きさにカットする作業 ○腰壁材梱包 （家の壁紙の分かれ目を隠すもの） <ul style="list-style-type: none"> ・木目調の部材を短冊段ボールで梱包し型番のシールを貼る作業 ○枠のフィルム剥がし （CD、DVDラベルを印刷した原版） <ul style="list-style-type: none"> ・シルク印刷の原版清掃する作業 ○足場インサート （建築物の基礎に埋め込む資材） <ul style="list-style-type: none"> ・金属ネジにプラスチックの素材を入れ込みナットを機械で締めこむ作業 ○パネル洗浄 <ul style="list-style-type: none"> ・建築現場で使用する養生パネルの洗浄作業 ○検査キット封入 （健康診断で使用する検尿容器） <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断で使用する尿器のシール貼り及び封入する作業 ○商品作成、封入、梱包、出荷作業 <ul style="list-style-type: none"> ・商品の組立て等、商品・用紙の封入、梱包、出荷（バーコード貼付） ○自主生産活動（ミシン作業、マスク付属品作成） <ul style="list-style-type: none"> ・布マスク作成、マスクストラップ作成、小物家具等作成 ○ヘッドホン結束 （ヘッドホンリサイクル） <ul style="list-style-type: none"> ・国際線航空機のヘッドホン清掃、結束する作業
<p style="text-align: center;">自治会 活動</p>	<p>「利用者による利用者のための自治会」をキャッチフレーズに発足 会長…1名 副会長…1名 書記…1名</p> <ul style="list-style-type: none"> ○給与規定について <ul style="list-style-type: none"> ・給与規定の内容確認および承認 ○期末ボーナスについて <ul style="list-style-type: none"> ・ボーナスの支給方法および承認 ○環境整備について <ul style="list-style-type: none"> ・掃除分担の作成 ○行事計画について <ul style="list-style-type: none"> ・行事計画の内容確認および承認 ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者間の決まり事の確認および周知の場

送 迎	○4 経路運行 ①よもぎの園～ユーカリが丘～染井野方面～よもぎの園 ②よもぎの園～法人本部～よもぎの園 ③よもぎの園～大蛇方面～よもぎの園 ④よもぎの園～京成佐倉～よもぎの園 ○利用者からの直接利用料の徴収はなし
宅配弁当の 仲介	○昼食サービスの要望を受け、宅配弁当の仲介を実施（希望者のみ） ・出勤時に現金を徴収して、職員が宅配弁当業者に注文

5 運営管理

5-1 職員状況

職 名	2022. 4. 1 現員数	2022. 4. 1～2023. 3. 31				2023. 3. 31 現員数
		採用	異動 入	異動 出	退職	
総 数	14 (9)					14 (9)
管理者	1					1
主任 (サービス管理責任者)	1					1
生活支援員	7 (7)	4			5	6 (6)
作業指導員	2					2
目標達成指導員	1					1
運転手	2 (2)					2 (2)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月 日	研修名	人数	月 日	研修名	人数
5/28	愛光実践発表会	2	11/7・12/12	次世代リーダー研修	1
6/1	財務研修	2	11/8	インボイス制度研修	2
9/7	労務管理研修	2	1/11	感染症対策研修	1
施設外					
11/24	令和4年度障害者虐待防止・ 権利擁護研修	1			
11/9 2/10 2/22 2/24	令和4年度千葉県相談支援従 事者現任研修 (講義1日、演習3日)	1			
※職員会議を利用し、サポーターズカレッジの動画研修を定期的実施した。					

5-3 行事实施状況

月 日	行 事 内 容
4/25	春陽会
5/31	食事会
7/14	暑気払い
10/25	食事会
11/18	おやつ会
11/23	おやつ会
12/29	忘年会
1/31	新年会
2/20	食事会
3/20	会食会
備 考	

2022（令和4）年度 事業報告書
ワークショップかぶらぎ
フレックスワークコース／ライフステップコース
（就労継続支援B型） （自立訓練（生活訓練））

概況

当年度のスローガンは「地域で『働く』・『生活^{いきる}する』を支える」であった。

中期経営計画

(1) 数値目標

【稼働率】

フレックスワークコース（就労継続支援B型）目標稼働率 100%達成⇒実績 3月 102.1%

ライフステップコース（自立訓練（生活訓練））目標稼働率 平均稼働 90%⇒実績 平均 92.4%

(2) 戦略目標

○収益の増加

4月に定員をB型14名→18名に変更したため報酬単価が変更になっている。波はありつつも稼働はできており、次年度に稼働を安定させながら令和6年度に定員増を目指したい。昨年度から今年度にかけて相談支援事業所や医療機関にパンフレットの配布や挨拶回りをした効果が現れ、新規利用希望の問い合わせが継続している。生活訓練の新規獲得が安定できれば、そのなかで一定数はB型の利用に移行する方がいるため、稼働の安定が見込める。

○職員配置の適正化

法人の定めた人員配置にて運営した。

○職員の対応力向上

高次脳機能障害や就労系、精神障害の特性に関わる内容等で研修に職員を派遣（オンライン含む）。配置して年数の少ない職員には、基礎となる内容を受講してもらっている。また職員会議にて動画を活用した短時間の研修も実施した。

総合相談センターとの合同事例検討会については、スーパーバイザーとの調整がつかず実施できていない。次年度についてはスーパーバイザーから快諾を受けているので、実施予定である。

○作業売り上げの増加

はちす苑内の清掃を継続し、今年度は週2回実施している。求人には清掃が多く、利用者の今後に繋がるためにも、取り組みを継続していきたい。シフトで業務に入ることが難しい段階の利用者には、入口となるスタートクリーンという週1回1時間の清掃を提案し、数名が取り組んでいる。

佐倉市社会福祉協議会、佐倉市あったか食堂ネットワークと当事業所との三者で協議を重ねた「あったかパントリー」が正式受託になった。パントリーの作業を通して障害の理解、地域との関わりを自然な形で進めることができると感じている。

○新規利用者確保、利用者満足度向上

新規プログラムとして健康に関わる講座を3回講座（健康、栄養、運動）として、佐倉市健康管理センターの協力で実施。毎回10名程度の参加者があった。今回の実施を振り返り、利用者から継続の必要性があがったため、次年度に新規プログラムとして検討することになった。

○地域とのつながり作り

城の辺地区社会福祉協議会の買い物支援への車両貸し出しについては、定期的に貸し出しを行った。当初別事業所が協力していたが中止しており、その事業所から実施状況についての問い合わせとアドバイスをし、再開に協力することができた。

○災害時の事業継続

新しい事業継続計画書を受け取り、全職員対象に内容説明を受け周知をおこなった。

（所長 近藤 美貴）

1 施設利用状況 (2022. 4. 1～2023. 3. 31)

1-1 利用状況

① 就労継続支援B型

【定員18名】

	延べ年間通所(訪問)利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	4896	331	4432	16.3	90.5%	7	6

② 自立訓練(生活訓練)

【定員6名】

	延べ年間通所(訪問)利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1632	228	1502	5.5	92.0%	18	13

1-2 入・退所状況

① 就労継続支援B型

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	7	0	0	7	0	0	0	0
退所者と退所事由	6	1	0	1	4	0	0	0

② 自立訓練(生活訓練)

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状	18	0	0	14	4	0	0	0
退所者と退所事由	13	2	0	0	10	1	1	0

1-3 出身地別利用状況

① 就労継続支援B型

出身地	男	女	計			
佐倉市	15	14	29			
四街道市	0	0	0			
富里市	0	0	0			
酒々井町	2	1	3			
成田市	0	3	3	男	女	合計
八街市	0	0	0	17	18	35

② 自立訓練(生活訓練)

出身地	男	女	合計
佐倉市	12	17	29
四街道市	1	0	1
富里市	1	0	1

印西市	0	0	0
八街市	0	0	0
酒々井市	0	0	0

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2022. 4. 1 現在）

①就労継続支援B型

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	35	0	1	9	11	10	4	46.4	71	29
%	100	0	2.8	25.7	31.4	28.5	11.4			
男	17	0	1	2	6	5	3	48.2	71	29
女	18	0	0	7	5	5	1	44.6	62	30

②自立訓練（生活訓練）

	総数	～19	20～	30～	40～	50～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	29	1	3	9	11	6	41.1	61	19
%	100	3.4	10.3	31.0	37.9	20.6			
男	14	0	3	2	6	3	42.0	61	24
女	15	1	0	6	5	3	40.2	54	19

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

①就労継続支援B型

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	35	4	14	1	16
%	100	11.4	40.0	2.8	45.7
男	17	1	7	1	8
女	18	3	7	0	8

②自立訓練（生活訓練）

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	29	4	13	6	6
%	100	13.7	44.8	20.6	20.6
男	14	3	4	2	5
女	15	1	9	4	1

2-3 就労経験

①就労継続支援B型

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	35	29	6
%	100	82.8	17.1
男	17	14	3
女	18	15	3

②自立訓練(生活訓練)

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	29	23	6
%	100	65.7	20.6
男	14	10	4
女	15	13	2

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

①就労継続支援B型

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	35	0	0	0	35
%	100	0	0	0	100
男	17	0	0	0	17
女	18	0	0	0	18

②自立訓練(生活訓練)

	総数	盲	弱視	小計	晴眼
総数	29	0	0	0	29
%	100	0	0	0	100
男	14	0	0	0	14
女	15	0	0	0	15

3-2 知的障害

①就労継続支援B型

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	35	0	0	0	2	2	33
%	100	0	0	0	5.7	5.7	94.2
男	17	0	0	0	1	1	16
女	18	0	0	0	1	1	17

②自立訓練(生活訓練)

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	29	0	0	0	2	2	27
%	100	0	0	0	6.8	6.8	93.1
男	14	0	0	0	2	2	12
女	15	0	0	0	0	0	15

4 援助サービスの実施状況

<p>作業</p>	<p>○ミーティング（全体ミーティング月2回、部門ミーティング月1回）</p> <p>○セットアップ部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビニールシート折り ・印刷物の丁合、封入 ・切手計数、貼付け ・中古本の検品 <p>○クリーン&メンテナンス部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内清掃 ・施設外就労 ・スタートクリーン <p>○総務部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納品請求書の発行 ・フェイスブック管理 <p>○プリント部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名刺作成 ・封筒作成 ・各種シール作成 ・各種チケット作成 ・イベントのぼり作成 <p>○カフェ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パントリー業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ネジボルトの組み立て、計数 ・紙製箱等の検品、組み入れ ・枕カバー検品、セット ・値札剥がし、書き込み確認 ・館内環境の美化、整備 ・高齢者施設の清掃 ・清掃業務の入門 ・時給換算表の入力 ・共同受注サイトチェック ・ポスターチラシ作成 ・イベントプログラム作成 ・冊子、報告書、議案書の作成 ・イベント横断幕作成 ・食材管理、受け渡し
<p>プログラム</p>	<p>○疾病管理とりかばりー【IMR】（月2回）</p> <p>○ライフステップミーティング（月1回）</p> <p>○茶話会（月2回）</p> <p>○ピアネットワークプログラム【PNP】（随時開催）</p> <p>○調理会（月1回）</p> <p>○パソコン</p> <p>○ビジネスマナー</p>
<p>カフェ活動</p>	<p>○ミーティング（月2回）</p> <p>○飲食メニューの提供、考案</p> <p>○カフェ環境整備、月末事務</p>
<p>送迎</p>	<p>○「JR佐倉駅、京成佐倉駅、京成酒々井駅、和田方面」、「京成志津駅、京成臼井駅」の2路線で送迎。</p> <p>○時間帯は朝と夕方のほか昼の時間帯に要望があった時に運行する「デマンド便」を実施。</p>

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2022. 4. 1			2022. 4. 2～2023. 3. 30				2023. 3. 31		
	継続	異動 入	採用	退職	異動 出	異動 入	採用	退職	異動 出	継続
総数	7 (1)	1				1 (1)	1 (1)	1		8 (3)
管理者	1 兼									1 兼
主任	1	1								1
生活支援員	3							1		2
職業指導員	1 (1)					1 (1)	1 (1)			3 (3)
目標工賃達成指導員	1									1

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
2/4	障害者虐待はなぜ起こるのか	6	/		
施設外					
6/5	さくらあったか食堂ネットワーク研修会	1	6/29	千葉県中小企業同友会例会	1
7/26	印旛圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業研修会（オンライン）	2	9/28	千葉県障害支援区分認定調査員研修	1
9/28	千葉県精神障害者地域活動支援事業所協議会研修	1	10/8	インボイス研修	1
10/19	千葉県精神障害者地域活動支援事業所協議会研修	1	10/19～20	社会福祉士実習指導者研修	1
12/2、12、20	千葉県相談支援従事者現任研修	1	1/10	千葉県精神障害者地域活動支援事業所協議会研修	1
1/11	これからの感染症予防・対策・実施について	1	1/21	高次脳機能障害者の就労支援について	2
1/23	サービス管理責任者更新研修	1	1/25	千葉県子ども食堂ネットワーク会議	1

5-3 実習受け入れ状況

期 間	養成機関名	実習対象資格等	人数
4/18~28	大原医療秘書福祉保育専門学校	社会福祉士	1
6/13~15、16~20	二葉看護学院	看護師	2
6/27~7/15	日本社会事業大学通信教育科	精神保健福祉士	1
7/17~8/6	江戸川学園おおたかの森専門学校	社会福祉士	1
10/4~10	城西国際大学	社会福祉士	1
10/11~31	順天堂大学	精神保健福祉士	1
12/1~12	聖徳大学通信教育部	社会福祉士	1
2/7~22	敬愛短期大学	保育士	1

5-4 行事実施状況 (2022. 4. 1~2023. 3. 31)

月 日	行 事 内 容
5月5日	皐月会
8月12日	納涼会
9月16日	避難訓練
12月28日	納会
2月3日	第三者委員相談会、節分会
2月16日	避難訓練
3月31日	慰労会

概況

当年度のスローガンは「利用者の変化に気づき、生活を共に考える」であった。

中期経営計画**(1) 数値目標**

稼働率 目標 100%⇒実績 98.6%

(2) 戦略目標**○事業の展開**

「職員体制の構築」について、必要な支援や時間帯についての精査を行い、昨年1月からワークショップかぶらぎの職員が支援に入る体制を継続。利用者との関係構築ができ、気づきから改善点を見出している。世話人向けの研修については、動画を活用し、障害特性について学ぶ機会を設けた。

「事業展開に向けた計画策定検討会」については、よもぎの園とワークショップかぶらぎの利用者を対象としたニーズ調査を実施した。グループホームを希望する方はよもぎの園に多くいることがわかり、希望者リストを作成した。

「地域の社会資源としての202号室の活用」について、昨年度末から家族の病気により、ワークショップかぶらぎの利用者が利用した。この経験をもとに一人暮らしに移行している。

○高齢化に対応できる職員育成

「教育体制の確立 正職員の世話人会議への参加」については、ワークショップかぶらぎの職員が1名参加した。他の職員も参加できるように次年度は調整したい。

「学習機会の創出 研修参加、勉強会」については、回数は少ないが実施できた。動画を活用し、自閉症について等の研修を実施した。実際の利用者の行動に当てはめ説明をすることで、わかりやすく伝わったように感じる。外部研修については、日程が折り合わず参加できていない。

○つなぎ先の確保

「情報交換体制の確立」については、今年度からは法人の共生型連携委員会に参加し主催せずアシストが行った共生型連携連絡会に参加した。

「日中活動の場との連携」については、昨年から引き続き通所先であるよもぎの園、あらた佐倉（就労継続支援A型事業所）と情報交換を行ったことと、就労先である通所介護事業所とも新たに情報交換をすることができた。

○災害時の事業継続

コンサルタント立ち合いのもと避難訓練を実施した。

（所長 近藤 美貴）

1 利用状況（2022. 4. 1～2023. 3. 31）

1-1 利用状況

【定員4名】

	延べ年間利用者			1日平均		異動	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	入所	退所
年間	1460	1460	1439	3.9	97.5	0	0

1-2 入・退所状況

	総数	就労	学校	在宅	施設等	入院	死去	その他
入所者と入所前状況	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者と退所事由	0	0	0	0	0	0	0	0

1-3 出身地別利用状況

出身地	男	女	合計
佐倉市	2	2	4

2 利用者の状況

2-1 年齢構成（2022. 4. 1現在）

	総数	30～	40～	50～	60～	平均年齢	最高齢	最年少
総数	4	0	1	2	1	52.0	64	43
%	100	0	25.0	50.0	25.0			
男	2	0	0	1	1	58.5	64	53
女	2	0	1	1	0	47.5	52	43

2-2 精神障害者保健福祉手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	不所持
総数	4	0	1	0	3
%	100	0	25.0	0	75.0
男	2	0	0	0	2
女	2	0	1	0	1

2-3 療育手帳による障害程度

	総数	最重度	重度	中度	軽度	不所持
総数	4	0	0	1	1	2
%	100	0	0	25.0	25.0	50.0
男	2	0	0	0	1	1
女	2	0	0	1	0	1

2-4 身体障害者手帳による障害程度

	総数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	不所持
総数	4	0	0	0	0	0	0	4
%	100	0	0	0	0	0	0	100
男	2	0	0	0	0	0	0	2
女	2	0	0	0	0	0	0	2

2-5 就学状況（最終学歴）

	総数	普通学校 義務	特別支援 義務	普通高等 学校	特別支援 高等部	千葉盲 (再掲)	その他	不就学
総数	4	1	0	2	0	0	1	0
%	100	25.0	0	50.0	0	0	25.0	0
男	2	0	0	2	0	0	0	0
女	2	1	0	0	0	0	1	0

2-6 就労経験

	総数	就労経験あり	就労経験なし
総数	4	3	1
%	100	75.0	25.0
男	2	2	0
女	2	1	1

3 利用者の障害の状況

3-1 視覚障害

	総数	全盲	弱視	小計	晴眼
総数	4	0	0	0	4
%	100	0	0	0	100.0
男	2	0	0	0	2
女	2	0	0	0	2

3-2 知的障害

	総数	最重度	重度	中度	軽度	小計	非該当
総数	4	0	0	1	1	2	2
%	100	0	0	25.0	25.0	50.0	50.0
男	2	0	0	0	1	0	1
女	2	0	0	1	0	1	1

3-3 障害の状況（総括）

	総数	視覚	肢体	聴覚	音声言語	内部	知的	精神	重複	その他
総数	4	0	0	0	0	0	2	2	0	0
%	100	0	0	0	0	0	50.0	50.0	0	0
男	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0
女	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0

★重複障害は視覚・聴覚・音声言語・精神・知的の5障害のうち3以上に該当するもの。

4 援助サービスの実施状況

食事提供	朝・夕の食事を提供。業務用献立配達システムにより、栄養管理された献立に基づいて世話人が調理し食事を提供。 誕生日などはその利用者の希望するメニューに変更し提供。
体調管理	健康状態の把握、緊急時の通院、不調時の静養や通院の促しを行う。

5 運営管理

5-1 職員状況

職名	2022.4.1 現員数			2022.4.2~2023.3.30				2023.3.31 現員数		
	継続	異動入	採用	退職	異動入	異動出	採用	退職	異動出	継続
総数	4(2)									4(2)
管理者	1兼									1兼
サービス管理 責任者	1兼									1兼
世話人	2(2)						1(1)			3(3)

★数字は総数で表示し、うちパート職員の数（ ）内に表示。

5-2 職員研修の状況

施設内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
6/14	権利擁護研修	3	1/12	自閉症について	3
10/20	自閉症スペクトラム障害について	3			
施設外					
6/23 11/10	佐倉市グループホーム等事業所連絡会	1	6/28	印旛圏域グループホーム連絡協議会・総会	1

5-3 行事実施状況（2022. 4. 1～2023. 3. 31）

月	行事内容
4月17日	調理会
6月5日	調理会
8月28日	調理会
9月21日	自衛消防訓練
11月6日	調理会
12月25日	クリスマス会
2月3日	第三者委員懇談会
2月17日	自衛消防訓練
3月11日	調理会
誕生日祝	入居者誕生日毎に実施（食事会）

V. 高齡者福祉事業部

概況

当年度のスローガンは、『地域で「らしく、楽しく、末永く」』であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で内向きの対応で手いっぱい的一年であった。

新型コロナウイルス感染症発生から約3年、感染症予防対策に力を入れてきたが、令和4年8月 特養とショートステイでクラスターが発生しあっという間に広がった。障害者支援施設から元はちす苑職員をヘルプで派遣してもらえたことで、何とか凌ぐことができた。また、デイサービスにおいても、ほぼ同時期にクラスターとなり、こちらも対応に追われた。特養・ショートステイ入居者においては、入院が難しい状況から、特別認可された薬を重症化しやすい方を中心に早めに処方することで、新型コロナウイルスが原因となる死者を出さずに、この苦難を乗り切ることができた。

その後も12月と1月に、特養とデイサービスで陽性者が発生したが、感染者数は最小限に抑えることができた。経験を重ねることで、ゾーニングやレッドゾーンエリアの準備など感染対応がスムーズにできるようになったことは大きい。ショートステイやデイサービスにおいては、クラスター発生による自主休業や利用控えにより、稼働に大きく影響したこと以外に、陽性となった利用者（独居世帯）への支援が課題となった。

新型コロナウイルスクラスターの関係で、特養・ショートステイ・デイサービスの稼働低下、経年劣化による修繕費が予定金額を超え、水道光熱費の値上がりやクラスター時の衛生物品購入などで支出が多く発生した。しかし、10月・11月・3月においては、月収入が4,000万円を超えており、感染症などが発生していない状況であれば、このような数値を出せる土台ができていることを証明できたことは、今後の運営において好材料となっている。

収入面では補助金を除いても、近年において高い数値を結果として残すことができた。一時的に稼働が下がっても、翌月には数値がほぼ元に戻っており、これは、家族や地域からの評価と信頼関係が築けていることが大きく、20年以上培ってきたはちす苑の努力の成果が出ていると思われる。

【数値目標】 参考 当年度の介護保険（障害含）収入 466,034,771円（昨年度 439,619,894円）

	目 標 値		実 績 値	
特養 ショートステイ	稼働率 98%	} 合算 97%	96.8%	} 合算 96.9%
	95%		平均介護度 4.0	
	月平均 収入	2,650万円		2,784万円
配食サービス	月平均収入	23万円		26万円
	食数換算	233食		263食
デイサービス	稼働率	78.0%		79.8%
	1日平均利用者数	27.0人		27.9人
	月平均 収入	680万		680万円
ホームヘルプ	月平均契約者数	60件		59.5件
	月平均 収入	160万円	(訪問型月平均7万円)	161万円
ケアプラン	月平均実績件数 (予防プラン含む)	190件		143.3件
	月平均 収入	250万円		230万円

●全体

○生産性向上による業務改善

委員会や会議など、回数や時間の見直しを行い、効率化が図れる事務関連業務などを中心に見直しを行った。発注についても、常勤職員が行っていたことをパート職員が行うことで、夜勤明けの残業などが削減できた。介護記録ソフトもITに強い職員を中心に、どうすれば入力作業などが削減できるか工夫をしており、タブレットの活用を視野に入れつつ「使いこなすこと」に、さらに力を入れたい。

●特別養護老ホーム 短期入所生活介護（介護予防） 共生型短期入所

○安定した経営基盤の構築

入院日数が703日となっており、前年度（504日）よりかなり増えている。長期入院者や持病による入院もあるが、誤嚥性肺炎・尿路感染症の入院が多くなっており、要因を分析しなければならない。平均介護度は4.1となっており、令和3年度より0.2上がっている。LIFEについては、褥瘡マネジメント加算ⅠとⅡ・科学的介護推進体制加算Ⅰ（40単位）、令和5年1月よりⅡ（50単位）を算定した。

8月よりケアマネジャーが5名体制となり、特養入居者退所後の長期ショートステイへの受入が、以前よりもスムーズに行えるようになってきているため、新型コロナウイルスのクラスターの影響があったにもかかわらず、合算稼働率は目標値に近い96.9%となっている。

○労働時間の改善

残業については、月の目標時間100時間以下と設定した。クラスターが発生した以外の月は、ほぼ達成できているが、職員の急な欠勤が続いた時は、目標を上回ることもあった。夜勤者の休憩時間確保の残業については、各街で工夫することで予定している残業時間を下回っていた。

○計画的な人材育成

運営基準に応じた研修以外に、看取りケア・褥瘡・口腔ケアなど、可能な限りオンラインではなく対面での研修を実施した。数字力・マネジメント力強化に関しては、機能別採算制度導入により、経費への意識は強化されつつある。排泄ケアにおいては、コンチネンス委員が、トイレ誘導に力を入れるだけでなく、適正にパットやおむつを使用しているかチェックし、発注方法を変えるなどの工夫をすることで、令和4年10月時点で、昨年度と比べて介護用品費（おむつ）を約189万円削減している。

○サービスの質の向上 理念の継承

はちす苑8つの誓い・基本ケアルールブックの実行と浸透については、まだ不十分であるので委員を中心に強化を図っていく。特に、生きがい支援（生活への楽しみ 役割支援）への取り組みへの強化は必須である。

風の街が中心となり「にやりほっと」の取り組みに昨年度から力を入れている。入居者（利用者）とのかかわりで「クスッと」笑えるようなエピソード、さりげない一言で職員がうれしく思ったことを記録するようにしている。風の街会議では、毎月そのエピソードをまとめたものを記録として配布。職員のモチベーションアップや入居者支援において、良い効果をもたらしている。また、介護技術向上委員会が「言い換え」と「褒め合い」のアンケートを実施した。トランスファーなどを研究する委員会と思われるが、コミュニケーションも大きな技法のひとつなので、このような取り組みも活動の一環としている。活表現方法を変えるだけで「ストレスが減った 前向きになれる 関係が良くなった」という声があったとのこと。褒め合いは「職員の素敵な部分（対応）」を集計、この項目が最も記載が多かったとのこと。次年度もこの取り組みを継続し、お互いの成長につなげてしてほしい。

入居者・利用者に対しての余暇・レクリエーションなどについては、オンライン音楽療法、手作りのおやつや軽食作り、出前注文、納涼祭・入居者忘年会などのイベントもできる範囲で工夫して行った。面会についても、予約制・面会時間15分・平日のみ（看取りの方の面会については制限なし）という条件付きであったが、クラスターなど特別な状況でなければ、こちらも可能な限り実施した。

当年度の看取りケアは、7名実施した。特にクラスター発生時、看取り対象の方がコロナ陽性となった時は、「どうなることか」と職員複雑な心境であったが、療養期間を乗り越え、3週間後に老衰でお亡くなりになられ、いつもの形でお別れ会を行うことができた。

●通所介護・通所介護相当サービス・共生型生活介護

○安定した経営基盤の構築

職員一丸となって「送迎の範囲内であれば断らない」ことを徹底し、休まれた方の振替利用などを積極的に行った結果、目標稼働率に近い数値となっている。

○人材育成 営業力強化

業務改善は、勤務表や役割分担表を精査し適正に業務分担をすることと、日々の工夫で、時間外労働は大幅に削減できている。TwitterなどのSNSは話題があれば都度発信し、広報誌も定期的に発行している。

職員の収支や数字への意識は、機能別採算制度を活用することでさらに強くなっており、特に経費への意識も強くなっている。

○高齢者・共生型サービスの共存と展開、サービスの質の向上

オンラインを活用した無料レクを取り入れるなど、外部サービスを定期的に取り入れる工夫はしていたが、既存のサービス概念から抜け出せない状況にある。今年度は初心に戻り、利用者の声の聞き取りから始めた。

活動に的を絞ったアンケートから、クラブ活動をやりたいという要望が多くあがったため、次年度はどのように実現していくか、検討している。また、他施設を断られた認知症の重い方、対応が難しい方など、可能な限り受け入れており、教育担当を筆頭に、職員の資質向上・対応力強化へつなげている。

○総合事業（通所型 B 住民参加型デイサービス）への積極的なかわりも継続しており、新たな顧客獲得にもつながっている。

●訪問介護・訪問介護相当サービス

○登録ヘルパーの増員

確保ができない状況が続いている。地区社協や地域福祉センターと連携し、採用に関する入り口戦略を強化しながら、ヘルパー採用が円滑に行えている企業・事業所のセミナーなどに参加して研究しなければならない。

○その他

研修については、新型コロナウイルス感染症の関係で、オンライン中心であったが計画に基づき実施した。

●居宅介護支援事業所

年度途中で5名体制となり（主任介護支援専門員3名）、人員配置面でも南部エリアにおいて、中核的な事業所となっている。戦略目標や実績・収入など当年度の目標は、概ね達成した。

○人材育成

新型コロナウイルス感染症の関係で、地域関連事業がなかなか進まない形であったが、感染状況に合わせて「介護者のつどい」「通所型 B 事業」「勉強会の開催 事例検討会への参加」などを行った。担当件数・実績・残業など、数値に対する意識は高くなってきた。

○障害（共生型）サービスへの体協強化、障害関係の知識強化

新たな事業展開、また、障害関係の知識強化は継続しながら、介護離職やヤングケアラーなどの社会問題にも対応できるよう、個々のキャリアアップ・能力向上は必要である。ZOOMを活用したサービス担当者会議の開催を実験的に行っており、事務業務の生産性向上については継続して行っていく。

●地域包括ケアシステム ともいき事業との連携

総合事業 緩和型生活援助（訪問型 A）通所型 B（サロン・ド・ともいき）の事業展開、そして、法人のともいき事業に関わることで、地域住民からの相談が多くなってきている。相談の内容に応じて、地域包括支援センターに繋げたり、サービスなどに関する提案をしている。また、下記のようにすぐに施設へ入所、施設サービスを利用するのではなく、在宅での生活を支援しながら、その方の状況やご家族の状況に合わせて、サービスを選択し提案できる仕組みが構築されてきている。早い段階で支援できるため、施設サービスを利用することになった場合でも、職員がその方の生活背景などを把握できているため、円滑な受入が可能となっていることは大きい。

例) ①地域食堂ともいき ⇒ 居宅介護支援 ⇒ デイサービス（ショートステイ）

②地域包括支援センター ⇒ 通所 B（サロン・ド・ともいき）・居宅介護支援 ⇒ デイサービス
⇒ 長期ショートステイ ⇒ 特養入所

③オレンジカフェ ⇒ 地域包括支援センター・通所 B（サロン・ド・ともいき）
⇒ 通所 B（サロン・ド・ともいき）・デイサービス併用

③オレンジカフェ ⇒ 地域包括支援センター・通所 B ⇒ 通所 B・デイサービス併用

●配食サービス（佐倉市委託事業）

昨年度から西御門から江原まで配達地域になった。一日の総走行距離は約 50km を超えており、一人暮らしの方が増えている。

今年度は訪問したとき救護し救急要請した案件が 4 件発生している。転倒し起き上がれない利用者や、意識が混濁して返事もままならない方など、4 名の方を助けることができた。

食材費、燃料価格の高騰の関係で、調理の工夫や在庫の食材を使い切ることで、材料費が上がりすぎないための努力を重ねた。市には、材料費の価格高騰やガソリン価格の値上げの現状を伝え続けた。

夕ご飯のお弁当を届けるサービスであるが、顔見知りの職員がお弁当を持って来て何気ない会話をすることが生活のリズムになっていると思う。

誰かが訪問してくれる楽しみと住み慣れた街で暮らせる安心感をこれからも継続していく。

（苑長 麻生 知明）

1 事業の実績(2022.4.1～2023.3.31)

1-1 特別養護老人ホームはちす苑(介護老人福祉施設)

【定員 54 名】

	延べ年間施設利用者			1 日平均		延べ年間空所				入 退 所	
	定員	契約数	現員数	利用数	稼働率	総数	欠員	入院	外泊	入所	退所
(当年)	19,710	19,710	19,098	52.3	96.8%	723	20	703		15	13
(前年)	19,710	19,710	19,213	52.9	96.4%	504		504		14	14

※ 定員とは入所定員に各月暦日数をかけたもの。

※ 入院日と退院日は含めていない。

1-2 ショートステイはちす苑 (短期入所生活介護事業)

【定員 20 名】

	延べ年間施設利用者		1 日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	7,300	7,099	19.4	97.2%
(前年)	7,300	6,758	18.5	92.5%

1-2-1 特養 ショートステイ合算

	延べ年間施設利用者		1 日平均	
	定員	利用総数	利用数	稼働率
(当年)	27,010	26,497	71.7	96.9%
(前年)	27,010	25,971	71.1	96.1%

1-3 デイサービスはちす苑 (通所介護事業 基準該当生活介護事業)

【定員 35 名】

	延べ年間通所利用者			1 日平均		利 用 登 録 者 (共生含)	共 生 型 生 活 介 護
	営業日	定 員	総 数	利用数	稼働率		延べ利用人数 1,081
(当年)	292	10,220	8,158	27.9	79.8	1,078	
(前年)	309	10,815	7,755	25.0	71.7	1,046	

1-4 ホームヘルプサービスはちす苑 (訪問介護事業)

	延べ年間 利用総件数	身体介護		生活援助		独自・緩和		自由		利 用 契 約 者	合 計 援 助 時 間 数
		延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数	延べ件数	延べ時間数		
(当年)	5,566	1,863	1,168	1,627	1,268	(独自) 1,752	(独自) 1,761.2			175	4,548
(前年)	5,854	2,330	1,505.5	1,677	1,336	(緩和) 330	(緩和) 334.2	6	3.75	709	4673.25
						(独自) 1,462	(独自) 1,459				
						(緩和) 369	(緩和) 369				

1-5 ケアプランはちす苑（居宅介護支援事業）

月	月末契約数	実績	
		要支援	要介護
4月	120	14	104
5月	121	14	105
6月	119	14	103
7月	124	16	104
8月	134	18	111
9月	148	20	124
10月	152	25	125
11月	168	25	139
12月	167	25	134
1月	162	26	128
2月	162	28	130
3月	173	31	139

2 入居者・利用者の状況（2022年度全契約者）

2-1 利用者総数

	全利用者			特養ホーム入居者			居宅サービス利用者※		
	人数	男	女	人数	男	女	人数	男	女
人数	391	157	234	67	19	48	324	138	186
%	100%	40.1%	59.9%	17.2%	4.9%	12.3%	82.8%	35.3%	47.5%

※ はちす苑が提供する居宅サービス[ケアプラン（居宅介護支援）・ショートステイ（短期入所）
・デイサービス（通所介護）・ホームヘルプ（訪問介護）]を指す。

2-2 年齢構成

（年齢は2022.4.1現在）

		総数	65未満	65～69	70～79	80～89	90以上	最高齢
全利用者	総数	391	18	17	90	176	90	103
	%	100%	4.6%	4.3%	23.1%	45.0%	23.0%	
	男	157	11	11	48	70	14	96
	女	234	7	6	42	106	76	103
特養ホーム 入居者	人数	67	1	2	12	30	22	
	%	17.2%	0.3%	0.5%	3.1%	7.7%	5.6%	
	男	19	1	2	7	8	1	92
	女	48			5	22	21	98
居宅 サービス 利用者	人数	324	17	15	78	146	68	
	%	82.8%	4.3%	3.8%	20.0%	37.3%	17.4%	
	男	138	10	9	41	62	13	96
	女	186	7	6	37	84	55	103

2-3 居住地域

		総数	佐倉市	四街道市	成田市	富里市	その他
全利用者	総数	391	307	65	1	1	17
	%	100%	78.5%	16.6%	0.3%	0.3%	4.3%
	男	157	113	40			7
	女	234	194	25	1	1	10
特養ホーム 入居者	人数	67	52	8	1		6
	%	17.2%	13.3%	2.0%	0.3%	0%	1.6%
	男	19	14	6			3
	女	48	38	2	1		3
居宅 サービス 利用者	人数	324	255	57		1	11
	%	82.8%	65.2%	14.5%	0%	0.3%	2.8%
	男	138	99	34		1	4
	女	186	156	23			7

2-4 要介護認定の状況

		総数	自立	要支援	I	II	III	IV	V	障害
全利用者	総数	391		81	57	56	62	92	30	13
	%	100%		20.7%	14.6%	14.3%	15.9%	23.5%	7.7%	3.3%
	男女	157 234		31 50	28 29	23 33	20 42	33 59	16 14	6 7
特養ホーム 入居者	人数	67					14	39	14	
	%	17.2%		0%	0%	0%	3.6%	10.0%	3.6%	%
	男女	19 48					3 11	9 30	7 7	
居宅 サービス 利用者	人数	324		81	57	56	48	53	16	13
	%	82.8%		20.7%	14.6%	14.3%	12.3%	13.5%	4.1%	3.3%
	男女	138 186		31 50	28 29	23 33	17 31	24 29	9 7	6 7

2-5 面会・外泊状況（特養入居者）オンライン含む

面会 回数 (年)	回数	50回以上	49~40回	39~30回	29~20回	19~10回	9~1回	なし
	人数							17
%							25.3%	74.7%
男女							6 11	10 40
外泊 日数 (年)	回数	20日以上	19~15日	14~10日	9~5日	4~1日	なし	
	人数							17
	%							25.3%
男女								6 11

2-6 特養新規入居者（2022年度中）

	総数	入居時年齢				入居時要介護度				
		65~	70~	80~	90~	1	2	3	4	5
人数	13	1	1	3	8			3	5	5
男	3	1		1	1				1	2
女	10		1	2	7			3	4	3
	総数	入居前状況								
		在宅	老健	病院	その他					
数	13	5		3	5					
男	3			2	1					
女	10	5		1	4					

2-7 特養退所者 (2022 年度中)

	総数	退所時年齢					退所時要介護度					
		~64	65~	70~	80~	90~	1	2	3	4	5	
人数	13			3	5	5			1	4	8	
男	4			2	3					2	2	
女	9			1	2	5			1	2	6	
	総数	退所時理由										
		在宅	施設	入院	死去							
人数	13			2	11							
男	4			1	3							
女	9			1	8							

3 特養入居希望者 (2023. 3. 31 現在)

	総数	年齢区分					介護認定による要介護度						
		~64	65~	70~	80~	90~	要支	1	2	3	4	5	不明
人数	224	5	7	54	81	77		3	6	73	76	48	18
%	100%	2.2%	3.1%	24.1%	36.2%	34.4%		1.3%	2.7%	32.7%	33.9%	21.4%	8.0%
男	106	3	3	35	33	26		1	5	34	34	21	6
女	118	2	4	19	48	51			1	39	42	27	12
	総数	現状											
		在宅	老健	病院	他								
人数	224	34	49	69	72								
%	100%	15.2%	21.9%	30.8%	32.1%								
男	106	6	21	29	30								
女	118	28	28	40	42								

4 運営管理

4-1 職員状況

職 名		2022. 4. 1	2022. 4. 2~2023. 3. 30				2023. 3. 31
		現員数	退職	異動出	異動入	採用	現員数
総 数		92 (47)	4(3)	3	3	6(5)	95(49)
苑長 (施設長)		1					1
総務課	(法人所属) 事務員	1					1
	事務員	1(1)					1(1)
	運転手	1(1)					1(1)
	クリーンスタッフ	7(7)					7(7)
	管理宿直者	3(3)					3(3)
	配食サービス配達員	4(4)	1(1)			1(1)	4(4)
施設サービス課	課長	1		1	1		1
	主任ケアスタッフ	3		1	1		3
	ケアスタッフ	32(10)	2(1)	1		4(4)	33(13)
	生活相談員	1					1
	管理栄養士	1		1	1		1
居宅サービス課	【ケアプラン】						
	主任ケアマネジャー	3					3
	ケアマネジャー				1	1	2
	【デイサービス】						
	主任ケアスタッフ	1					1
	ケアスタッフ	13(10)	1(1)				12 (9)
	介護補助						
	生活相談員	1					1
	ボランティアコーディネーター	1 (1)					1(1)
	【ホームヘルプ】						
居宅サービス課課長(サ提)	1					1	
主任ケアスタッフ(サ提)	1					1	
サービス提供責任者	1					1	
訪問介護員	2					2	
登録ヘルパー	7(7)					7 (7)	
健康管理室	医師	1(1)					1(1)
	主任看護師	1					1
	看護師	7 (4)					7 (4)
	機能訓練職						

※ 網掛けについては、一部総数に計上していない。数字は総数で表示し、内パート職員の数()内に再表示している。

4-2 職員研修・訓練など実施状況

法人研修		
日付	研修内容	参加人数
7/20	トランスファー研修 RX 青山	4
9/14	管理職研修「改正育児・介護休業について」	2
10/7	「次世代リーダー研修」①	4
11/12	「次世代リーダー研修」②	4
11/14	権利擁護研修	1
12/8	ホスピタリティー研修	2

施設内研修		
日付	研修内容	参加人数
5/18	嚥下機能に関する研修 高輪会	20
7/11	オンライン身体拘束 虐待予防研修 お茶の水学院	9
7/21	オンライン リスクマネジメント研修 山田先生	3
10/12	「褥瘡予防研修 ポジショニングについて」	10
11/4	感染症・リスクマネジメント研修 お茶の水学院	9
11/9	「口腔ケア研修」	17
R5 2/6	オンライン身体拘束 虐待予防研修 お茶の水学院	9
2/15	「褥瘡予防研修」	11
3/29	ターミナルケア研修	10

外部研修		
日付	研修内容	参加人数
4/13	オンライン研修「おむつについて」	2
5/13	オンライン研修「はじめての認知症ケア」	2
6/14	オンラン研修「看護師から見たスムーズな病院連携」	3
6/24	オンラン研修「皮膚・排泄ケア認定看護師と地域連携」	3
8/21	オンライン研修「高齢者のお口の機能と口腔ケア」	2
8/25	オンライン研修「さきいか」	3
8/30	オンライン研修「介護保険法改正事前対策研修」	2
9/28	オンライン研修「精神障害者の地域生活支援について」	2
10/24	オンラン研修 「様々な課題を抱える世帯支援にケアマネがどうかかわるか」	1
11/17	オンライン研修「よりよいケアマネジメントに向けて」	2
11/20	オンライン研修「四街道市居宅介護支援事業所研修会」	2
11/27	オンライン研修「介護支援専門員実務者研修実習受入担当者研修」	1
1/19	佐倉市家庭などにおける虐待・暴力対策ネットワーク研修	1
1/20	オンライン研修「その人らしい生活を支えるための医療・介護連携」	1
2/2	オンライン研修千葉県高齢者虐待防止対策研修（訪問介護）	2
2/4	ハイブリッド式「東邦大学医療連携学術フォーラム」	3
2/14	オンライン研修 「千葉県介護支援専門員協議会研修 私はここで暮らしたい」	1
2/15	「職員が辞めない組織づくり」成国福祉カレッジ	1
3/7	オンライン研修「訪問介護 BCP セミナー」	1
3/16	オンライン研修「佐倉市医療 介護連絡会 研修」	5

訓練など		
日付	内容	参加人数
7/6	防災訓練	出勤全職員
7/13	感染症対策訓練	14
R5 1/11	感染症対策訓練	11
R5 3/15	防災訓練（夜間想定）	特養・宿直職員

※防災訓練（令和4年9月と12月予定していたが、新型コロナウイルスクラスターの関係から実施できず）

5 諸会議の開催状況

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営会議	10	1	1	1	1		1	1	1		1	1	1
虐待防止・身体拘束廃止委員会	4	1			1			1			1	1	
感染症対策・リスクマネジメント委員会	4		1				1		1			1	
スキンケア委員会	3			1			1						1
特養主任会議	10	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1
入居判定会議	4		1		1			1				1	
デイサービス会議	10	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1
ホームヘルプ会議	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養改善会議	5	1		1				1		1		1	
サビ担当会議	47	3	5	6	5			9	4	3	3	4	5

6 実習受け入れ状況

依頼教育機関等	実習目的	日数	件数	人数
※総数		90	7	13
専門学校新国際福祉カレッジ	介護福祉士	29	2	3
成田国際福祉専門学校	介護福祉士	18	2	4
大原医療保育福祉専門学校千葉校	介護福祉士	43	3	6

7 ボランティア活動

7-1 活動状況(年間実績)

活動内容			理 髪	施 設 環 境 備 置 備	清 拭 布 洗 濯 物 た た み	生 活 介 助	作 業 補 助	行 事 協 力	傾 聴 朗 読 等	手 工 芸 陶 芸 ク ラ ブ	音 楽 療 法	生 花 ・ 茶 道 ク ラ ブ	公 演 ・ 発 表	そ の 他
4月	延人数	23	3											20
	人数	6	2											2
	回数	23	3											20
5月	延人数	23	3											20
	人数	6	2											3
	回数	20	3											20
6月	延人数	24	3											21
	人数	6	2											3
	回数	24	3											21
7月	延人数	23	3											20
	人数	6	4											2
	回数	20	3											20
8月	延人数	3												3
	人数	3												3
	回数	20												20
9月	延人数	25	3								1			21
	人数	6	2								1			3
	回数	25	3								1			21
10月	延人数	20	2											18
	人数	3	1											2
	回数	20	2											18
11月	延人数	25	3								1			21
	人数	5	2								1			2
	回数	25	3								1			21
12月	延人数	22	3											19
	人数	4	2											2
	回数	22	3											19
1月	延人数	3												3
	人数	3												3
	回数	20												20
2月	延人数	22	2											20
	人数	6	1											2
	回数	22	2											20
3月	延人数	26	3								1			22
	人数	7	2								1			2
	回数	26	3								1			22
合計	延人数	239												
	人数	56												
	回数	267												

7-2 ボランティア登録状況

活動内容	人数	団体名
施設環境整備		
理美容	4	個人
清拭・洗濯たたみ		
生活補助		
傾聴		
陶芸クラブ		
音楽クラブ	1	うたおーら
茶道クラブ		
囲碁・将棋		
歌・演奏		
生花クラブ		
車椅子清掃		
その他（誘導・散歩等）	3	個人（犬の散歩）

8 行事・活動等実施状況（2022. 4. 1～2023. 3. 31）

月	行事内容
5月	12日入居者・職員 健康診断・BCP 業者による説明会 17日内部監査 24日監事監査
7月	17日 特養・ショート入居者納涼祭（夏のはちフェス）
9月	18日 敬老会
10月	20日 入居者・職員 健康診断 25日 入居者インフルエンザワクチン接種
11月	1・8日職員インフルエンザワクチン接種 30日 寿しキャラバン
12月	6日入居者新型コロナワクチン5回目 18日 特養・ショート入居者忘年会（冬のはちフェス）
R5 1月	1日 獅子舞
3月	15日防災訓練（夜間想定）

VI. 地域福祉事業部

2022(令和4)年度 事業報告
地域福祉事業部
南部児童センター・学童保育所

概況

前年度に引き続き、スローガンを「地域子育て支援 ～地域づくりはこころの元気づくり～」と掲げた。新型コロナウイルスが世界を取り巻いてから早3年。近年、かなわなかったイベント実施も南部児童センター・学童保育所の歴史の1ページとして気を取り直し、どのようにウイルスと共生すれば良いのかを考え、数々の企画を考えてきた1年間であった。

行動がある程度緩和されたことはうれしい反面、子どもたちの遊びや生活にはウイルスとの共生の難しさもあった。それでも、遊びを存分に楽しんでいる子どもたちの笑顔が見たい、歓喜の声が聞きたいとの思いで「遊びをプロデュース」し、元気になる居場所作りを行ってきた。

児童センターはコロナの流行以降、初の遠足を実施。コロナ禍に生まれた子どもたちは初めての屋外でのひよこタイム(乳幼児事業)を多くの参加者が楽しんだ。また、県民の日、うんどう会などは広報を早々に行ったこともあり、回を重ねるごとに徐々にリピーターの積み重ねが増え、9月には31か月ぶりに月間の来場者が1,000名を超えた。そして、今年度は昨年度を大きく上回り、年間10,569名の利用者となった。

また、学童保育所でも続々とイベントを再開した。県民の日には今まで控えていた隣の学童と一緒に企画を実施したり、連日の猛暑にも負けず、子どもたちが着々と準備を進めた「縁日」では大満足する中に、「家庭に代わる生活の場」を楽しむ、日常の子どもたちの姿が多く見られるようになってきた。

次年度より寺崎小学校区の整備計画に基づいて、第二寺崎学童保育所が新設されることになった。定員も増え、8か所の学童保育所の指定管理者となる。新設学童が開所しても過密状況は続く見込みのため、できる限り待機者を減らせるよう、保育室内の見直し等を行った。

9月に佐倉市財政援助団体監査があり、施設見学と事前提出資料をもとに質疑が行われた。大きな指摘事項はなかったが、施設の適正かつ円滑な管理運営を確保するため、報告書などの提出書類は誤記がないよう正確な作成に努めることが求められた。

○本年度数値目標

・子育て悩み相談および子ども自身が相談できる体制づくり

困ったことや悩みごとがあれば「いつでも南部児童センターに来て」、その気持ちを聞かせてほしいというコンセプトのもと、予約不要の自由来館のかたちを継続し、利用者を迎え入れてきた。感染症拡大状況を見極めつつ利用者の人数制限の緩和、閉館時間の延長、そして館内滞在時間の延長と1つひとつ段階を踏んで検討し、できる限り利用者と向き合い、利用者の話に耳を傾ける場を設けてきた。出産後、孤立しがちなママの交流の場をつくることはもちろん、時には1人で来館した男子中学生の話を聞き、ありのままの気持ちに寄り添い、思いを受け止めるための居場所となってきた。 相談件数：79件

○「子どもの権利」についての啓発

小学生ボランティア「スマイルクラブ」が地域の方々に加え、地域福祉センターの利用者と交流し異年齢間の活動を多く行った。例年、一緒に行っているゴミゼロ運動をきっかけに、秋には「スマイルクラブ」の子どもたちがゲートボールを初体験した。1月には地域福祉センターの茶道講師から初釜(茶道体験)のご指導をいただく機会を持った。また、根郷地区社会福祉協議会主催の「根郷福祉まつり」では「スマイルクラブ」が主体となり子どもたちが考えた「クイズラリー」、「ストラックアウト」のブースを児童センター内に設置し、明るく手際よい対応でまつり当日、100名を超える多くの利用者を児童センターに呼び込んだ。

○インストラクター・学童支援員の教育

児童センターおよび、7つのすべての学童保育所でコンサルタントの立ち合いのもと、大規模地震想定避難訓練を実施した。災害時は職員が自身の命を守ることはもちろん、なおかつ子どもたち全員の生命を確保しなければならない。それぞれの事業所が離れており、夜間、非常勤職員数名のみになる状況も想定すると、子どもたちも自分で自分の命を守るように備えておかなければいけないことや、「危険箇所の見つけ方」など専門家からのご意見が大きな収穫となった。 (所長 長岡 陽子)

1 サービスの利用状況(2022.4.1～2023.3.31)

1-1 佐倉市立南部児童センター

(1)施設利用状況

(人)

	開館日数	幼児	小学生	中学・高校生	一般	合計
年間利用数	295	4,415	1,598	721	3,835	10,569
一日平均		15.0	5.4	2.4	13.0	35.8

(2)図書貸出状況(人)

※ 開館時間・入場可能人数				
4月～	9:00～12:00	乳幼児親子	10組程度	館内滞在時間
	14:00～16:30	乳幼児・小学生以上	20名程度	1時間程度
7月～	9:00～12:00	乳幼児親子	10組程度	館内滞在時間
	14:00～16:45	乳幼児・小学生以上	20名程度	1時間程度
				閉館時間
				15分延長
10月～	9:00～12:00	乳幼児親子	10組程度	館内滞在時間
	14:00～16:45	乳幼児・小学生以上	20名程度	1時間30分程度
				館内滞在時間
				30分延長

	開館日数	延べ利用者数	貸出冊数	新規登録者数
年間利用数	295	3,477	381	45
一日平均		11.8	—	—

※ 4月～12月 開室 閲覧のみ 1月～ 貸し出し再開

(3)事業実施状況(延べ人数)

※新型コロナウイルス感染症状況により一部実施

区分	事業の名称	実施回数	参加人数	事業内容
子育て支援に関する業務	①子育て中の親子へ遊び場の提供業務			
	ひよこタイム	405	3120	スキンシップあそび・わらべうたあそび・絵本読み聞かせ
	ゆりかごタイム	50	1042	スキンシップあそび・身体測定・母親同士の交流・保健師・栄養士による相談
	ひよこランド	2	103	おみせやさんごっこ・おまつりごっこ
	巧技台あそび	36	818	乳幼児期に経験しておきたい「登る・おる・わたる・すべる」などの多様なあそびを経験する
	パラバルーンあそび	35	670	音楽に合わせて動くことで、リズム感や表現力を身に付ける
	シアターあそび	11	266	インストラクターによるシアターの公演
	ボールプール	5	110	転がす、蹴る、投げる、捕る、つくなど子どもの多様な動きを引き出す
	おはなし会	2	21	司書による絵本読み聞かせ・わらべうた遊び
	乳幼児遠足 (佐倉草ぶえの丘)	1	32	季節の自然に触れながら、母親同士の交流
	おはなしキャラバン	1	43	人形劇、大型絵本、パネルシアター、絵本の鑑賞
	あそびのマルシェ	0	0	あそびのブースを開設して地域交流
今月の工作		来館時随時	季節の工作、手作りおもちゃなどの持ち帰り	

②子育て相談業務	誕生会 & 大きくなったかな? おめでとうウィーク	44	63	お誕生児に手形・缶バッチプレゼント	
	子育てコンシェルジュ	4	27	子育てコンシェルジュを招いて、子育ての個別相談・支援業務・説明会(就園)	
	子育てミニ講座	2	40	保健師・栄養士等によるミニ講座(救急法など)	
遊びを通しての体力増進指導業務	幼児体操教室	0	0	講師による親子運動あそびの実践	
	小学生体操教室	0	0	ゲームあそびを通して体力作り。跳び箱、ボール等を使った運動あそび	
児童の健全育成に関する業務	①行事活動業務	県民の日あそびのフェスティバル	1	74	高齢者クラブと連携し、色々なあそびを通して交流を深める
		噴水遊び	6	71	噴水装置による水あそび大会
		あそびリンピック	0	0	スマイルクラブによるあそびのブースを展開
	②小学生を対象とする活動業務	臨時開館(運動会振替休業日など) チャレンジ	136	136	始業式などを開館し、小中学生の居場所作り
		放課後Xデー(レクリエーション大会) フロアカーリング大会	3	41	集団あそびをとおしての異年齢の交流。ドッジボール、スポーツ鬼ごっこ等
		こわいおはなし会&ミニ工作	1	17	司書によるこわい絵本の読み聞かせ、素話。
		季節の工作(ミサンガ作り)	0	0	工作を通して季節や行事を楽しむ
		いも苗植え・さつま芋掘り	2	50	根郷小学区まちづくり協議会との連携(スマイルクラブ・乳幼児一般)
		生け花教室	1	5	伝統文化の体験
	③中高生を対象とする活動業務	臨時開館(運動会振替休業日など)	0	0	始業式などを開館し、小中学生の居場所作り
	④ボランティア、サークル支援活動業務	スマイルクラブ(ボランティアチーム)	6	36	館内装飾・掲示・工作キット作りなどのボランティア活動
		子育て応援サポーター(ボランティア)	0	0	遊具消毒
	⑤地域交流・世代間交流活動業務	ゴミゼロ運動	1	5	根郷地区まちづくり協議会との連携(スマイルクラブ)
		赤い羽根共同募金しおり制作	0	0	佐倉市社会福祉協議会との連携/しおり作成
		認知症サポーター養成講座	0	0	南部包括支援センターとの連携
		根郷福祉まつり	1	125	根郷社会福祉協議会や各種団体との連携

(4)南部児童センター 主な行事実施状況

月	行事内容
4月	(工作)さいたさいたチューリップ・クラフトボックス えのぐあそび(4/12)
5月	(工作)カラフルなことり・わか飛行機 七井戸公園遠足(5/20) スマイルクラブ: 芋苗植え(5/15)・ゴミゼロ運動(5/29)
6月	(工作)あじさい・はねバッタ 千葉県民の日 2022(6/15) 栄養士相談会(6/22)

7月	(工作)きらきはなび・空とぶ UFO 幼児水あそび(7/8、15、29) 小学生フロアカーリング大会(7/20)
8月	(工作)アニマルぼうえんきょう・紙とんぼ 小学生こわいお話会(8/3) 幼児・小学生水あそび(8/5、19) おまつりごっこ(8/25) スマイルクラブ:認知症サポーター養成講座(8/21)
9月	(工作)ぶどうちゃん・紙皿ヨーヨー わらべうたであそぼ(9/8) 根郷福祉まつりブース参加(9/25) うんどう会(9/22)
10月	(工作)おばけちゃんバッグ・マジックシアター ひよこでハロウィン(10/28) スマイルクラブ:まち協農園 さつまいも堀り(10/23)
11月	(工作)ポンポンはりねずみ・キャッチングマシーン 秋のおさんぽ(11/4) おみせやさんごっこ(11/17)
12月	(工作)サンタさんウォールポケット・クリスマスパズル おはなしきやらばん(12/8) 生け花体験(12/17) スマイルクラブ:認知症サポーター養成講座(12/18) ひよこ・クリスマス会(12/22) 小学生モルック大会(12/23)
1月	(工作)うさぎちゃんの絵馬・ミサンガを作ろう お正月あそび・もちつき、たこあげ、ふくわらい、こま(1/10、12、17、19、24) 小学生書き初め展(1/13~2/10)
2月	(工作)ふわふわおひなさま・ダンシングカップ ゆりかごタイム節分(2/1) ひよこタイム・まめまきあそび(2/3) かけっこあそび・うんどう会(2/14)
3月	(工作)おさんぽあおむし・ぶんぶんゴマ ひなまつり(3/3) 小学生モルック大会(3/24) おたのしみ会・おおきくなったね(3/24)

(5)子育て相談

(件)

	子育て支援	発達相談	家庭問題	就園相談	情報提供	
					あそび場	医療機関
子育てコンシェルジュ	5	4	0	2	0	0
インストラクター	33	24	3	6	1	1
計	38	28	3	8	1	1

・子育てコンシェルジュ巡回相談は完全予約制で実施

1-2 学童保育所

(1)登録・利用状況(開所日数294日)

(人)

	定員	登録者数 (延べ人数)	延べ利用者数 (年間総数)	一日平均 利用者数
根郷学童保育所 (対象学年1年~3年)	55	705	10,408	35.4
第二根郷学童保育所 (対象学年1年~6年)	60	636	7,784	26.4

和田学童保育所 (対象学年1年～6年)	30	223	2,982	10.1
弥富学童保育所 (対象学年1年～6年)	50	215	2,605	8.8
寺崎学童保育所 (対象学年1年～3年)	60	855	11,842	40.2
大崎台学童保育所 (対象学年1年～6年)	30	415	5,054	17.1
山王学童保育所 (対 象学年1年～6年)	65	472	5,954	20.2
全学童計	350	3,521	46,629	158.2

(2) 学童保育所の主な行事

月	根郷学童	第二根郷学童	和田学童	弥富学童	寺崎学童	大崎台学童	山王学童
4月	ようこそ！ 根郷学童へ！	みんなで 遊ぼう！	ウエルカム パーティー	ウエルカム パーティー	新入所を迎える 会「いらっしゃー い」	地震避難訓練 大崎台学童 クイズ	新入生歓迎の ビンゴゲーム
5月	みんなでいちご 狩りをしよう 不審者対応 避難訓練	不審者対応 訓練 野菜を 育ててみよう	地震想定 避難訓練	よく飛ぶ 飛行機を作ろう 不審者対応 避難訓練	クイズです① クイズです② 不審者対応 訓 練	かんけり大会 不審者対応 避難訓練	バケツ稲を 育てよう
6月	根郷、第二で遊ぼう		不審者対応 想定避難訓練	紫陽花を 咲かせよう	レッツ工作	クイズ王は きみだ！	「育てて 食べよう」 ミニトマト栽培
	お部屋を星の世 界にしよう	室内ゲーム 君の名は？					
7月			シャボン玉を 飛ばそう	スノードーム 作り シャボン玉 遊びをしよう	地震避難訓練 (巨大地震 対応)	作ってみよう！ スライム作り	ミニトマトの 栽培・管理
8月	はっけん！ おたからさがし こわい おはなし会		水遊びを 楽しもう→中止	ストラップ作りを しよう (プラ板) 水鉄砲遊び！	水遊び 寺崎縁日 2022 真夏の スノードーム	大崎台縁日	ミニトマトの 収穫
9月	ドライフラワーを つくろう！ 地震避難訓練			めくって めくって！ 地震避難訓練	ロケット発射！ 地震対応訓練 ポイント訓練	作ってみよう② プラ板製作	ウーパールーパーの 飼育観察
10月	根郷 秋まつり	地震避難訓練	スライム作り 大規模地震 想定避難訓練	秋の壁面飾りを 作ろう	巨大地震に備え て避難訓練 送別会・ スポーツ大会	スポーツの秋 パターゴルフを やってみよう	「山王っ子フェス ティバル」 参加
11月	大規模地震 避 難訓練 楽しもう！ 芸術の秋	秋祭り	災害想定 避難訓練	火災避難訓練 コットンボール 作りをしよう	ポケモン GO!! (宝探し)	ダンボール 工房	防災訓練

12月	年末ゲーム大会	お楽しみ会「ドッジボール大会」 プラバン作り	バルーン アート作り体験	冬の お楽しみ会	火災避難訓練 来年何年？ (年賀状を 書こう)	冬休み 楽しもう会	ビンゴ大会
1月	お正月遊びを しよう お店屋さん ごっこ	プラ板作り	コマ遊び	手作り凧を 作って遊ぼう	プラバン (1~3月) あみもの しよっか	大崎台 Big すごろく	ビンゴゲーム大 会
2月	鬼のお面を 作ろう！ 火災避難訓練	カード作り	変身ファッション ショー	スライムを 作って遊ぼう	～鬼が島で鬼退 治だ～ 火災避難訓練	ザ・ チャンピオン	防災訓練 (地震)
3月	進級するよ！お 祝いしよう！	6年生を送る会	6年生を送る会	6年生を送る会		お宝 アドベン チャーゲーム	6年生を送る会

1-3

(1) 職員状況

	2022.4.1 現員数	2022.4.1～2023.3.31				2023.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	53(41)	16(15)	4(0)	5(4)	15(12)	60(46)
所長	1(0)	・	・	・	・	1(0)
主任	2(0)	・	・	・	・	2(0)
アドバイザー	1(1)	・	・	・	・	1(1)
インストラクター	8(6)	・	・	1(1)	1(0)	7(5)
学童支援員・補助支援員	38(32)	15(15)	4(0)	4(3)	14(12)	40(33)
事務員	1(0)	1(0)	・	・	・	2(0)
用務員	2(2)	・	・	・	・	2(2)

(2) 職員の研修状況

全 体 研 修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
—	職員全体研修研修(悉皆)	中止	—	実践発表会	延期

学童支援員認定資格研修会					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
6/1、22、28 7/1	第1期受講者(成田市)	4	2/3、 7、9、14	第12期受講者(千葉市)	1

施設内研修					
月日	研修名	人数	月日	研修名	人数
9/7	育児休業・介護休業等講習	5	1/11	感染症対策訓練	3
9/16	大規模災害対策研修	1	1/16	大規模災害対策研修(学童)	19
12/8	接遇研修				

外部研修		
月日	研修名	参加人数
5/18	防火・防災管理再講習	1
6/24	児童厚生員等研修「健全育成論」	2
6/26	全国学童保育指導員学校「コロナ禍での子どもの心と身体」(zoom)	1
8/18	福利厚生センター カスタマーハラスメント防止講習会(zoom)	1
9/22	佐倉市学童保育所職員研修『「気になる子ども」の保護者との連携』(zoom)	4
9/26～ 10/17	千葉県資質向上研修「多様な保護者への対応」(eラーニング)	4
9/28、29	甲種防火管理新規講習	1
10/24	支援力向上講座「生きる力を育むわらべうた講座」 ～育児援助の現場に、今、届けたいわらべうた～ 市内5館合同	9
10/31～ 11/21	千葉県資質向上研修「支援が必要な子どものための協働実践」 (コラボレイティブ・プラティクス)入門～いじめや虐待への対応～(eラーニング)	7
11/9	手作り楽器で音あそび&フィーリングパフォーマンス	2
11/9	福利厚生センター 接遇講習会(保育士向け)(zoom)	1
11/21	保育とESD、SDGs～時代に棹をさす保育をめざす～	1
12/8	千葉県子育て支援員研修「地域子育て支援コース」	1
12/23	千葉県資質向上研修「放課後児童クラブの環境設定」(eラーニング)	1
10/1～ 12/31	これができる、コンプライアンス実践講座(eラーニング)	1
1/16	児童厚生員等研修「児童の発達理論」「表現活動」	1
1/16～ 2/3	千葉県資質向上研修「発達障害児等配慮を必要とする子どもへの支援」 (eラーニング)	4
1/29	全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー 「よりよいサービスのために、苦情対応を学ぶ」(zoom)	1
2/8	WAM事業「赤ちゃんがつなぐ子育て支援の輪」	1
2/1～ 2/22	全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー なぜ子どもに発言と対話の場をつくるのがひつようなのか?(YouTube)	8

(3) 実習生受け入れ状況

期間	養成機関名	実施対象資格等	人数
8月23日～9月4日	千葉明德短期大学	保育士	1
10月4、6、13、21日	城西国際大学	〃	1
10月28日		〃	1
延べ16日間	2養成機関		

（ 佐倉市障害者生活支援センターアシスト / 佐倉市南部地域包括支援センター ）

概況

当年度のスローガンは、「個を支える地域づくりを地域と共に」とした。多職種との事例検討や地域ケア会議を通して、個別支援を考え、地域のネットワークづくりを進めた。

●アシスト

（1）数値目標（目標値 → 実績）

アシストでは2名の退職者があったが、計画相談・モニタリング件数を合わせると目標値を上回った。平均すると月5件の新規ケースを受けており、その数は年々増えている。加算については月1回全体共有を行い、対応した支援に対して加算が取れるよう意識付けを行った。結果、集中支援加算が目標値の3倍となった。

計画・モニタリング件数（者・児）	750件 → 769件
障害区分認定調査件数	130件 → 149件
提供時モニタリング加算	250件 → 164件
集中支援加算	30件 → 91件

（2）戦略目標

○精神疾患のある方への専門的支援の提供

アシストの相談件数の8割が精神疾患の相談であることから、職員の相談支援の質の向上、職員の精神的負担軽減を目的に事例検討会を実施した。アシスト主催の合同事例検討会は、「精神障害」「8050」「児童」「虐待」などをテーマに年6回開催した。市内の相談事業所を中心に関係機関に参加を呼びかけ、地域の専門職のネットワーク構築の場となった。個別ケースにおける支援者会議の会の開催は年100回を超えており、困難事例の対応の検討や多職種での情報共有の場となった。アシスト内では担当の引継ぎが多かったため、毎日朝礼後に動きのあるケースを全体で共有し、担当以外の職員も状況把握に努め対応できるように取り組んだ。

また、相談支援に関するものや多職種が参加する研修には積極的に参加し、顔が見える関係づくりを意識した。

○法人内連携の強化

個別のケースを通して、常日頃から法人内事業所との連携を意識した対応を行った。また包括支援センターだけでなく、はちす苑ケアマネジャーとも世帯支援で関わる機会があった。ケアマネジャーにアシスト主催の合同事例検討会に参加を依頼し、8050世帯の支援について考える機会を持った。当年度も入所施設での勉強会を企画したが、コロナの影響で行うことができなかった。

●南部包括

（1）数値目標（目標値 → 実績）

介護予防教室（とすとらん塾）	12回 → 12回
介護者教室	4回 → 4回
予防プラン件数	月115件 → 月116件
自立支援型個別ケア会議	年10件 → 10件
地域ケア圏域推進会議	年2回 → 2回

（2）戦略目標

○地域のニーズ把握と資源の発掘

前年度に引き続き、佐倉市では地域ケア会議の開催が重点目標の一つとなっていた。当年度は、各包括で自立支援型地域ケア個別会議を年10件、地域ケア圏域推進会議を年2回の開催となった。南部圏域の地域ケア会議では、和田地区と弥富地区の移動支援に焦点をあて、地域住民、専門職と共に個別支援から地域課題を考える会議を行った。免許返納後の生活をどのように地域が支えるか、高齢化が進む中担い手不足の問題も大きく、来年度以降も検討課題となった。

民生児童委員地区定例会や根郷地区社協のちよこっとサービス定例会には毎月参加させて頂き、地域の情報や個別ケースの関わりなど情報共有の場となっている。また民生児童委員とは「地域の見守り」をテーマに勉強会を行い、お互いの役割について意見交換した。

多職種連携の視点からは、医療介護連携会「さきいか」やデイサービス連絡会、南部ケアマネ会を開催し、専門職間のネットワークづくりに力を入れた。地域ケア会議においても、医療職・薬剤師・リハ職等に助言者として参加依頼をしている。包括は専門職と地域のつなぎ役となって、地域課題に取り組んでいく。

○地域住民への情報提供・啓蒙活動

包括だよりは年4回発行し、包括の周知に努めた。昨年度よりも出前講座の回数も増えており、今後も地域に出向く機会、きっかけを逃さないようにする。各自治会への周知は、コロナ禍で思うようにできておらず次年度の課題である。

介護予防事業においては、前年度に引き続き、愛光理事である順天堂大学 松山毅 先任准教授にご協力頂き、学生に「としとらん塾」を企画してもらった。毎年恒例の事業となり、学生の企画力の向上も見られ、高齢者と学生の交流の機会となった。

認知症関連事業では、6月にAIKOH フォーラムとして地域住民向けに「ケアニン」の上映会を開催した。認知症本人の対応や介護者の気持ちを知る機会となった。認知症サポーター養成講座の開催は、コロナの影響でできていなかった根郷中学校や山王小学校の児童に行うことができた。また今年度初めて、根郷地区社協の協力の下、認知症声掛け訓練を実施した。

○精神疾患のある高齢者や介護者への専門的支援の提供

8050世帯や精神疾患を抱える高齢者の相談が増えているため、対応力の向上を目指した。アシスト主催の合同事例検討会や、市内の相談支援事業所が参加する研修会に参加した。また職員全体のアセスメントを深めていけるよう、包括内での事例検討会は毎月時間を設けた。

●総合相談センター共通項目

○災害時の事業継続

新規の事業継続計画が提示され、7月に職員全体への周知が行われた。それを基に、合同会議時に災害対応の話し合いを行った。また前年度より、総合相談で関わっている要支援者リストの作成や災害時の個別支援など全体での共有を行った。引き続き、要支援者リストの更新を意識して行っていく。

(所長 森 由美子)

【アシスト】

1-1 業務内容

○基幹相談支援センター事業並びに業務

- ①総合的・専門的な相談支援の実施
- ②地域の相談支援体制の強化の取組
- ③地域移行・地域定着の促進の取組
- ④権利擁護・虐待の防止

○生活全般の相談

○サービス利用に関する情報提供等の福祉サービスの利用援助

○情報提供、相談、アセスメント、サービス等利用計画の作成、サービス調整、モニタリング、個別ケース会議 等

○サービス事業者との連絡調整、担当者会議の開催

○利用者負担の上限額管理

○社会資源を活用するための支援や各種支援施策に関する助言・指導等

○社会生活力を高めるための支援や権利の擁護のために必要な援助 人間関係、健康管理、金銭管理等

○ピアカウンセリング

○専門機関の紹介

○総合支援協議会の運営

○相談員との連携に関すること

《社会資源の改善・開発に向けた調整》

①相談支援事業をはじめとするシステム作りに関し、中核的役割を果たす協議の場

②相談支援事業者、福祉サービス事業者、保健・医療、学校、企業、高齢者介護等の関係機関、障害当事者団体、権利擁護関係者、地域ケアに関する学識経験者等で構成する。

③主な機能

- 福祉サービス利用に係る相談支援事業の中立・公平性の確保
- 困難事例への対応の在り方に関する競技・調整
- 地域の関係機関によるネットワーク構築等に向けた協議
- 地域の社会資源の開発、改善
- 権利擁護等の分野別のサブ協議会等の設置、運営
- その他（市町村障害福祉計画の作成・具体化に向けた協議など）
- 専門的な相談支援等を要する困難ケース等への対応
- 相談支援事業者間の連携

1-2 障害者相談支援事業 (計画相談は含まない)

(1) 相談者実人数

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
4月	51	4	0	7	34	1	2	10
5月	40	4	0	7	27	3	0	6
6月	42	4	0	8	25	3	0	8
7月	41	7	0	7	28	1	1	4
8月	42	8	0	6	20	1	0	14
9月	34	4	0	6	14	2	0	13
10月	21	3	0	4	13	1	0	2
11月	34	1	0	4	23	1	0	6
12月	36	4	0	9	19	4	0	8
1月	31	3	0	7	17	0	1	8
2月	36	4	0	5	16	1	1	13
3月	39	4	0	6	17	1	0	15
計	447	50	0	76	253	19	5	107

(2) 支援方法件数

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他
4月	8	6	6	48	0	0	45	9
5月	12	4	1	55	0	0	54	12
6月	8	4	3	51	0	0	54	10
7月	17	4	4	54	0	0	35	27
8月	5	1	0	52	0	2	40	6
9月	9	4	0	32	0	1	29	4
10月	2	11	1	11	0	1	12	0
11月	3	7	3	43	0	0	13	0
12月	16	1	8	60	0	0	25	0
1月	11	2	7	33	0	0	44	0
2月	7	14	4	34	0	0	28	0
3月	6	3	0	35	0	0	23	0
計	104	61	37	508	0	4	402	68

(3) 支援内容数 (重複あり)

	福祉サービスの利用等に 関する支援	障害や症状の 理解に関する 支援	健康・医療に 関する支援	不安の解消・ 情緒安定に 関する支援	保育・教育に 関する支援	家族関係・人 間関係に関す る支援	家計・経済に 関する支援	生活技術に関 する支援	就労に関する 支援	社会参加・余 暇活動に関す る支援	権利擁護に関 する支援	その他	日程調整等軽 易な相談	計
4月	45	15	17	20	2	26	8	8	10	6	0	60	16	233
5月	43	18	31	37	10	47	15	26	15	0	0	43	14	299
6月	48	15	50	10	17	29	6	12	0	2	0	43	11	243
7月	37	15	26	14	8	13	7	14	1	0	0	81	19	235
8月	46	14	20	18	2	19	9	11	2	1	0	43	19	204
9月	42	15	16	3	3	22	12	8	2	0	0	29	10	162
10月	25	12	3	3	0	16	3	0	0	0	0	8	16	86
11月	24	11	4	9	2	10	9	2	4	1	0	32	8	116
12月	39	16	7	25	7	24	8	10	15	1	2	43	22	219
1月	34	4	5	10	2	16	7	14	3	1	0	24	43	163
2月	31	7	13	13	2	12	12	5	3	0	0	40	28	166
3月	24	5	8	11	6	7	6	3	6	0	0	44	12	132
計	438	147	200	173	61	241	102	113	61	12	2	490	218	2,258

1-3 障害支援区分認定調査 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認定調査	8	11	13	15	12	16	10	13	13	13	10	15	149

1-4 計画相談 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計
計画(者)	26	22	12	28	25	19	13	39	10	23	23	29	269	347
計画(児)	13	4	1	6	9	9	3	8	6	7	1	11	78	
モニタリング(者)	18	30	31	31	59	55	34	17	24	29	16	46	390	422
モニタリング(児)	1	2	6	3	6	3	1	1	1	3	3	2	32	
合計	58	58	50	68	99	86	51	65	41	62	43	88		769

【南部包括】

1-1 業務内容

○センター業務
①総合相談支援業務
②権利擁護業務
③包括的・継続的ケアマネジメント業務
○在宅医療・介護連携推進事業
○生活支援体制整備事業
○認知症総合支援事業
○地域ケア会議推進事業
○介護予防ケアマネジメント（第一介護予防支援事業）
○一般介護予防事業

1-2 利用状況

(1) 介護予防ケアマネジメント 予防給付（要支援認定者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
直営件数	113	115	118	116	119	121	121	120	117	117	113	104	1394
委託件数	148	146	141	140	139	135	141	143	139	138	135	133	1678
計	261	261	257	256	258	256	262	263	261	255	248	237	3072

(2) 総合相談・権利擁護・ケアマネジメント支援

	実数	延数
相談件数	756	2881

(3) 方法別相談延べ件数（総合相談のみ）

	平日		土・日	総数	%
	業務時間中	業務時間外	祝日		
来所	209	0	36	245	32.4%
電話	444	3	43	490	64.8%
その他	17	1	3	21	2.8%
合計	670	4	82	756	100%

(4) 内容別相談件数（重複あり）

内容	件数	内容	件数
1. ねたきり高齢者	4	11. 権利擁護・成年後見制度	7
2. ひとり暮らし高齢者	169	12. 消費者被害	3
3. 認知症高齢者	130	13. 高齢者の虐待（疑いも含む）	11
4. 介護に関する事柄	17	14. 施設入所	44
5. 介護・福祉サービス	499	15. 介護方法（技術）	4
6. 保健・医療	68	16. やむを得ない事由による措置	0
7. 精神的支援	17	17. 苦情全般	5
8. 生活支援	56	18. 家族間調整	12
9. 状況確認	130	19. 個人の悩み事	17
10. 関係機関調整	33	20. その他	30

2 運営管理

2-1 職員状況

	2022. 4. 1 現員数	2022. 4. 1～2023. 3. 31				2023. 3. 31 現員数
		退職	異動 出	異動 入	採用	
総 数	16(1)	2	3(1)	3	1	14(1)
所長 (兼務)	1					1
【アシスト】						
管理者 (兼務)	1					1
相談支援専門員	6(1)	2	1(1)	2	1	5(1)
【南部包括】						
管理者 (兼務)	1					1
主任ケアマネジャー	1					1
社会福祉士	6		1	1		5
看護師	1					1
理学療法士 (兼務)	1					1
生活支援コーディネーター	1					1
ケアマネジャー	1		1			1

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数 は () 内に表示。

2-2 職員研修の状況

施 設 内					
月・日	研修名	人数	月・日	研修名	人数
11/14	権利擁護研修	3	11/7、12/12	次世代リーダー研修	2
施 設 外					
4/12	認知症と自動車運転	1	5/11	いつまでも脳を元気に保つために	4
5/13	症候学から考える “レビー小体型認知症らしさ”	3	5/27	認知症の画像診断: 日常診療でのDecision Tree	1
6/1	認知症の人を心理的に支える日常診療とは?	1	5/26	利用者のためのケアプランづくり ～新様式をふまえたポイント～	2
6/16	脳神経疾患の地域医療・介護の会	1	7/8	高次脳機能障害地域支援向け講座	2
5月～8月	介護支援専門員更新研修(全7日間)	1	7/22	安全運転管理者講習会	1
7/28	生活支援体制整備事業に係る市町村研修	2	8/2	小学生向けキャラバンメイトスキルアップ	1
8/5	介護予防従事者研修会	2	8/10	発達障害のある方の家族支援	2
8/29	高齢者虐待防止対策研修	1	9/1～2	いきがい・助け合いサミット	1

9/4	いまさら聞けない主任ケアマネの役割	1	9/13	千葉県包括職員初任者研修	1
9/28	障害支援区分に係る認定調査員研修	1	10/4	介護保険の現状と今後の動向	3
10/5	キャラバンメイト養成研修	1	10/15	重層的支援における介護支援専門員の役割	1
10月～12月	主任ケアマネ更新研修(全8日間)	1	10/19	地域連携ネットワークづくり研修会	3
10/20	共生と予防を考える地域づくりミーティング	2	10/28	法テラス研修	1
11/2	いんば圏域福祉関係者合同研修会	5	11/19、20	社会福祉士実習指導者講習会	1
11/21	福祉サービス苦情解決研修(基礎)	2	11/24	脳神経疾患の地域医療・介護の会	1
11/29	キャラバンメイトスキルアップ研修	1	11/29	基幹相談支援センター2022	1
11/14	介護職員向けカスタマーハラスメント	1	12/5、13、19	高齢者虐待防止対策研修(現任研修)	1
12/17	よりよいケアマネジメントに向けて	1	12/23	精神症状を伴う認知症の進行した人とその家族への対応	4
1/7、1/21	社会福祉士実習指導者講習会	1	1/14	認知症初期集中支援チーム員研修	1
1/19	佐倉市家庭等における虐待・暴力対策ネットワーク研修会	2	2月	相談従事者現任研修(全4日間)	1
2/14	発達障害者への相談支援	1	2/14	佐倉市ケアマネ協議会研修	5
2/17	生活支援コーディネーター圏域別情報交換会	1	2/18	ケアマネ研修 私はここで暮らしたい	1
2/10	多職種連携～障がい者や児童のいる家庭への支援の仕方～	2	2/22	介護予防担当者研修(行動変容とモチベーションアップ術)	1
2/24、27	精神障害者支援研修	1	3/3	成年後見制度について考える	1
3/7	高齢者虐待防止対策研修(専門研修)	2	3/23、24	精神保健福祉士実習指導者講習会	1
3/30	地域包括ケア担当職員セミナー	3			

2-3 会議等(定例会議)

施設内		施設外	
会議名	開催数	会議名	開催数
アシスト会議	週1回	【アシスト】	
アシスト内事例検討会	月1回	佐倉市障害者総合支援協議会	年2回
アシスト主催合同事例検討会	隔月	生活支援部会	随時
合同会議	月1回	精神支援部会	随時
包括会議	月1回	佐倉市障害福祉関係機関連絡会	年2回
包括ケース検討会	月2回	佐倉委託相談支援事業所連絡会	年8回
地域福祉事業部実績会議	月1回	佐倉市相談支援事業所間事例検討会	毎月
		精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議(実務者会議)	随時
		成年後見制度利用促進委員会	随時
		【南部包括】	月1回
		管理者会議	月1回
		5包括事例検討会	月1回

		生活支援コーディネーター定例会 認知症地域支援推進員会議 認知症初期集中支援チーム員会議 民生児童委員定例会 医療介護連携会議「さきいか」 介護予防担当者会議	月1回 月1回 月1回 月1回 随時 随時
--	--	--	--------------------------------------

2-4 実習生受け入れ状況

期 間	養 成 機 関 名	実習対象資格等	人数
5. 9 ~ 5.24 (12日間)	NHK学園	社会福祉士	1
6.10 ~ 7.1 (15日間)	城西国際大学	精神保健福祉士	1
7.27 ~ 9.22 (各8日間)	江戸川おおたかの森専門学校	社会福祉士	3
10.17 ~ 11.4 (12日間)	NHK学園	社会福祉士	1
12.12~12.15 (各2日間)	城西国際大学	看護	2
1.23 ~ 1.26 (各2日間)	城西国際大学	看護	2
2.6 / 2.14 (各1日)	東京情報大学	看護	2
2.8 ~ 3.2 (15日間)	東京福祉専門学校	社会福祉士	1
3.6 ~ 3.12 (12日間)	NHK学園	社会福祉士	1

概況

前年度に引き続き、地域福祉センターの役割と使命として、スローガンを『地域の方が生きがいを持って利用できる地域福祉の拠点の構築』とした。コロナ禍、2年間中止していた事業、イベントも少しずつ実施できるようになってきた。地域住民の気軽集える交流の場である「ふれあいサロン南部」は、4月より毎月第1金曜日に定期的開催、また、センター利用者を中心とした作品の発表の場である「南部文化祭」も11月に開催した。感染症対策としては、館内の消毒を継続し、感染リスクの回避に努めた。コロナ禍におけるセンターの開所状況、対応については、6月より室内における黙食が可となった。11月からは、基本的な感染対策を講じた上で、原則として、従前の利用制限は解除となった。マスクの着用、消毒、換気、人との距離の確保は継続して利用者をお願いしてきた。年間80台の運行を予定していた大型バス運行業務は、15台の運行であった。

○本年度数値目標

- ・新規利用券作成者 目標30人 結果34人
- ・来館者数 目標30,000人 本年度 32,356人 前年度 21,148人 前年度比 153%

○新規利用者の獲得

- ・チラシ、パンフレットを新規に作成し、近隣住民へのポスティング、回覧の活用、自治会への説明などを行った。ポスティングにより、新規利用につながった利用者もおり、有効であった。
- ・アンケート調査（満足度調査）を実施したが、南部地域福祉センターの事業、広報などの情報発信があまり周知されておらず、今後のセンターのPR活動が課題となった。センター内の衛生面、環境美化、職員の接客、対応などについては、概ね満足の意見をいただいた。

○日々の利用者増

- ・趣味の講座の開催では、リース作り、お飾りづくり、スマホ教室などを開催。たいへん好評であった。
- ・利用者のニーズに沿った移送サービスの運行は、1日平均8.45人（往路、復路で重複あり）であった。地域住民への周知のため、送迎車に「愛光たすけあい移送サービス」を掲示して運行した。

○地域貢献事業の企画

- ・介護予防事業の充実として、南部包括支援センター（理学療法士）と連携し、8月から6ヵ月コースで「健康寿命を延ばそう」を定期開催した。1月でプログラムが終了となったが、参加者から続けてほしいとの声が聞かれ、その後は「水曜体操会」として継続開催することになった。参加利用者も定着している。自力整体教室は、30人以上の参加があり、2部制とした。また、ヨガや太極拳教室など、健康志向を重視した活動は継続して人気があった。
- ・地域福祉のための講座では、順天堂大学スポーツ健康科学部の松山毅前任准教授（愛光理事）に、住民参加によるまちづくりについて10月に講演をお願いした。地域で活躍されている方々が参加され、グループワークで活発な意見交換の場となった。

○ボランティア活動の奨励と活性化

- ・ボランティア養成講座では、千葉県の県民生活課に出前講座をお願いし、「初めてのボランティア」「ボランティア活動から学ぼう」を開催した。参加者より佐倉市内のボランティア活動の状況を知りたいとのことで、報告している。
- ・ともいき事業（サロンとともいき、地域食堂）へのボランティアの登録、活動参加者が増えている。

○その他

- ・2年振りに教養教室発表会（おさらい会）を開催、4教室の発表と2教室の展示を行う。
- ・本年度実施した修繕関係では、駐輪場の屋根を設置し、A棟娯楽室をフローリングに変更した。和室からフローリングに変更したことにより娯楽室の利用実績が増えている。
- ・定期利用団体との懇談会は23団体、24名の参加があった。
- ・保健師企画による健康講座（佐倉市健康推進課による出前講座）では「高齢期の栄養と食生活」を開催した。

（所長 横川民夫）

【南部地域福祉センター】

1-1 業務内容

- 事業並びに業務
1. 各種相談事業
 2. 高齢者交流事業
 3. ふれあいサロン事業
 4. ボランティアセンター運営事業
 5. 文化祭・発表会等(イベント)事業
 6. 大型バス運営事業
 7. 愛光たすけあい移送サービス
 8. 浴室運営事業
 9. その他施設管理運営業務

1-2 実績

(1) 利用状況(開所日数 308日 延べ 23,371人)

A棟	浴室	大広間	作業室	教養 娯楽室	会議室	健康 談話室	陶芸室	中庭	健康 相談
当年	1,927	5,495	1,666	2,040	3,875	609	657	766	1,243
前年	1,825	3,034	1,171	341	3,669	434	588	865	961
B棟	研修室	和室	ボランティ ア センター	相談室	愛光たすけあい 移送サービス				
当年	13,044	1,089	670	518	1,227				
前年	7,907	293	675	346	1,262				

※移送サービス(往復2名でカウント)

(2) 大型バス運行利用状況

利用台数	15台
利用人数	473人

(3) 高齢者教養教室の開催

教室の種類	開催日	講師名	受講者数
踊り	毎週木曜日(4・5月のみ開催)	藤塚早苗氏	7人
民謡	第1第3木曜日	會田和則氏	6人
大正琴	第2第4水曜日	斉藤玲子氏	7人
書道	第1第3火曜日	長尾左保里氏	10人
いけばな	第2第4火曜日	羽根井和子氏	7人
太極拳	第1第3水曜日	塚本景次氏	27人
自力整体	第1火曜日・第3土曜日	秋田美智子氏	47人
詩吟	第1第3土曜日	川端恵子氏	8人

(4) 講座、イベント

講座・イベント名	回数	人数
サロン事業	12	425
高齢者交流事業（教養教室のみ）	171	2,044
趣味の教室	22	101
地域福祉のための講座	1	37
ボランティア講座	2	40
健康講座	1	25

2-1 職員状況

	2022.4.1 現員数	2022.4.1～2023.3.31				2023.3.31 現員数
		採用	異動入	異動出	退職	
総数	10(7)	2	0	0	3	10(7)
所長	1	0	0	0	0	1
事務員	2	0	0	0	1	2
管理員	4		0	0	0	4
保健師	2	0	0	0	0	2
用務員	1	2	0	0	2	1

※数字は総数で表示し、うちパート職員の数は()内に表示。

2-2 会議等(定例会議)

施設内		施設内	
会議名	開催数	会議名	開催数
スタッフ会議	6	指定管理ミーティング	6
理事会	5	佐倉市ボランティアセンター運営委員会	4
評議委員会	3	佐倉市ボランティアセンター定例会議	4
ともいきプロジェクト	11	地域食堂委員会	12
リスクマネジメント委員会	5	実績会議	12
ボランティア委員会	11	業務執行会議	18

3 共同事業の報告

3-1

事業名	回数	人数
アクティブシニア事業	85	1,259

3-2 はちす苑との共同事業

事業名	回数	利用者	ボランティア
サロン・ド ともいき	48	262	218

